



唐詩選解卷中

五言律

五言律ハ七言律ヨリカタクニ作リヨイ方チヤ皆知テイル通り破題領聯頸聯
 終ノ命脉カツカ子ハナラヌ今ノ詩人ノ詩ヲ見ルニ唐詩ナトノ中カラニ字ツク切テ作ルニ間ニハ
 三ノ句モアレ命脉カツカ又ユヤクニタヌ是ヲ合点ノ字ノカヨイニ三體詩ナトモ云テアル如ク色
 色ノ名カ有テムツカシイナレ上ノ手ニ成テハ此ノヤウナクハイラヌ初ノ内ノノチヤ上手ハ其中ニ自
 然ニソナワツテイル初ノハ能ク守テ破題テハ景ニ對シ或ハ事ヲ引テ起リ或ハ題ニ就テ起ス破
 題ハ題ヲセツヌルノチヤ次ノ領聯テハ上ノ句ヲ承テ云々次ノ頸聯テハ轉シ云々末ノ二句ヲ結句ト
 云題ニ就テ結シ或ハ前聯ノ意ヲ繳ス兎角一ニ命脉ノツクカヨイ去リナカラ唯ニトナク
 平地ヲミルヤウデハヨクナイ其中ニ山モアリ川モナケレハ風景カ面白クナイ領聯テハ上ヲ承テ領
 聯テハ轉シテ云々カヨイニ排律ハ四句ツミシテアル隨分長イガ十二句廿四句チヤ排ハ行列ヲ立並ヘ
 タ如クテアル五言體カラ一體タテタテタモノニサシキヲ作タ如クサシキハカリテハス又カザリガ
 ナケレハナラヌ又ユヘ色々ノ文字ヲツカフノチヤ中ノタルヤウナクガアルゾヘムリニ句ヲ置タ分テハ
 前後ノツリ合カワルニ能クツリアイラセシテ作ルノニ故事ナトヲ引用ユルノチヤスレハ學問ニナ
 ケレハナラヌ先ツ四句ツ全篇ノツリ合ヲスルノテ長句上意ニ短フ繳スルハヨクナイ是ヲ合点
 スレハ四六對ナトモカケル四六ヲ書ク筆テナケレハ排律ハ作ラレ又前ニ云々如ク句カラ
 ヨリモツリアイカ大切テ字眼ガアルコレニアル皆トレモ手本ニナルヨイ詩テアル

野望

野外ハ田テソコヲ望ミ見テ作ル王績ハ階ノ末ノ者テ亂世ノノユヨリ処モナイヤウスヲ云フ

王績

東臯薄暮望徙倚欲何依

東臯八王績カヲ東臯子ト云タカアレ馬マ

落暉

常サモノサビシイ野原ナルニ山々ハ秋ノ気色ヲ

相顧無相識長歌懷

相顧無相識長歌懷

采薇

采薇ノ詩ヲ作リ長歌スルニツイテ古伯夷カ無道ヲ悲シテ采薇ノ詩ヲ歌フ

從軍行

樂府題テ人軍ニ從テニク

烽火照西京心中自不平

烽火照西京心中自不平

牙璋辭鳳闕鐵騎繞龍城

牙璋辭鳳闕鐵騎繞龍城

雪暗凋旗畫風多雜鼓聲

雪暗凋旗畫風多雜鼓聲

寧爲

寧爲

百夫長勝作一書生

百夫長勝作一書生

杜少府之任蜀州

杜少府之任蜀州

城闕輔三秦風烟望五津

城闕輔三秦風烟望五津

與君離別意同是宦遊人

與君離別意同是宦遊人

海内存知己天涯若比鄰

海内存知己天涯若比鄰

無爲在岐路兒女共沾巾

無爲在岐路兒女共沾巾

揚炯

揚炯

王勃

王勃

杜少府之任蜀州

杜少府之任蜀州

城闕輔三秦風烟望五津

城闕輔三秦風烟望五津

與君離別意同是宦遊人

與君離別意同是宦遊人

海内存知己天涯若比鄰

海内存知己天涯若比鄰

無爲在岐路兒女共沾巾

無爲在岐路兒女共沾巾

揚炯

揚炯

王勃

王勃

杜少府之任蜀州

杜少府之任蜀州

城闕輔三秦風烟望五津

城闕輔三秦風烟望五津

與君離別意同是宦遊人

與君離別意同是宦遊人

海内存知己天涯若比鄰

海内存知己天涯若比鄰

無爲在岐路兒女共沾巾

無爲在岐路兒女共沾巾

たけく上云ハムキナフチヤ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リ
ナカラコレハ男ナキチヤ別ニク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクデア
ル

魁次樂郷縣

南方ニアリ。是ハ訓解ノ註ヨクナイ。征ノ字カアルニ從軍
ノ一見見タソウテナイ亂後ノ体ヲ云前此ノ処來テミ

陳子昂

夕トハチガイガア
ルト云フヲ作ル

今此ノ樂郷縣ノ近処ニキテ故郷ヲフリ帰テミレハ
杳然ト遙ニ限リモナイフチヤヒトリ旅ノノユクレ方

故郷杳無際日暮且孤征

今此ノ樂郷縣ノ近処ニキテ故郷ヲフリ帰テミレハ
杳然ト遙ニ限リモナイフチヤヒトリ旅ノノユクレ方

川原迷舊國道路入邊城

今此ノ樂郷縣ノ近処ニキテ故郷ヲフリ帰テミレハ
杳然ト遙ニ限リモナイフチヤヒトリ旅ノノユクレ方

野戍荒烟斷深山古木平

野戍ノ番手ノ居処ナドモ荒レハテ人カゲモナイ段々
ヲク山ヲ見ル古木ノ枝ナトカニツ平ヲニ揃テ見ユル

如何此時恨嗷嗷夜猿鳴

只サ悲イ此ノ時ノ恨嗷々トカニビスレクウラメシ
ゲニ猿ノ鳴ヲキイテハトフモ堪ヘラレヌデア
ル

春夜別友人

銀燭吐青烟金尊對綺筵

夜酒モリノ一ニ銀簿ナドヲ以テ飾タリツハナ
蠟燭ヲ立トホスフナレハ烟リモク吐キ金尊ノケ

離堂思琴瑟別路繞山川

サテ今夜離堂
ノ別レノサキテ

明月隱高樹長河
明月ノ光ハ高樹ノ上ニ隠レテ長河ノ水ニ流レテ去ル

悠悠洛陽去此會在
悠悠ノ洛陽ニ去ル此ノ會ハ在ル

送別崔著作東征
崔著作ノ東征ニ送ル

金天方肅殺白露始專征
金天ハ秋天ノ一テカタイ文字ナレ下ノ白露ト對ス
ルニヨイ○金天秋物ヲ鳴ス殺伐ノ時ニ乘シテ征伐

王師非樂戰之子慎佳兵
王師ノ非レ樂戰ニシテ子ノ慎ミ佳キ兵ニシテ

海氣侵南部
海ノ氣ハ南部ニ侵ル

莫賣盧
莫ニ賣ル盧

邊風掃北平
邊ノ風ハ北平ヲ掃ク

龍塞歸激麟閣名
龍塞ノ歸ル激麟閣ノ名

此時分有
タフチヤ

蓬萊三殿侍宴奉敕咏終南山

杜審言

五律

御酒宴カ有テ審言モ御供三侍ニテ終南山
山上云題ヲ作りモイト勅ヨツテツクル 北斗挂城邊南山倚殿前 長安北

真下ニ當テアルニ北城唐云北斗ノ星カ禁裏ノ上ニツラナツテ
アリ終南山ハ蓬萊殿ノ鼻ノサキニツト高ク殿ニ倚テアル 雲標金闕迥樹杪

玉堂懸 三殿ヨリミレハ金闕カ遙ニ雲ノハツレニ見テ玉堂ハ大抵天子ノコサナサレル処ヲ云
時ニテハ終南山ノ上ニアル山神堂ヲ云トミルソウモシテミ子ハツリ合カワルクナル

南山ノ頂ノ樹杪ヲウチニシテ 半嶺通佳氣中峯繞瑞烟 御所ノ佳氣カ南山

山神堂カ高ク懸テミヘル 小臣持獻壽長此戴堯天 小臣壽ヲ獻

イテ中峯ノマナカコロニテ天子ノ 目出度イ瑞烟カヒキノクツテアル 君ヲ思ハ身ヲ思ト云辨ヲツケテミレハヨクシレル

和晉陵陸丞早春遊望 早春ノ遊望ト云カサキノ題ナリ

獨有宦遊人偏驚物候新 春ハ面白イハツナルニ吾モソナタモヒトリ官遊ノ人ハ

驚テ 雲霞出海曙梅柳度江春 コトニ南國ニキテイルノ朝ノ雲ヤ霞カ少シ赤

メタ花ノサカヌジシナルニ江ヲ渡テ江南ノ方ニキテハ梅モ柳モミトリテアル此ノ二句妙句

チヤト云カイカサソウモアラフ何ゾイナシ風景ヲスラリト述テシタ心ニ都ハ北方ヲ海ハ遠イ

ニ海カラ日ノ出ルト云ハ見タクモナイ梅ナドモ早春ニ都テハ花ノサカヌニ 淑氣催黃鳥暗光

轉綠蘋 淑氣ノアタカナ氣カ鶯ナドヲ催促シテナカセ春ノ初ノコトニユキ草ニシラナル

忽聞歌古調歸思欲沾巾 其元ノスケレタ古調ノ中ニ故郷カコイシト云カ作テ

和康五望月有懷 康氏カ望月有懷

明月高秋迥愁人獨夜看 秋ノソラノ高クスミワタリタル月カ高クカリテ遙ニ

暫將弓並曲翻與扇俱團 將ノ字兼ノ字與ノ字皆同意テ前後ノ

夕カ早ヤ十五夜ニ成夕 露濯清輝苦風飄素影寒 露カミツホリト下リ清輝

風モ月影ノサハ切タ素影ヲ飄シテ弥々寒クミハ 羅衣一此鑒頓使別離難 旅公

カナイモノチヤ八月コロ寒クナルニテヤツハリ復衣ノミテイル

送崔融 崔融カ從軍シテ書記

君王行出將書記遠從征 此時分天子ノ御出陣ト云フハナカツタ親王方カ諸候タチト

祖帳連河闕軍麾動洛城 祖帳

ナサルノコトニ才智ノスケレタ其元ヲ書記役ニ仰セ付ラレテ

速ク征ニ從イユカルカイコフハレナギテアル

上云祖ハ行ヲ送ルノ祭ナリ。黃帝ノ子壘祖遠行ヲ好シテ道ニ死ス。故ニ後人以テ行神トス。帳ハ酒幔ナリ。河朔ハ伊阙河水ノ經ル處ノ名ナリ。今ハ行ク入テ送ル。ナムケノ場テ道ノ神ヲ祭リ其エクカラミレハ河朔ノ方ニテ連テアル。軍麾トハ軍兵ノサシアル。ク小旗。サイノヤウチモノヲ大將ノシテ持テ勢ヲ引ツレ方ニテ動洛城。邊聲 此句邊塞ノ景ヲ思イヤツテ云。朝旌旗ヲ立テ朔氣ノ北風ノ寒イニモユクシセスニ立ツラ子テ置夜モスカラ聞ナレハ又胡笳ノ哀レナ聲ナトヲキカレタナラハ甘ソカナレイコテアラフ。

坐覺烟塵掃秋風古北平 其元ノヤウナスクレタ人ノユカルコトニ邊塞ノ烟塵ヲモ坐ナカラ掃イレツ。胡人ニトラレタ北平郡モ秋ノ時分ハトリカサレテアラフ。

扈從登封途中作

宋之問

高祖ノ時秦山ニ封禪ノアリシ。扈從シテ途中ノ御休足所テ作ルナリ。帳殿鬱崔嵬仙遊實壯哉 鬱然トコシモ

リトシタ中ニ帳殿カア。天子ノ出行ノアル處帷帳ヲ以テ宮殿ヲ設ル。チヤカウニ天子ノサカニ仙遊ナサルハ實ニ壯哉。シニヌコテアル。曉雲連幕捲夜火

雜星回 山ニ登レバツロク夜カアケテクルニヨリ。帳殿ノ幕ハハツテアル。夜カラシラミカ。リ。雲ト幕トヲツミクヤウニアル。タククイニ松明ヲ持テユクカ甚タ高イ。處ニ登ルニヨリ。星

上雜リ一ツニナリ回 谷暗千旗出山鳴萬乘來 谷アインノ暗イ。處ヲ大勢御供ヲツル。レ。レ。ウ。ハヤシナドガコタマニヒキ

山モ鳴リワタル。漢ノ武帝ノ時山 扈遊良可賦終之揆天才 扈從スルト云ハ珍ラシ

呼方歲トキカアル。シラフニテ作ル 扈遊良可賦終之揆天才 扈從スルト云ハ珍ラシ

送沙門弘景道俊玄莊還荊州應制

此二入天子ノ歸依僧アル

一乘歸淨域萬騎餞通莊 三人ノ高僧タチガツ車ニ乘テ蜀ノ方清淨ノ地ヲ尋子。ニカルニツイテ天子カラ仰付ラレ萬騎ノ大勢ガ通莊ノチ

就日離亭近彌天別路長 別ルル處天子ノ御近處テ遙ニ天ノハテカラハテ。ニ。テ。ヲ。シ。ワ。タ。レ。テ。アル。處。遠。ク。ユ。カ。ル。ギ。ナ。レ。別

路長イ 荆南旋杖鉢渭北限津梁 南方蜀ノ地荆南ノアタリヲ杖鉢ヲメグラシ。渭度。ヒ。ル。デ。アラフ。ガ。今。都。渭。北。ノ。方。ニ。ラ。ル。モ。ハ。山。川。ニ

隔テラレ。渭度ニ逢フイモナラヌ。津梁ハ渭 何日紆真果還來入帝鄉 何レノ日カ移行

北ニ航ワタシノ難所カアルユトリ合テ云 紆テ都帝郷ニ入ラルテアラフ。早ク歸ラ

長寧公主東莊侍宴

李嶠

長寧公主ハ中宗ノ姫宮ヲ楊慎ト云モノへ 別業臨青甸鳴鑿降紫霄 別業此別業。ラサテ此別業。ニキテミレハ

嫁セラレ其別莊ハ天子ノ御供シテ行作ル 東方ノ都ソレノ野原カニ面ニ三ノ青ハ東方ノ色デ東郊ナリ。○カヤウニ。長筵鸚鷺集

景色ノヨニソテ鑿鑿紫宮ヨリ降り。ガク御幸ナサレテ。紫霄ト云ハ天子ノ光。長筵鸚鷺集

仙管鳳凰調 去ル程ニ公主ノヲサシキノ長筵三百官百士ガ鸚鷺位ニヨツテ順ニテラフ。○調ハ和調ノイデ調子ヲトノフコトヲ云フ。御酒宴ノ中ニ音樂ナドカアルト云テモ世ノ常

ナラスグレタコトアル。冥ハ弄玉カ故事ヲ引テ。樹接南山近煙合北渚遙 樹ハ。ニ。接。南。山。近。煙。合。北。渚。遙。本ガ終南山

公主御夫婦中ヨク天子ニ御馳走申ト云フニナル

三引引イテアルヤウ見ル見ワタス処ノ風景トイハハ
北清ニテラ香ヲアルヤウ至極イ景色デアアル
承恩咸已醉戀賞未還鑣酒宴ニ
アツカリ恩ヲウケテ酒ニ酔テイル是レ公主ヘアイサツテ皆酒ニ酔テ座敷ノ
風景ニホレ天子御歸リラスムルモノナク天子モ御志ナサレテゴサルヲ云

恩救麗正殿書院賜冥應制得林字開元十二年玄宗麗正殿
一ヲ置テ文字ノ士ヲ聚テ

修書侍講其処テ御酒宴ニアツカリ詩ヲ作り一セイ
ト詔アツテ作ルニツイテ切リ韻テ林ノ字ヲエタモノヂヤ
張説

東壁圖書府西園翰墨林東壁ノ三星文籍ヲ主ル星テ天下ノ圖書ガイテアル今
麗正ノ書院ヲイテモ東壁ト同ジテ大切ノ圖書ヲ入

レラカル処チヤ其処ノ翰墨ニ達者ナオカ林ノ如ク
集テイル翰墨林トイハオオ大勢集テイルニナル
誦詩聞國政講易見天心詩ヲヨ

セテ風俗ヲアラタスルヲオキナサセ或ハ
易ヲ講セサセテ天ノ思召ラ考ヘラル
位竊和羹重恩叨醉酒深書經ニ君作和

老ト有テ天下ノ政ヲチラシト云テガ凡ゴテハ重位ノ一テハ吾ガ如キ不オナモ分和羹ノ重イ位フウチ
テラルト云モノハ及ヒナイコデアアル如此ノ御恩ヲウケテ御酒宴ヲタニハルト云アリオタイコヂヤ○位恩

ト云字折用タモノデ
載歌春興曲情竭爲知音天子ノ詩ニ巧ナルユ如此ハカラズ情

ヲツクシテ申上ル知音ハ音樂ニツイタ
ナレ天子ノ詩ニ巧ニテ云フニナルナリ

還至端州驛前與高六別處嶺南ヨリ端州ノ驛ニ歸ルニツイテ前高
六別レ地ニシテ高六ハ死セシラ思ヒ出シ

テカナシニ
舊館分江口淒然望落暉端州ノ驛ニテニ此分江ノボトリノ館テ昔シ
然トシテナニトナク哀ラシ高六ト此
處ニ別レル時分ニ相互ニ禮義ヲセシガ
相逢傳旅食臨別換征衣旅食トハ儀禮ニアルコ

イタツワキノヤウナモノヲ重子テ
出逢シシニ取カエテキテ別タガ
昔記山川是今傷人代非吾今此処歸テミレ昔ニ
人代ハ非テ高六モ死テ
今ハ跡カタモノナイ

往來皆此路生死不同歸別レル時分ニ今歸ルニ此路ヲ通ルコト
ル高六死シ歸ラ同ラセヌガテアル

幽州夜飲幽州ハ北方ノ地ナリ大將ヲ
トニ成テイタモノトニル

涼風吹夜雨蕭瑟動寒林時分カラ秋ノコトニ涼風吹夜雨ヲ吹キ寒林ヲ
動ニ風ノナリ音カ蕭瑟トモノサビシクコル

正有高堂
宴能忘遲暮心上ノ句ヲウケテサビシクシツケテ皆ガトリヤシテ高堂ニ酒宴ヲ催シ慰メテ
一クシラレレ此ノ年モ未ニ成タコト思ヒ出シノ忘レカ子ル○遲暮ハ月日ノクレテ

軍中宜劔舞塞上重笳音軍中ノコトニ常ニテサト云ニモ
劔ノ舞トドラスル吹キモノトイハ

不作邊城將誰知恩遇深此ノヤウニ邊塞ニ來テ久ニ
モテヤサルト云モノハ天子

胡人か重ニスル笳ヲフクガ何レモ都ニ
ナレ年ノヨルニテコノヤウニ
志シラヌト云意デアアル

御恩ノ深イニヤ邊塞ノ大將ニ成テミ子ハシメトスラリト云テ置ヤリナレ能ク氣ヲツケテ見
ルガヲ涼風蕭瑟ト都ヨリモノサビシク劔ノ舞胡笳ナドモ面自カラヌモノテ都ノ音樂トイニラズ

カフタモノヂヤ天子ノ御前テ御酒宴ニ
アツカルヤウナモノデアナイト云心ナリ

五律
卷中
二六

宿雲門寺閣

山門ニ登テ宿スルナリ

孫逖

香閣東山下 烟花象外幽

雲門寺東山下ノ一段高イ処ニアル烟花ノソコヲアタリノ風景モ人間世ト云ガクイ。格別靜カニラクフカイゴダヤノ象

外父ノ見 懸燈千嶂夕卷幔五湖秋

日クレテソラヲミレテ寺ノトコニ高ク燈ヲドカ懸テアルノ夕ノ字ト夜ノ字ト同シ意ニシカフタモノナリ

幔戸帳ノヤウナモテテ捲テミレバ 畫壁餘鴻雁紗窗宿斗牛

壁ニカイテアル畫モ古ク成テ所々ニ雁ナドカニ

更疑天路近 夢與白雲遊

上ノ句ヲウケテ斗牛ノ間延クミルハ更ニ上天へ上ル

路モチカイヤウニ疑ハレ夢ニ白雲ノソコニ

辛蜀西至劍門

玄宗ノ蜀カラ歸リリダケノ詩トシハル

玄宗皇帝

劍閣橫雲峻 巖壘出符回

劍閣山ハツト雲ニ横テ峻ク天子ノコトニ巖壘ヲメダラシ出符ノ回ル由符天子ノ他國へ出ル春秋以來出符ト云フ

翠屏千仞合 丹嶂五丁開

道ノ左右ヲミル屏風ヲ立タ如ク千仞ノ山カツキ連ツテミル切リ通り道ノ両ガワハ丹嶂ヲ昔五丁ノ力士ガ切リ通

灌木縈旗轉 仙雲拂馬來

樹木ノ向ダラ旗ヲタテニガリ轉シテ御通リナサレヨリホ末ニ旗カマトフヤレニ

乘時方在德 嗟爾勤銘才

今ニ時ニ乘シテ天下ヲ治ムルト云ハ方ニ德ニ在ル義ナ

塞下曲

樂府題

李白

塞虜乘秋下 天兵出漢家

秋ハ馬モ速者ナニツイテ塞虜ノエヒス庄モ秋ニ乘シテ都ノ方へ攻メ下ル都ハ北狄ノ地ヨリヒクイユ下ルト云ステラキ

將軍分虎竹 戰士臥龍沙

漢制ニ銅虎符竹使符ト云カアル共ニワリステ平生六竹使符ヲ用ユルワリ

邊月隨弓影 胡霜拂劍花

夜モスカラ急度子ヲ弓矢ヲトリ劍ヲヌキシテイルヨ

玉關殊未入 少婦莫長嗟

ヨルニトナク軍ニカリカソテイルユト云テハ思ヒ切テイルニヨツテ都ニイル女モ思ヒ切テ泣ヌガヨイ歸ル段ヲハナイ

秋思

景色ニツイテ 閨怨ヲ云フ

燕支黃葉落 妾望自登臺

時分カラ秋ノコトニ吾ガ夫ノイハ燕支山アタリモホノ葉モ紅葉シ散ツタアラフト思ニツイテ益ナイコト分

海上碧雲斷 單于秋色來

吾ガ夫ノイハ方ハソコト海上ヲ望ムト向ニ何ノ別キモナク琥珀雲ガ斷

五車

五車

五車

ヤト嗚嘆シ玉陽ガオラ オホノヲサルハデアル

ソラニカルヤウステリ 霜ト云テハ思ヒ切テイルニヨツテ都ニイル女モ

支山ノ方ヲ望ミシレハ

テ北狄單于ノ方カラ秋色ノ物サヒ
シイカ見テ唯遠イノテアル
コノロモ都カライタ御使ガ玉關カラ
サキハ通リカ子テ歸タト云ガ
ルクシタラバ夫ノ婦ラヌウチニ顔色モ催ケ衰ヘヤウガ
ナゲカワシイチヤ○蕙草ハ婦人ノ顔色ノナリ

送友人

青山横北郭白水遶東城
今別ル場処カラ北方ラミレ青山ガ北郭ノ
一方ヨコタワリ白水カ東城ラメクリ流ル
此地一爲
別孤蓬萬里征
蓬ハ草ノ根ナク風ニ隨テ飄轉スルナリ○今此処ヨリ別ルニツイ
蓬ノ風ニ吹キチラサルガ如ク萬里ヲツレモナク獨リユカカ
浮雲遊

子意落日故人情
遊子ハ居処ヲ定メヌ人其元ノ心ヲ思ヒヤルニ萬里ヲ獨リユカレトモコ
ニ落著ト云フモノナク浮雲ノ如クチナクサソモカナシイテアラフ
此地ニ止テイル我レモ落日ノ日クレ方
揮手自茲去蕭蕭班馬鳴
此其元ノヲ思ヒ出シテアルテアラフ
自茲馬ニリ東西ニ別ルナレバ馬モ哀シラ知テ蕭蕭トモカナシク嘶クデアル○班馬ハ
左傳ノ文字テ東西ニ乘リ別ルルマノ悲ミヲ云テ入ノ悲ヲフクセテ置ナリ

送友人入蜀

見說蠶叢路崎嶇不易行
見說ハ只見ルト云キナリ蠶叢ト云ハ黃帝ノ子ノ蜀
関イタ入ナリ蠶叢トイハ蜀ノ一チル其元ノユカク

山從人面起雲傍馬頭
機道馬ノ路ハ入りロニ劍閣山ナト云テサガイ山カアルソレヲ
方ルコナレハサキガツカエテ不易行処ヲ通ラルデアラフ
生
山ハツト高ク鼻ノサキカラ起リ
雲ナトモムラクト馬ノ前カラ立ル
芳樹籠秦棧春流遶蜀城
ノ兩ワキニウエテアル芳樹ニ化ガ咲テ覆ヒカリ其下タヲ
春ノアタカナ水カ流ルヲ見ナカラ行ルナラサソ面目カラフ
升沈應已定不必問君平
人ノ仕合不仕合ハ前カラ定メテイル必ス疑フ起
シテト者ノ君平ナドニ問ハルニ及ハヌキト有スル

秋登宣城謝眺北樓

江城如畫裏山曉望晴空
謝眺ハ名高イ詩人テ眺カ北樓ノ
殘デアアルニ登リ思出シテ作ル
兩水夾明鏡雙橋落彩虹
西方ハ川ガ出張テ有テ其中ニ宣城カアル實ニ畫イタヤ
ウヂヤハ朝ノ餘テ如畫裏ノ三字ハ句ニカケテニルガ
宛溪句溪ノ兩水ガ宣城
テミル○落ト云水ニウツラフニモ三水ノ上テヒクニルヤウナ意ニモニル

人烟寒橘柚秋色
ヨイ○朝日カ水ニシテクル時分
ニ別シテ晴レ切テ見フヂヤ
サシ等ム如クキラク見ヘ兩水カケテアル橋カ虹ノ如クノツテ水中ニウツラフ
テミル○落ト云水ニウツラフニモ三水ノ上テヒクニルヤウナ意ニモニル

老梧桐
人烟ハ人家ノヤウス楚ノ地ハ夷ノ近処テ人家モバラナト云フガ寒ノ字テキユル橘柚五月
イウチハトコニアラシニ子時分カラ寒ク成タユ葉ノ黃サ落シタアイダカラツキリトニル

誰念北樓上臨風懷謝公
秋モ未ニ成タユ梧桐ノ葉
誰念ハ誰ノ念ニル
謝公ハ共々詩テモ作テ慰フト風景ニ乘シテト云ナク
ナラハ共々詩テモ作テ慰フト風景ニ乘シテト云ナク
謝公ヲシタイ思テイルト誰レモ氣カクミトニシケテアル

臨洞庭

岳陽樓登望洞庭
見ラロレテ作ル

孟浩然

八月湖水平 涵虛混太清

八月、湖水平、涵虚混太清、朝日ナドノ出ル時分、楚ノ七澤ノ内、雲夢ノ下カラ水ガム、朝日ナドノ出ル時分、楚ノ七澤ノ内、雲夢ノ下カラ水ガム、

蒸雲夢澤波撼岳陽城

朝日ナドノ出ル時分、楚ノ七澤ノ内、雲夢ノ下カラ水ガム、朝日ナドノ出ル時分、楚ノ七澤ノ内、雲夢ノ下カラ水ガム、

濟無舟楫端居恥聖明

書經ニ若濟巨川、用波作舟楫ト云フガアル、濟ト天下ヲ治メ、

坐觀垂釣者徒有羨魚情

董仲舒カ策ニ臨淵羨魚、不知退而結網トアル、吾モ

坐觀垂釣者徒有羨魚情

董仲舒カ策ニ臨淵羨魚、不知退而結網トアル、吾モ

トル道具ヲコレラヘヌハ只思フノミチヤ、我モ世ニ出テ功ヲ立タイト

題義公禪房

義公習禪寂結宇依空林

此、義公ト云ハ坐禪ズキテ、習禪寂ヒキコシテ、

戶外一峰秀階前衆壑深

景色モヨイ処テ、座鋪ノ戸ヲヒラクト、

陽連雨足空翠落庭陰

ユル木ガ高ク茂テ、雨ノアヒカ、雲ノ中ニキタツテ、

看取蓮花淨方知不染心
庭ノ池ニ蓮花ノキヨラカ、咲テアルヲミテ、義公ノ

終南山

王維

太乙近天都連山到海隅

終南山一名太乙山ト云此ノ山ニライテ、甚タ高ク、天帝ノ御座

山居乃四海ノ隅々

白雲迴望合青靄入看無

今、テ向ノ峯ガミタカチヨット、眼目ヲス

寄テミルニ隨テ青ガナクナル

分野中峰變陰晴衆壑殊

山ノ上モ廣大ナリ、

變シ分テアル谷アイラ見ラロセ、或ハ曇テ小雨ナトガフリ、或ハ暗レ切テ

欲投人處宿隔

水問樵夫、コソゾ人家ニ宿シタト思フ、

過香積寺

不知香積寺數里入雲峯

香積寺カアルトハギケ、

無人逕深山何處鐘

古木ノ生ヘ茂テ人逕モナイ、

泉聲咽危石日色冷青松

寺ニ至リ、

果シテ寺ガ有タ

寺ニ至リ、

ナドノサラクト危石三咽テ流ル、景色イカサ、物シカナフヤ○危石ト石ノ出張テ高ク
成テアルヲ岳ヲクイユ夕日影モ青々トシテ松ノ間弁シム物弁シクサカトミユル 薄暮

空潭曲安禪制毒龍 水キワツクリト坐禪ヲシテ居レハ五ガ心中ノ毒龍ヲ制伏シ
ライカフモノ静テ面白イニツイテ暮合ニテモ空潭ノ人影モナイ

ヲサヘテアラフケ
出ヌヤウテアル

登辨覺寺寺ハドコニア
ルモ知レヌ

竹逕從初地蓮峰出化城 初地入り口ノ義テル入り口竹ダテ其竹數ヲワケ入バ
思ヒモヨラヌ処ニ寺カアルノ化城ハ寺ノヲ○思ヨラヌハ大地カラ

窓中三楚盡林外九江平 窓ノ向ニ楚國ノハテカラスハテガ盡テ三ハ
林ヲウチコレテ洞庭九江カニツ平ラニ面

嫩艸承趺坐長松響音梵聲 嫩艸ノワカ艸ノ上ニツククリトノ心ヨク趺坐シテイレハ
長松ノ間ニ御經ヲヨム声ガヒギキ聞ヘル

空居法雲外觀世得無生 浮世ヲハナレテ空居法雲ノ外ニ無常ヲ觀シテ
イレハ無生法忍ヲエタカト思ハル○維摩經是天

如所願具足得無生
法忍ヲ云フヲ引用ユ

送平淡然判官軍ニ從テ行ヲ
送ルナリ

不識陽關路新從定遠侯 後漢ノ班超出テ西域ヲ征ス五十余國ヲ安集ノ定
遠侯ニ封セラルノ今ニ始テ定遠侯ノ頭ヲ役ニ隨テ

西域ノ傍ヲ出テ陽關ヲ路 黄雲斷春色畫角起邊愁 段々邊地ニ赴カルニ隨イ
空ヲモハレヤラス春モタヘテ

物弁ビレイ道中デアラフ其上キキナレヌ 瀚海經年別交河出塞流 西域ノ瀚海アラ
笛ノ声ナドヲキカヌナラズ心細イテ有

ナレバチヨソトイテ歸ルト云フ分ラヌニ三年ノ別レテト云モノギヤ○サテ交河ノ
天山ヨリ分流シテ塞ヲ出テ流ルヲ三ニ通ラル時分弁シク多ヒラルデアラフ

須令外國使 知飲用支頭 邊塞へ行カレテ胡人匠カ使ヲシテアルナラバ昔シ漢ノ時月支王ガ首ヲ切テ
飲器ニシタヤウニキツイヲ云テキカセテ中國ノ威勢ヲミセツケテサレ必ス

氣ヨリナフヲセラルハ匈奴カ月支王ヲ
切テ首ヲ飲器ニ作タ故事ヲ用ユ

送劉司直赴安西

絕域陽關道胡沙與塞塵 中國カラ絶切タ西域安西ノカタワラニ行カルニツイテ陽關
ノ道スガフ胡國ノ地ハ渺々トシタ沙ハラテアル

三春時有雁萬里少行人 西域ノ地ハ春モ寒イニ雁ナドカイルカヤウナ処ナレバ
一日アルイテモ行人ニ出合ヌヤウナサレニ処ナヤ

隨天馬蒲萄逐漢臣 其元ノユカルニツイテハ漢ノ李廣カ如ク中國ノ威勢ヲミセテ西域
ノ名馬首首宿ノ馬艸ナドヲ貢ニ上ケ蒲萄酒ナドヲ漢臣ヲ逐イ

當令外國懼不敢覓和親 外國ニ威ヲミセツケテ漢ノ高祖ノ如ク
匈奴ト和睦ヲテ親類ナルヤウナキヤイヲシヤル

送邢桂州邢ハ氏ナリ桂州ノ太
守ニ成テ行ヲ送ル

鏡吹喧京口風波下洞庭

太守ノ一吹キモノナドヲシテ通シテ喧シクモヤ
カナラザヤ今此ノ京口ヨリ舟ヲ南方洞庭ヲクリコシ

圻將赤岸擊汰復揚舠

赭圻ノ異ノ置所也所ナリノ舠ハ船ノ窓ノ戸ナリ汰ハ水波
ナリノサテ西ノ方ノ山ヲミルハ吳國ノ陣屋ナドノアル赭圻

望望三山赤岸山下下乘舟下櫓夫下波擊船

日落江湖白潮來天地

青

月カ横スチカイニ海ヲツラフテ白ニ潮モ
ミナ來テドコト云カザリモナク青ク見ユル

明珠歸合浦應逐使臣星

唐ノ柱
州ハ漢

合浦ノ合浦ノ近クニ方ルナレハ昔漢ノ順帝ノ時孟嘗合浦ノ太守ニ成テイタルハ前ノ太守カ貪
織ノ他境ニ徙タ珠カ孟嘗廉介ナニ再ニ合浦ニ歸タト云カアル今其元孟嘗ガ如キ今ノ外
散タ明珠ヲ集リ集ラテアラフノ使臣星ト云後漢ノ李郃能ク星ヲ知テ使星ノ益ニ向テ見テ
使ヲ遣ノズタタ去故事テ使臣星ト云テアリ太守イテ珠ト星ト縁アル文字ニテ合トテ用テモ也

使至塞上

單車欲問邊屬國過居延

漢武帝ノ時蠻夷漢ニ屬スルニ屬國ト云居延ハ古
ノ流沙ナリノ大勢ノ大將ヲモナク手ニワリルツレテ

征蓬出漢塞歸雁入胡天

漢塞ヲ出テ蓬飛
ハ漢塞ヲ出テ蓬飛
ハ漢塞ヲ出テ蓬飛

大漠孤烟直長河落日圓

沙漠ニ出テ山ヲチク風モチクニ
家ヨリ立チ上ル煙モテサワリモ

蕭關逢候騎都護在燕然

モフ都護府ハ問モア
ルニイト思テ蕭關ア

タリテ候騎出逢テ都護ハトコイラルト問タレハ燕然山トテ
云カ定メテ遠イテアラフノ候騎ハ塞内者ノヤウナモノデア
ル

觀獵

獵ヲスル者トツレタツテ
一日アルイタヤウスラ云

風勁角弓鳴將軍獵渭城

冬ニテルト風ガケレクイユ弓ノニモカワイテガラク音カ
鳴テカリヲスルニヨイ時分ニ將軍渭城カカリニ出テ

艸枯鷹眼疾雪盡馬蹄輕

艸ガ枯レテ鷹ノカケヒキモ目ヤニスルトク雪モキエテ狐
兔ノヤウナモノモドヨイルト云カミテ鳥モトヒヨク馬モ

忽過新豐市

獵ヲシテ忽ニモチク長安ノ新豐ノ市ニ寄
テヒルヤスミラシテソレヨリ何ノ苦モナク

細柳營

細柳營ニテ忽ニモチク長安ノ新豐ノ市ニ寄
テヒルヤスミラシテソレヨリ何ノ苦モナク

送張子尉南海

南海ハノイヤガル処ニ常ノモノナラニクニケレ
此ノ人ハ母親ノタメカカリニカレノ毒ナラデ凡樓堂

送張子尉南海

南海ハノイヤガル処ニ常ノモノナラニクニケレ
此ノ人ハ母親ノタメカカリニカレノ毒ナラデ凡樓堂

不擇南州尉高堂有老親

南海ハノイヤガル処ニ常ノモノナラニクニケレ
此ノ人ハ母親ノタメカカリニカレノ毒ナラデ凡樓堂

重蜃氣邑里雜鮫人

南方ハ替々処テ海中ニ樓臺ガテキル此レ蛤ノ吐ク気チヤト云テ
城ノアルヲ云テ又海中ニ魚ノ化ナドカ有テ縵ヲ織テイル南

海暗三山雨花明五嶺春

番山馬山堯山ヲ三
山ト云五都ノ賦ニ

都賦註鮫人水底居從水中出寄
寓人家賣綸ト云語ヲ引用

海暗三山雨花明五嶺春

番山馬山堯山ヲ三
山ト云五都ノ賦ニ

アル通り南方ハ暑氣ノ強イ処テ海上モ常ニ雨ナリ此郷多寶玉慎勿厭清貧此

南海ノ地ハ寶玉ノ澤山ニ出ル処テ欲フカナ奉行ガユクト玉ガ外へ去ルト云ホドニ隨分大義ナガラ清貧ヲ守テゴザレ

寄左省杜拾遺

杜子美ハ參參モ同レ拾遺拾遺テ役所カ左右ニ隔テアル

聯步趨丹陛分曹限紫微參内スルヲリハ丹陛ヲ聯步ニヒリ退テハ禁裏ノ御殿ノ左右曹ガアルヨリ紫微ヲ限リ分曹ニテアル

曉隨天仗入暮惹御香歸上ノ句ヲウケテ曉方參内スルヲリニ天子ノ御先拂ノ役人ハ天仗ノホコドヲ持テ我ニ隨テイルホコヨリ御近

白髮悲花落青雲羨鳥飛髮ニルカヤハ百

自覺諫書稀吾年ニハ天子ノ御諫ヲ申上テ切ヲ立タイト思ヘハ御當代ハケツコウナ御代テ開事カナイニ諫書ヲ上ルヲモナラヌト云テ實ハ御諫メ申テモトリ

聖朝無闕事アケノ

登總持閣アケノ

登總持閣

高閣逼諸天登臨近日邊總持閣ニ登テミバズト高ク天モトクヤウニ思ハレテ下ヲ見テロヒハ禁裏ノ御殿底カニル空ヲニ近イト云カ重

晴開萬井樹愁看五陵煙井ハ町ワリノノ竹節天氣モ晴キ長安ノ町ワリ萬家ノウラクニアル樹ニハハッキリト三五代ノ天子ノ陵

早知清淨理常願奉金仙此ノ句ニテ第二句ヲウケテ云檻外ヲミレハ秦嶺モ廣ク低

送劉評事充朔方判官賦得征馬嘶古上ノ前ノ者ガ役ガエモスルカ死テモミタ跡ノ行ク

征馬向邊州蕭蕭嘶未休征馬今朔方ニ向テカルニ物アワレニ蕭々ト嘶テヤマメ〇嘶ハ馬ノ鳴ナリ〇唐人別テ送ルニ物ヲ賦ノ贈モノトス故ニ

思深常帶別聲斷為兼秋人馬モ別テ惜ム情カ深クシテフタン別テ帶テユクフス軋ガモ忘レヌ聲

岐路風將遠關山月共愁別レユカル路ヲ望ミ見レハ何程アルヤラシメ又関山ノ月ヲミテ其元ノ哀レニ思ハルヲ思イナリ

贈君從此去何日大刀頭今此ノ征馬嘶ヲ詩ニ作り送ルテアルガ其元ハコレヨリ去テイツコ帰ラルテアラフ〇古樂府何當

吾悲悲思深常帶別聲斷為兼秋吾モ悲シク

大刀頭環也ト云語テ今此ノ征馬嘶ヲ詩ニ作り送ルテアルガ其元ハコレヨリ去テイツコ帰ラルテアラフ〇古樂府何當

劍ノ柄ニアル環ナリ

吾悲悲思深常帶別聲斷為兼秋吾モ悲シク

大刀頭環也ト云語テ今此ノ征馬嘶ヲ詩ニ作り送ルテアルガ其元ハコレヨリ去テイツコ帰ラルテアラフ〇古樂府何當

劍ノ柄ニアル環ナリ

吾悲悲思深常帶別聲斷為兼秋吾モ悲シク

大刀頭環也ト云語テ今此ノ征馬嘶ヲ詩ニ作り送ルテアルガ其元ハコレヨリ去テイツコ帰ラルテアラフ〇古樂府何當

劍ノ柄ニアル環ナリ

送鄭侍御謫閩中

謫去君無恨閩中我舊過

今度謫居セラルニツイテイカバカリ氣ノ毒ニ思ハルデア
ラフガ我モ舊閩中ヲ通テミタガ余リ替タリモイ上慰

大都秋雁少只是夜猿多

南方七閩上云テ廣イコトテ秋ノ時分
雁少ク只アルモノハ猿ハカリヂヤ

雲山合南天瘴癘和

東路ノ長キニ雲カ二面ニ合ヒ曇テアル処ヲ通テユカルコトニ難
ニ思ハレヨウカ仕合ニ秋ノコトニ南方ノ暑氣モ退レ瘴癘ノ思氣

自當逢雨露行矣慎風波

追付召シカサルデアラフ程ニ苦勞ニシ
ヤルテ當代ニツカフナ御代テ雨露ノ思

使清夷軍入居庸

御用ノ使ニク居庸塞上云閑所ノ
アル処ニ行キカリテ作ルナリ

匹馬行將夕征途去轉難

伴フモノ手ク匹馬ニナリ毎日々々合戦ノアル
道中ヲシテ行ク程難所ニキカリ

別抵訝客衣單

邊塞ノ地ノ格別サケイトニテヨラズ手前ノ衣裳
一ノウスイニ寒ニカ合点ノイカヌト云カナクテアル

苦山空木葉乾

溪水ナドモ寒クテ石ニタリキツカテ苦シキ音ガシテ物悲シク
カタワラフ空山ナドヲミバ木末モ皆黃サ落シ乾テモノスコク

莫言關塞極雨雪尚漫漫

閑塞ノ道ノ艱難コレキリニ極ルト云ニ行クサキ
ヲミレハ雪カフリソモリ漫漫トシテモナク中々大抵

テユカル
フデハナイ

自薊北歸

驅馬薊門北北風邊馬哀

敗軍ノテ足ノコトニ馬ヲ追立テ薊門ノ
北ヨリ歸ル敗軍ニ馬ヒカシ北積リテ

山口豁達胡天開

山路ノ入り口ニテ蒼茫トシテモ又ヨリ是レハナラヌト思テト
イソクテ馬ヲ追立テ出タレハ豁達トシテヒライタ処へ出テ能ク見レバ

五將已深入前軍止半廻

サテ此度ノ軍ノ負成タト云ハ先手ノ大
將ガ安内モシラヌ処へ深入リヲシテ討

醉後贈張九旭

張旭草書ノ名人テ酒ノミノ風流モノヤ座鋪テ共々
一酒ラシテ咄ラスルヤウ此詩ヲ作タモヤ訓解ノ註ヨクナイ

世上漫相識此翁殊不然

世上ノモノガサマデ交リモ深クナイニ漫ニ相識ト云ハ此翁
ヒトリ不然ガワリモノデ中々常ニ下通りノモノ見ヒト下

興來書自聖醉後語尤顛

ナニシテガリ
ヨク知テイル
トトサキノ合又氣チカイノヤウナラフ云替
夕余頭ヤ顛狂トテホシノ氣チカイデハナイ

白髮老問事青雲在目前

白髮ノ
一年ヨル

テヤリ世ライトナニ酒ヲシタリ字ヲカキタリシテイテ立身
スルハ目ノ前ニ在テモ其ヤウナリ六目モラヌ〇青雲ハ立身ノ

床頭一壺酒能更幾

同眠ルズ德利ニ酒ヲ入テ床ノ上ニ置ルガイクタキ
酒ニ酔テ子ヲラズト咄ノヤウニ問カケル

登兗州城樓

杜甫

東郡趨庭日南樓縱目初趨庭ハ論語ノ字〇杜子美兗州東郡ノ親ノイラル
處趨庭シテ親ヲ敬イ南樓ニ登テ自ラ縱ニシテノム

浮雲連海岱平野入青徐東ノ方海岱ニ浮雲ガツラナリ遠クニシテ孤
二面ノ平地ガ青州徐州ノ方ヘ入りヨシデアル

嶂秦碑在荒城魯殿餘鄒嶂山ノ方ヲ三ノ孤嶂ノ子ト岩ナトノ傍ニ秦ノ始皇
タテラレタ石碑ナドガ三漢ノ共王ノ靈光殿ノ石スモ

從來多古意臨眺獨躊躇ガ残テ
三ニル
久シク躊躇シタ
チヤスラフテイル

房兵曹胡馬

房兵曹胡馬

胡馬大宛名鋒稜瘦骨成此馬ハ西域ノ大宛國カラ來タ処ノ名高イ馬デアアル素
ヨリ名高クニ骨ガモ高クカド立テ肉スクニ骨ク

竹批雙耳峻風入四蹄輕ニカ揃テアル〇成ノ字
名馬ノ骨ノ揃タニテ

所向無空闊真堪託死生足ドリ
ガヨイ

馳騰有如此萬里可橫行セテライテモ
大事ナイデア

春宿左省

花隱掖垣暮啾啾棲鳥過禁裏トイシテ暮合垣ノニワリ花モ咲キ乱
テ小暗ク子カラ歸ル鳥モ啾々ト小声ニキツテ過ル

星臨萬戶動月傍九霄多サテ日モクテアル星ガ千門萬戸ニシテキラク動キ
月天子ノゴナサレル九曜月ニソフクイクモイクモ

不寢聽金鑰因風

想玉珂夜モスガラ子ズニ表御門ノカキノナル音ヲキイテイルガキカナルト直ニ參内スル處ノ道
五ガイル処ヨリ遠イニ風ノ音ガ官人ノ馬ニ乘テタルヤウニ思ハレクニツケテイル

明朝有封事數問夜如何明朝入ノ出ヌサキニ外ヘ知ラセズニ天子ヘ諫書ヲ九
下ガアルニ度々下役人ニモウ何ニ時デアルト向

秦州雜詩

雜詩ト云ハ沢山アル中カラ

秦州雜詩

一首ヲヌキ出シタモノナリ

鳳林戈未息魚海路常難世ノ乱レヲナケイテ秦州ニル鳳林関アタリモサワキカ今ニヤニス魚海縣ナドモ路ガフサガリ常ノ往來モナラ

又クラ 候火雲峰峻懸軍幕并乾此方ノ義經ヒヨトリコシラセラレタヤウナ処ヤ

山ノ難所ヲウチヨミテ陣トリヲスルニ陣ヤノ 風連西極動月過北庭寒風ニツテ西ノ中ノ并戸ナドモ乾テイコフ水ニイワクスル

アル星ナドノキラク動クカミ月カ北狄ノ方ニサシヨビ心ボソク 故老思飛將何時議物サビクミルノ風動月寒ト云テ塞外ノ乱ヲコメテ云フ

築壇ソニツケテモ此ノ処ニイル故老ノ切者ナモノ尼ガ漢ノ飛將軍李廣カ如キヨイ大将ガキテアラフナラ此ノヤウニ胡ガサワグイモノヲト思テアルナトゾ都ニライテ壇ヲ築テヨ

イ大将ヲエラフト云ノニモニキガアラセタイモノナヤ

送遠 此詩八三日モアトカラ作テヤツタト見ヘル

帶甲滿天地胡爲君遠行今世界中ヨロイ武者ガミチアルガフタ時分ニドフシテ遠キニカルゾラシディフ 親朋盡

哭鞍馬去孤城トメテモトラス鞍馬ニリリ孤城ヲ去ラ 草木歲月晚關河

霜雪清草木モ黃落シ歳モスニ成タイユサキへ行カレテモイカフ難クナラテアラフ別

離已昨日因見古人情ヤウヤクノ兩日ニ別レタケレニ其元ノコヲヨイラ思フニ

題玄武禪師屋壁

何年顧虎頭滿壁畫滄州晉ノ顧愷之ノ字虎頭〇壁ニ山水ガエカイテアル而モ仙境ノ滄州テ常ノモ繪トハミ又顧愷之ガ書タテ

赤日石林氣青天江海流ルガ書ニクイ日ノ

錫飛常近鶴杯渡不ホシノクサ目ノヤウニ思ハレ江海ニ天ガウツラフテ流ルヤウニ見ユル

似得廬山路真隨惠遠遊此ガレキノ跡ヲミレバガフ処モナイ廬山ノ如クニ

玉臺觀 滕王元嬰ノ

浩劫因王造平臺訪古遊浩劫ハ道書ノ文字テ世界ノ始ノコサテ此玉臺ハ

留 魯ノ靈光殿ノ額ヲ共王ノカレタユカリ用テ〇列仙傳ニ蕭史ト云モノ能ク蕭ヲ吹ク蔡ノ穆

玉臺ト云帝ノ所居ナレト滕王上帝ヲ祀ルニ玉臺ト云古ハ 梁ノ孝王ノ臺ニモトラス盛シナクテ有フ吾レ今古遊ヲ訪 綠雲蕭史駐文字魯恭

公弄玉ヲ以テ妻トス弄玉ヲレテ鳳鳴ヲ作ラシメ
鳳來テ其屋止ル公鳳臺ヲ作ル居スル數年仙トナル **宮闕通羣帝乾坤到十洲**

カヤウチ道觀ノミシ中ノ本尊ニ天子ヲ立シヨリ段々四方ノ神ヲ祭テアルツイテ宮闕ニ天帝ヲ
立テシヨリ樓下ツタイニ群帝ノ社ガアリ乾坤ノ間ニ十州ノ仙境ガアルトキイタカ玉臺キテミレバ
直ニ十州ニ至タ **人傳有笙鶴時過北山頭** 列仙傳云肩靈王ノ太子晉笙ヲ好シ後
ヤウニ思ハル **仙下成り白鶴ニ乘スト云ヲ引テ〇人ノ**

咄ヲキケハ仙人カ鶴テリ笛ヲ吹テ北山ノ頭リヲ過ルト云ガ
イカテ藤王元嬰モ仙人ニ成テイラレテ有ツガヲ目ニ見ヘヌ

觀李固請司馬題山水圖

方丈渾連水天台總映雲 海上ノ仙境方丈水ヲクルリト取リテ書テアリ陸
地ノ仙境天台云々ラフテ書ニアル〇天台賦涉海

則有方丈蓬萊登々 **人間長見畫老去恨空聞** 天台方丈ノ道ヲ修セテ去カレ
陸則有西明天台 又ニ只ノ人間ニ繪ニカキテ見空ク

詩ガカリテキイテイルレニ若クキテ **范蠡舟偏小王喬鶴不羣** 方丈ノ水中ニ小
ミヤウガ老去テ今ハ行クノモナラヌ 舟カ一艘カイヤ

ルガ是レイカサマ昔レ范蠡ガ切ナリ名トゲテ退ク天ノ道ナリト云テ去リ五湖ニ舟ヲウカヘタト
云ガソノ范蠡ガ舟テアラフ偏ノ字テエノヲキカセル又天台ノカタワラニ鶴ガ四格別ニカイテア

ルガ是レハ靈王ノ太子 **此生隨萬物何處出塵氣** サチヲヤウニ王喬カ仙鶴ヤ范
王喬ガ鶴テアチアラフ 此生隨萬物何處出塵氣 一蠶ガ舟ニ乗テユクナラズ方丈天

ハロニテモユカレイモノデモナイガ何ヲ云テモ此ノ世界ハ萬物ニ隨テ
塵氣ヲ出ヌ中々仙境ニ至ルハナラヌ繪チガリニテイル外ナイ

禹廟

禹ハ天下中ヲカケマワリ水ヲオササレシメ
方々ニ廟ガアルコレニ三巴アタリト見ヘル **禹廟空山裏秋風落日斜** 空カゲモナイ空山ノ裏ニ禹王ノ廟カアル時分ハ
秋ナリ日ハクヒカフモノサビシイ **荒庭**

垂橘袖古屋畫龍蛇 龍蛇橘袖禹貢ノ文字テアル廟ノアレハテ々荒庭ニ橘袖ト
ガアヒ誰トルモモナク廟ヲソイテミレ龍蛇ナドガエカテ

雲氣生虛壁江聲走白沙 廟ノカタワキ壁ノスキカラ雲ガチラク立ル下ノ
谷川ヲソイテミレ水ガヤクテ白沙ガ流ルコレハ

禹ノ功ヲ水ニ舟陸ニ車泥 **早知乘四載疏鑿控三巴** 禹ノ四載ニ乘テ山河ノセワ
三輔山ニ標書傳ニミユ 早知乘四載疏鑿控三巴 三巴ニ始メニ治メニタイ処

ヲ早ク知テ向ニミユ三巴水ガ立テ沼ノヤウニ成テイタラ若石ヲホリサクリ
テ溜テイタ水ヲカキ出サレタバ次第ニ水ガ治タ禹ノ大功デアアル

旅夜書懷

子美カ南方ニウロタヘテイル時分
舟ニリ夜モスガフノ景ヲ作ル **細州微風岸危檣獨夜舟** 此ノ川岸ニ舟ヲツクテ岸ニ夕通リヲミレ微風ガ草ヲ吹テ
ヒケルカヤウナ風景ヲ舟ノ中ニ見ヒトリツクリト見テイハ

星隨平野濶月湧大江流 舟ノ中カラ平野ノ方ヲ望メ
ハメニ星カキラトシテク

アサニミイフヂヤノ危檣トハ **名豈文章著官因老病休** 吾カ身ヲツクク思
帆ヲオロシテ柱ヲ立テ置ラヌ 名豈文章著官因老病休 吾カ身ヲツクク思

ワフリトシテヒライテアル大江ヲミレ **飄飄何所似天地一沙** 吾カ身ヲツクク思
月影ガ水トトヒ流ルヤウヂヤ 飄飄何所似天地一沙 吾カ身ヲツクク思

文章ヲ上手ニカイト云テ著ルモノデモナイソウナ吾レモ人ニカララ子也
浪人シテイル官人ニ成テラレキ身ナレバ老病ニ官ヲヤメテイル 飄飄何所似天地一沙

五律
卷中
二十
鷗コヤウヲラダシヨイト舟フネニ乗テイルト云モノハ何ニタトヘタモノデ
アラフク向ノ沙ヲニル鷗ノヤウナ身ノ上デアル

船下夔州郭宿雨濕不得上岸別王十二判官

夔州ノ外郭ヲ下リ宿シテイルゾリ雨ガフリ
依沙宿舸船石瀨月娟娟大船ヲ舸ト云フ水

ガ沙石ノ上ヲ流ルヲ瀨ト云○沙ヲカヂニテ大船ヲツチイデトヨリ舟中カラ
風起春燈亂

江鳴夜雨懸大風ガフイテ燈ヲケシソウニテリ江水ガ鳴テ
晨鐘雲外濕勝地

石堂偏城下ノ方デ時ノ鐘ヲツク音ガスルスケレテ
柔艣輕鷗外含懷覺汝賢

サテ夜アケ方ニ見レバ小舟ガ輕鷗トツ成テ自由ニワルアノヤウニアルカラナラバ王判官ニ
逢テコヤウモラフ何ゾ云テモ大船ニ自由ニナラヌ凄然ト哀レラ各ニイカサマ小舟ト云モノハ

自由ナモノデヤ汝トハ柔艣ヲサス

登岳陽樓

昔聞洞庭水今上岳陽樓洞庭ノ風景ノヲ咄シキイテイタカ
吳楚東南

坼乾坤日夜浮イカサキ及ビダホド有テ吳楚ハ東南ノ方ニテラケテダラナト見レ乾坤ノ中ニテイルトアラユルモノカヒルトナク水上ニ浮ニデアル
親

朋無一字老病有孤舟

方々ヲナカムルニツイテ都ヲ思ヒ出シテ々々此ノ南方ニウダ
イルト云ハアサシイゾヂヤ 戎馬關山北憑軒涕泗流今關山ノ北アタリモ胡笳ガサ

故郷ヘカエルヲモツタニナラヌ軒ヨツテ故郷コイシウ思ハレテ
頻リニナミダガ流ルハ上五句王粲登樓ノ賦ノ句ヲウケテ云

次北固山下

客路青山外行舟綠水前舟ヨリミレバ青山ノ外トリノ川通リ客路ノ往來ガ
潮平兩岸澗風正一帆懸キツイテアル手前ハ始終舟ノリ固山ノ外トリニキテ

海日生殘夜江春入舊年今此固山ヨリ東ノ方ヲミレバ夜ニマ
鄉書何處達歸雁洛陽

邊江南ノ替タラミルニツケテモ故郷ノヲ思ヒ出シテ文ヲヤロフト思フテモ便リモナイ
江南ノ替タラミルニツケテモ故郷ノヲ思ヒ出シテ文ヲヤロフト思フテモ便リモナイ

江南ノ替タラミルニツケテモ故郷ノヲ思ヒ出シテ文ヲヤロフト思フテモ便リモナイ

江南ノ替タラミルニツケテモ故郷ノヲ思ヒ出シテ文ヲヤロフト思フテモ便リモナイ

江南旅情

楚山不可極歸路但蕭條楚山極ムカラズテモ限リモナク遠イ処ニテリ
海

楚山極ムカラズテモ限リモナク遠イ処ニテリ海

色晴看雨江聲夜聽潮

海ノラモテラミレバ近クハ晴テイナカク遙遠クハ雨ノ降テイルガミル〇一説ニ海色ハ晴テイナカクヨクキラツケテ遠ク

ヲミレバ雨ノクワユニ思ハル〇昏ノ間ハソフモナイガ夜ニテ
ルト潮ガミテテ物サビシク静ニテユ水ノナル音ガキコヘル
腰ニサキイル劔ハ南斗ノ星ノ近クニ逗留シテ都ニ歸
ラス北地都ノ方ハ文ヲヤラフト思ヘ用遙遠イニトケラレヌ
吳楚ノ間ニ八橋ナドガタクサニテ北ノ都デハムヅラシイモナレバ空潭ノ
川バタナドニタクサニテ都ノ友ヤリタイト思ヘドトリツクモナレバナイ

蘇氏別業

別業居幽處到來生隱心

ラサテ此蘇氏ノ下ヤシキハ都ヲナシテ物ノ静カナテヤ
吾常ニ城下ニイルニ隱者ノヲモキヲシラセダガ今コノ
處ヘキテモシツカナラフニテ

南山當戶牖澧水映園林

向ニ終南山カ戸牖ニタリ
澧水ハ園林ニウツロフニテ

流ルモ同前
テ面白イ竹覆經冬雪庭昏未夕陰

ヤシキノノソリニ竹ガウエテアル冬キエ殘タ
雪ガ竹ノ久ニ覆イカリテアル庭ノミワ
リニ樹木ガウエテアル
ニ登モラダラクミヘル寥寥人境外間坐聽春禽

カヤウナモノ静カナテ處ニ入間
ノ外ナレバ只シツカニ坐シテキル
ハ禽ノ声ナドガキコヘルニ
テ俗塵ヲハナレタラヂヤ

望秦川

李頎

秦川朝望迥日出正東峰

秦川ノヒロトシタ處ニキテ遙ニ望メハ限リナク
廣イコト朝日ガツト東方ノ山正面カラ出テ遠

近山河淨透迤城闕重

遠近ノ山モ川モアサ日ニウツロイサツリトニ都ノ方ヲ望ムハ
透迤トナガクミイテ城闕ノイクモ重リ立テアルガ見ヘル

秋聲萬戶竹寒色五陵松

家ゴトニ竹ヲウエテアル風ガアタリテ鳴ル立見カキハ五
陵ノ松ノウエコニテアルミバドコルナクサハトミルニツイテ

客有歸與歎淒其霜露濃

急ニ故郷ヘ歸リタクナリ淒其トシテ霜露露モ
コク成テ時節ノウツリユクヲミレバカクシテアル

宿龍興寺

綦毋潛

香刹夜忘歸松清古殿扉

香刹ハ寺ノノ今此ノ龍興寺ヲテミレバ風景ノヨイツイ
テ夜ニテ歸ルヲ忘レテトモルテアル松ナドモミテニ茂ツテ

アリ寺モ古ル
ブルシクミル燈明方丈室珠敷比丘衣

モ方丈ノラクノノ方ニ常燈ガユルヒトナク明ラ
カテリ老僧ガ衣ニ玉ヲカケテ清淨ナ衣服

ラキテ
イラル白日傳心淨青蓮喻法微

空ヲミ白日ノカントアルラミレバ老僧タチノ傳心ノ
清淨ナラシレル庭ニ蓮池ガアルニヨツテ蓮花ヲ

ミテ譬喩ノ法ノ
微妙ナガシレル天花落不盡處處鳥啼飛

庭ノ花ノチツケクルヲ鳥ガフクミト
ビワルヤウスイカサニ清淨ナラヂヤ

胡笳曲

王昌齡

城南虜已合一夜幾重圍

城ノ一ウリヲエスガ一夜
イクトモテテナドリ名ニテイハ自有金笳引能令出

岩巖試一臨 虜騎附城陰 岩巖ト高クヤグラニ登テ敵ノヤウスヲミバ 不辨風

塵色安知天地心 ノ心ガナラシメヌナセナレバ天ノ思召ノ通りナレバ悪人ガウルイッナルヨノ

門開邊月近 戰苦陳雲深 門ヲヒライテミト塞ノ方カラ月ガサシヨシテモス

日夕更樓上 遙聞橫笛音 アサヒモ樓上ニ番人ヲホセテ敵ノヤウスヲウカワセルニ更ト

岳陽晚景 張均

晚景寒鴉集 秋風旅雁歸 ル日モクニ及フニ鴉ナドモソロク子クニ集リ時分カラ秋ニ雁ナドモ歸リキテ 水光浮日

出霞彩映江飛 上ノ句ヲウケテ洞庭ヲ見ラセバ夕日ガヨコシカイニサシテ水ノ面テカメニキカラトミル霞彩ガ赤ク映シテ有タモソロクウキニユクテアル下ノ句

洲白蘆花吐 園紅柿葉稀 洲ノツ白ナ沙地ニ芦花ガヒトキワ自ラ咲テアル吐トハ花ノ分ニ咲タラ云園ノ柿ナドモ紅葉ニ各

長沙卑濕地 九月未成衣 長沙ハ暑氣ノツイ処ニ九月ジラシメモウスカタヒラゲラル○九月成衣ト云語ヲ引テモ

穆陵關北逢人歸漁陽 劉長卿

穆陵關北逢人歸 漁陽 君ト云ハ則題ノ人テ今ニ歸ルト云ルガ遙ニ遠イ魚陽ニユカル心細テアラフ

楚國蒼山古 幽州白日寒 其元ニ出逢テアルニモウ匹馬ニリ北ノ方桑乾ニ向テ歸ルト云ルガ遙ニ遠イ魚陽ニユカル心細テアラフ

逢君穆陵路 匹馬向桑乾 別ル処ノ楚山ノモノ古リヤウス物哀ニアル幽州アタリヲ通ラルニ風景モ寒カハリ慰方モアルニ

城池百戰後 蒼蒼幾家殘 漁陽ニ歸ラルニモヒタモノ軍ノ有タ乱後ニ者昔ノ家ナドモ残り少ク野ハラ残タテ者アルヲニチスガラニテ通ラルナラバモノ哀ニ愁ニタエズ涙ヲ掩テミラルデアラフ

處處蓬蒿遍 歸人掩淚看 處處蓬蒿ニ遍歸人掩淚者トノハ

題松汀驛 張祐

山色遠含空 蒼蒼茫澤國 東 松汀驛ハ山ノ中ニアル馬羊ニ山ヲクク方ラミル遠ク空ヲ含ニテサキノケテモミハ又土地ノヤウスライハ蒼蒼茫

海明先見日 江白迥聞風 トテアモナクドモカレモ湖ノヤレニミル○水國デアアル海明先見日江白迥聞風

鳥道高原去 人煙小徑通 方ヲミレバステ道ガツイテアルガイカフ難所ソフナ俚小路ノ與深クツイテアル方ラミレハ隱者スマイノ家ガ見ヘル

那知舊遺逸 不在五湖中 舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中デモ五湖ノ中ヘ引込モノガト思ハコノ小徑ノククモアルソフナト隱者ラシイ人ヘアイサツテアル

五律

卷中

五律

聖果寺

聖果寺ノ下ノ錢唐ト云テ
甚々繁昌ナリ船手テアル

釋處默

路自中峰上盤回出薜蘿

サテ此ノ聖果寺ニ登ル中峯ニテイクスモ道ガワカレ
テイレ中峯カラハ一節道ヲアチラコチラマガンテ登ル

江吳地盡隔岸越山多

寺ニ至テハ風景ノヨイ処デアル江水
ニ到テコレガ吳國ノ公ト云マデガ三江

古木叢青霽遙天浸白波

古木ノヨモリト茂テアル
ヤウスガナトナク青々トミ

下方城郭近鐘磬雜笙歌

直ニ山ノ
下ノ鐘磬笙歌

錢唐ノ城郭繁昌ナリ

五律終

五言排律

五言排律ノ義ニ分クイ壁夏八大名ノ供マワリノ如クセイ
平ラニシロクク男ヲモラシテ左右ニワカツガ排テアル其如クニ隨分堅イ美イ文字

送劉校書從軍

劉ハ氏ナリ書記ラシテ
從軍テユクテ送ルナリ

楊炯

天將下三宮星門列五戎坐謀資廟略飛檄佇文雄

對句ヲ以テ云
出ス天將軍ト

天將ノ下ニ三宮ノ星門ヲ列シ五戎ノ坐謀資ノ廟略ヲ飛檄ヲ佇テ文雄トシテ
云ハ星ノ下ニ隨書天文志天將軍十二星在冀北主武兵中央大星天之大將也左星為左將軍右星為
右將軍將軍星即旄頭星也コトテ大將クテ三宮ハ明堂辟雍靈臺基ノ三殿ハ星門ハ軍門ナリ

上ノ天將ノ對テ五戎ハ五兵弓矢戈矛戈戟ナリ○先ツ出テヤウラテ天將ガ替裡參内ニテ暇申シテ
營舎ニ歸リ入數ヲソロヘ用意ヲスル坐謀ハ陣屋ニ坐シテ大將ノ謀ヲタスルナリ廟略ハ天子天事
ガテキルト大臣ガヨリ合テ宗廟ニライテ謀ヲ定メラレ爰テ大將ノ謀ノ一ニテ檄文ハ軍中テ急
ニ入敷ノ入ル時ハ檄ヲセテ人ヲ集ルテ馬トテカクヤウナカアル○勸方ノ一ヲ云其元ハ征伐ニ出
ラレテモ軍場ハ出ズ天將ノ側ニ召レテ居ナガラ謀ヲタシテ大將ノカクヒキラタスケラレハイカサメスク
レタキテアルナリヨト檄文ヲカクテ云テモ文立草ノスグシタ者テナクシテラヌニ其元ノヤウナ文雄ヲ用イラル
書記ノクイサ
ツコレテナリ

赤土流星劍烏號明月弓秋陰生蜀道殺氣繞湟中

サカチヲラ云ヒ立テ花陰山ノ赤土ヲ以テ研タテタヌノ玉チルヤウナ劍ヲ帶シ烏號ノ明月ノ如クナル
弓ヲ持テユカル以下ニ句行ク先キノ景ヲ云時節カラ初秋ノフニ蜀道アタリモノロク秋陰カ生シテ
寒イ時分デアレ殺氣トイハ秋ハ殺伐ノ氣ナレバコトハ敵ニ討勝ツ
処ノ殺氣カ湟中ニ繞テ此方ノ軍ノ勝ニルコト云カレシレデアル

風雨何年別琴樽此日

同離亭不可望溝水自西東

今コノ風雨ノ砌リニ其元ニ別シカイツ迄ト云限リモナイ
チヤ今日琴樽ヲ同シテ賑ハシイコトヲ離別ノ后風雨

ノヲリニハ思ヒ出ステアラフ離亭ヨリ溝水ガミレモ望ミレヌナレバ
吾方此ノ離別ヲ悲シム目テミルユ心ナイ水ノ西東スレデカナシラ見ラヌナリ

靈隱寺

靈隱寺ハ杭州ナリ晋ノ咸和初西僧慧理靈隱天竺兩山ノ間ニ登テ
嘆ノ曰此中天竺國靈就鳥山ノ小山嶺ナリ知ラス何ヲ以テ飛來ルト云テ

庵ヲ結名テ靈隱トイヒ其峯ヲ飛來トイフ山靈就鳥塔アリト云々
此詩ハ駱賓王カ坊主ニ成アイテ宋之問カ跡カラ來テ作タモ云説アリ

駱賓王

就鳥山嶺鬱岌峯龍宮鎖寂寥

山ノヤウスラ云出シテ就鳥嶺蔚然ト岌峯ト高
イ処ニ寺カ立テアル龍宮ト寺ノイナリ門トサシテ

排律

卷中

二

ヒツリト 樓觀滄海日門對浙江潮 樓門向イ合テアルニ對スト云 桂子月

中落天香雲外飄 元夜モスカラ月未カラカ二月中ヨリ桂子ガ落テ其香ガ雲ノホカニモヒル

几 捫蘿登塔遠 剡木取泉遙 山ノ高ク遠イ処ニ塔ガ建テアルニ蘿ニトリツイテ

方カラ泉ヲトル 霜薄花更發 氷輕葉互凋 霜ガウスイニ花ガカワルハ咲水モモヒ

夙齡尚遐異 披對條煩囂 我レ若イ時分ヨリカヤウチ遐異ノ世ヲナレタ処ヲ面白

待入天台路 看余渡石橋 老僧ナドニ對シ

宿温城望軍營 通リカリテ軍營ヲ望テ

虜地寒膠折 邊城夜柝聞 兵符關帝闕 天策動將軍 ワイテ北

塞靜胡笳徹 沙明楚練分 風旗翻翼影 霜劍

轉龍文 大将ノ下知カヨイニ陣中モヒツソリトシテアルニツイテ胡笳ナドモ通リスケテキコヘル沙ハニ

烟踈疑卷幔 塵滅似銷氛 白羽ノ矢ヲフヒテイルヨロイ武者カ立並ニテイル八月ノ

顧勲還應雪 漢恥持此報明君 コノヤウニヤスハトシツラレヤウモノナラハ吾モ投筆後

在廣聞崔馬二御史並登相臺 崔氏馬氏二人ハ臣御史ノ官ヲ

振鷺纒飛日 遷鶯遠聽聞 明光共待漏 清覽各披雲 振鷺

蘇味道

行列ヲトノ人ニ入レテ參内ヒラシ間モナク鶯ノ音高木ニヲヤウニ立身セラレタヤウスヲ通ニ遠クキ及

ニ夕今尚書郎ニシタニ朝サ漏刻ヲ待テ明光殿ヘ余リ天子ノ詔ヲカタクナレハ直ニ天子ノ

非事

三成テイルヲ南方廣州ニ

イテ聞テ作テ送ルナリ

ノ陣中ヲミレハ大将ノ功ハ古ノ晋ノ顧榮ガ勲功モヲトラスト顧榮ガ功ヲ思ヒヤツテ云〇漢ノ恥ト云

公高祖ノ匈奴ニ屈レテ和睦シテ親類ニラレタコトヲ云我レ今コノ陣中ノ治タラニルニ班超顧榮ガ

如クモスヲ平シテ其テガラヲ以テ

明君ノ御恩ヲ報シタイモシテアル

崔氏馬氏二人ハ臣御史ノ官ヲ

相臺宰相ノ役処ニシタル尚書

振鷺ノ如ク

非事

清々ツカリ各三人披雲白日ヲノソ
喜得廊廟舉嗟爲臺閣分故林

懷拍悅新握阻蘭薰
サテ其元々チハカヤフニケツラ官ニララレハ後三廊廟
ヲエテ宰相大臣ニモナラレデアラフ廊廟之オト云ハ

晋ノ索靖ガ子綵ガ故吏デアル○二人カラ同役ナレウケトリメノ役所カチカフテアルケチ上テ
モノフニツ役所ニイラレタナラバヨカラフニ基閣ノ分ツテアルチトキドクニシスル臺閣ト云ハ門下省

ヲ鸞鳥臺トシ中書省ヲ鳳閣トシ尚書省ヲ文昌臺トスルナド云テ其役各臺閣ニヨツテ名ト
スルテアル文選ニ松茂而拍悅ト有テ御史ノ役処ニ相ガウエテアル其元故林ノ間カラ郎官ニ又キ

出サレタ外聞モヨイト云テヨロコバルデアラク今カラ新握ニ蘭ヲ一キツケテ郎官ニテラレタフニ送寄
テ心ヤススルフモノルメイ○漢尚書郎懷香握蘭趨走丹墀故林ト云ヨリ新握トウケテ蘭薰

ト云ハ尚書
冠去神羊影車迎瑞雉君羊遠從南斗外遙望列星文
ノフナリ

神羊ハ獬豸ナリ御史ノ冠ナリ瑞雉ト云ハ漢ノ蕭芝カ尚書郎ヲ除レタ時ニ野雉群ヲナシ
テ車ヲ送テ岐路ニ至タト云故吏ナリ○御史ノ冠ヲ委テシヨリ上ノ郎官ニテラレタハケツウチキテ

アル我レ遠ク南斗ノ外ヨリ遙ニ其元々チノ列星ノ文官ニテラレタウラヤミソツテ送ルトナリ
○列星ハ天ノ帝坐ノマワリ郎官ノ星ナリ崔馬ノ二郎官ヲ南極トイハス南斗ト云テ列星ト對テ

奉和幸韋嗣立山莊應制
李嶠

南洛師臣契東巖王佐居幽情遺紱冕宸眷矚樵漁
御立ハ中宗ノ
隱者ナリ○コノ嗣立洛陽ノ東巖ニキコシテ常ノモト分カフニ天子モ師匠ノ如ク思ヒ召ス然レハ
東岩ニ引込テイナカテ天子ノ補佐モ同前ノナレハ王佐ノ居ト云モノチヤ○契立カクツ云○嗣立ハ隱心幽情

カ深イ人ニ官入ノ紱冕ヲ遺樵漁ノ
制下峒山蹕恩回灞水輿松門駐旌

蓋葺幄引簪裾
峒山峒山ナリ昔黃帝ノ廣成子ニ道ヲ問レタガアルニコモチニダ
モチヤ天子ヨリ御志ハリノ入敷ラソコニモイト御制力下リ嗣立ヲ裕別ニ

思召スニ輿ヲタラサレ長安ノ東灞水ノホトリノ御幸ナサレ山莊ノロウスラ云隱者ノコニ門チノ
松カウエテアルカ天子ノキヌカサヤ旌ナドヲ立テアルニ駐ト云座敷キワノ葺ナドヲムスラ直ニ幄ヲリ

ハシテ大勢ノ官入タチヲ
輿ノ方ヘ引テユク
石磴平黃陸烟樓半紫虛
仙路近琴酒俗

塵疎
黃陸ハ日ノ通ル道テ天子ノ御通り道ノニ今テ山莊ノ石磴ヲ御通りチサルハ黃陸
モ同前チヤ隱者ノ雲霞ノウチノ御入りチサレタニ天子ノ御座処モ同シテアル實ニ仙路

ニ近ク琴酒ノタノシモ俗ヲナレタ
喬木千齡外懸泉百丈餘崖深經鍊藥

穴古舊藏書
先祖ヨリ冬シクノ処ニテラレユニ年ハ大木カソウテ立テアル庭ノカマリ流
水ナドモ百丈ホドリテ高イ処ヨリサ落ル傍ラ岩ノカケナド成テアル処ヲノ

ソイテミバイカサニ韋氏ノ先祖ノウチニ丹葉ナドヲ子ラレタ処トミル又古イ石ノカケタ
アトガアル此モ定テ先祖ノウチ道書テモ取テ置レタ処ト云以下ニ句韋氏カ器量比テ云樹宿搏

風鳥池潛縱壑魚寧知天子貴尚憶武疾廬
大木カ生茂テアルニ大鳥カ
スミソフニ池ナドモ大鳥カ

白帝城懷古
漢ノ光武ノ時公孫弘カ馬ノ成都郡
シテ自ラ白帝ト稱タガ凡唐ノ夔州ナリ
陳子昂

葛武侯ヲ御訪
ナサレタ如クワサク御幸ナルト云大抵ノコトナリ韋嗣立モアリカタク思ヒイト云テアル

日落滄江勉停撓問土風城臨巴子國墓沒漢王宮夕日方白帝城川北舟ヲカケ

撓ヲ停テコレ何ト云処デイヤウノ有々処ト風主ヲトハハ主風ヲムテ白帝城カラ直見ヲロス処カ周ノ時ノ巴子國デアル又カタワラ古劉玄徳ノ吳ヨリ敗軍シテ歸ラシタ魚腹ヲ改テ永安宮ト名シラタカトモ没シテ

跡方モナクナリ荒服仍周甸深山尚禹功巖懸青壁斷地險碧流通見ワタタ処ヲ云〇蛮夷ヲ荒服ト云王制千里ノ内ヲ甸服ト云〇今荒服ノ如ク成テアル処カ分リ周ノ都ヲイテ甸服デアル深山ノヒラケテ今往來ノナルト云分レ禹ノ大功チヤコレテカトナ甸ヲイテ深山ヲ望メハ岩カサカサテ青岩カ壁ノ如クケツリ古木生雲際歸帆出霧中川途

去無限客思坐何窮西方山高イユ古木ナドニ雲ガカリ雲ノアイタ木ガ生ソアルヤウ霧ノ下ヲツク石ナ中ヲドト云アテドナシニ乘テユク客思モル生ス思ヒト九ノモノイ

峴山懷古

秣馬臨荒甸登高覽舊都猶悲墮淚碣尚想臥龍圖峴山ハ聞及

中カラシタクシテ朝サトク峴山ニ登リ古ハ繁昌ナラテ有ツラフト都ノアトヲミソツム昔晋ノ羊祐カ襄陽ヲ鎮メ峴山ニ遊フヲタクシテ民ヲ思フ惠澤ノ深イユ羊祐カ死ヌト峴山ニ碑ヲ立テシラミルノ涙ヲナカス後ニ杜預カ墮淚ノ碑トナツタ碣ハ平字ニ碣トイタモノヤ碑ト同シチヤ今アラ峴山ニ登ラ墮淚ノ碑ヲヨシテシラヤリ古カララヌ相接ヲ孔明カ隱キタ隆中山ヲ見ズムツ

イテ孔明カ陣ヲ石ヲ以テ城邑遙分楚山川半入吳丘陵徒自出賢聖幾

凋枯スリテ麓ノ城邑ヲミハ地勢ガ楚國ノ方ニツテアリ山川吳國ノ方ニツテアル唯山ガヨキト野樹蒼烟斷津樓晚氣孤誰知萬里客懷古正踟躕野

タト云義野樹野樹蒼烟斷津樓晚氣孤誰知萬里客懷古正踟躕野

樹木ナドカミルガ蒼烟斷テシラハケテアル〇ワタシ場ナドカミルガ昔ハサソ家モタカサ有タアララカ今ハ尺ツツレノ樓ガアルニチヤ吾萬里ノ遠キヨリキテ古ヲ知テイルダケテ懷古踟躕シテイル云ヲ誰レモ知ルニイ

贈蘓味道

杜審言

北地寒應苦南城戍不歸邊聲亂着笛朔氣捲戎衣今其元北地へ行テイルル

サシ寒フテナギナフテアララ都ノ歸ルヲテラズツトメテイルト云太茂ナラテアル北地ニ對シテ都ノイラフ南城ト云起句ノ苦ノ字ヲウケテ此ノ寒イニツイテ邊塞ノ胡厓カトモカシテモ笛ヲ吹山フクテアララフ乱ノ多イ意テ北風ガ吹テ吹テ雨雪關山暗風霜艸木稀胡兵

戰欲盡漢卒尚重圍雨雪モヒタモノ降テ關山タリモ曇リワタリテ暗ク風霜ノ強イ

雲淨妖星落秋高塞馬肥據鞍云去リチカラ胡ノ兵モ大半尽ヌト云其上此イカカラ行テイル兵モ打圍テヨリミセヌト云

雄劔動搖筆羽書飛

ソラモレ思星モ落タシ追付軍モ治ルテアラフマ馬モ肥テ達者ニナル時分ニカケマワリモヨク大刀ヲ帶テ動キヨラフ其元ハ文章ノ

疾者ニ軍中調

法ニ九ギデアアル 興駕還京邑朋遊滿帝畿方期來獻凱歌舞共春暉

大將ノ惣人數ヲソシテ京方エラルハ朋友凡ガ都ニチテ侍イルカラ定ツテイル未春首尾ヨク歸テ凱陣ノ歌ヲ獻シテ天子ヨリ御酒宴ヲ下サレハ共々歌舞シテタノシムテアラフ

酬蘇員外味玄夏晚寓直省中見贈 沈佺期

同役ノ郎官ガ六月ノ末天子ノイトイ番 並命登仙閣通宵直禮闈大官供宿膳

侍史護朝衣

門員外尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書省下舎ノ其元ノ當番テ員外郎ノツトメ処崇禮門ノソキニアル禮闈寓直シテトツテゴザルソユ天子ノ大官ノ臺処カラ夜食ヲ供シアテゴウ侍史ハ女官テ郎官ノソキニアリテ明朝參内ノ朝衣ニ伽羅

ナドヲタキコメ

守護ノイル 卷幔天河入開窓月露微小池殘暑退高樹蚤涼歸

役外ノ景ヲ云幔ヲミクト直天河カサシユヤウニ窓ヲヒラクトウス月夜ニ露ノヲイタタキ色トオカノカニニハ夏晚ノソキ暑氣モ退キ涼シクナリ一ダ秋ニテラヌウチカラ冷ニ秋ニテリカツタヤウスニ

ア冠劍無時釋軒車待漏飛明朝題漢柱三署有光輝

裝束ヲイクモテ久夜アケノ漏ヲ待テ直ニ參内セラルハ漏ノ水トケイナリ漢ノ田鳳方郎官ヲイテメシトキ各儀端正ナリ靈帝ノ目ニ上リ題柱曰堂々乎張京兆田郎トホメラレタガガ九ノ明朝

其元參内ニシテ器量スケタニ格別ニ天子ノ御目ニ上リ柱ニ題セラルハナラ同役ノ

同書舍人早朝 二夜アケノイラ云

聞闔連雲起崑崙廊拂霧開玉珂龍影度珠履雁行來

表御門ノ雲ニ連テ高く起テアルガニ廊下マワリノ戸ヒラナドモ曉方雲霧ヲ拂テソクヒラク崑崙ハ只高イト云ニツイタモノチヤソヨリ官人凡ガ玉珂ノカガリ立タ竜ノ影ヤウナスケタ馬ニ乗テクルモアリ珠履ヲフンテ順ニ

長樂宵鐘盡明光曉奏催一經傳舊德五字擢英

オ長樂宮ハ鐘ノアル処テ夜ノウチニツク鐘モツキシフ名ハ明光殿天子ノ奏聞スルキヲ催シオ一インカレク成テキテトコレハ五モ草舎人ト同キウニツトメテイルヲ云以下二句テ字文ヲルメ

其元ハ親ノ旧徳ヲツタエテ漢ノ韋賢ニモヲトラヌオラスケタテアルハ漢韋賢為丞相少子玄成復以明

經歷位宰相鄒魯諺曰遺子黃金滿篋不如教子一經魏ノ景王ノ虞松ガ草表ヲ鐘會

ガ五字ナラシタレハ明文ニ成テ帝ノ御モゲンニ入タガアル其元ノ

英オテ文章ヲ書シタラハ定メテ御キゲンニ入テアラフ 儼若神仙去紛從霄漢回

千春奉休曆分禁喜趨陪

ミリト宵漢ヨリ下ルトク分骨ノスケ通ル立チマイラスル人テアルハ紛ハヒラクトスルアバイテアルハ春正ニ

存スル千春共カワラヌケツコウナ御代ト云趨ハ趨走ノギテウヤウウク陪ハ相伴ノク分禁ト云公草氏ハ

中書郎テハ尚書郎ヲ三御近習キキノ役ナレ禁中ノ内テ役所ガチコフユハ分禁ト云

非律

奉和幸長安故城未央宮應制

宋之問

十二月三日御幸ナリ漢ノ都ノ跡未央宮ノ有タリ。漢王未息戰蕭相乃營宮壯麗。一朝盡威靈千載空。漢ノ高祖ノ戰ヲキメス自身征伐出ラレタトテ蕭何カ未央宮ヲ作

タル処ノ威靈モアト。皇明帳前跡置酒宴君羊公寒輕綵仗外春發幔。杜麗ニテケレバ威カ輕イトテミカキ立及殿閣モ朝ニキハテスケレ

城中今德ノ明ラカナ天子ノコノ処ニ行幸有テ昔ノ跡ヲミラシサテマゼン天子ノ御先拂ライノ道具テホコヤリノト云モテ金銀ノ箔ヲ以テサイキシテ五色ノ樂思廻斜

日歌詞繼大風今朝天子貴不假叔孫通廻斜日淮南子ノ故事テ天子モ

ク思召西傾名日ヲ御威勢ヲ以テヨヒカヘ日ヲ三舍反魯陽公カ故事デアル○天子ノ御制作ヲホテ

昔漢高帝沛宮御幸有テ酒酣ニシテ大風起兮雲飛揚ト云テスケレタリ今日ノ天子ノ御制

作歌詞大風ノ歌ニ相繼デアトラスケレタリテアル以下抑揚ノ天子ノゴアイサツヲ○漢ノ高祖在郷

カヲ出テ天子ニテラレタニ朝儀カ治ライテ叔孫通ヲカリテ朝儀ヲ起シタト云カ今日ノ天子ニイヌ元ヨリ

貴イニ叔孫通ガヤウナモノヲカルニ及ヌ高祖ヨリサツタナリ漢ノ初群臣飲酒シテ功ヲアラス醉

テ安リニ呼ヒ劔ヲ拔テ柱ヲ擊ツ高帝厭之叔孫通起朝儀諸侯王以下震肅ス帝曰吾今乃

知為皇帝之貴也ト云ハレタリガアル

奉和晦日幸昆明池應制

世説ニアル通り正月晦日ノ行幸ナリ

春豫靈池會滄波帳殿開舟凌石鯨度槎拂斗牛廻春ノ行幸ニ

靈池トハホメタ言テアル春昆明池ニ御幸ナサルニツイテ池ノ滄波ニ臨テ假リ御殿ガ押シ開テ立テ

アル武帝ノ時ニ池ニ石鯨ヲコシラヌタガアル御坐舟ヲ押シ込ニテ通ル同池中ニ牽牛織女ヲ石ヲ以テ

縁ガアルニ假テ楫ノ字ニカハル以下ノ二句正月晦日ト云フキカセル節晦賞全落春遲春ノ行幸

柳暗催象溟看浴景燒却辨沈灰莫艸トケイノヤウナ艸ヲ堯ノ時ニ生シタ

生シテ六日カラ一葉ヅク散ル今モ晦日ノ一全ク其落ト云春ナカラバ餘寒カアルニ柳ナドモ出ヌ

暗ニ催スト云○象溟大池ノ大キナラフ云溟海ト云ハ海ノ一ニテルニ溟ニ象ルト云ナリ○浴景トハ

月海水ニ沐浴スルヤウニ出ルヲ云モテ池ニ日影ノウツルヲ見テ浴景ト云テアル池ノ深イハ三災ノ

燒灰ヲ武帝ノ時此池ヲホルトテ底カラホリ出サレテ摩唐竺法蘭見テ劫灰ト云フヲ知ヌト云

夕深イ鎬飲周文樂汾歌漢武才不愁明月盡自有夜珠來今日ノ天子ノ

御制作ハ漢ノ武帝ノ汾河ヲ渡テ秋風ノ辭ヲ作シタニモ劣ラヌ今日ノ音樂ハ周ノ文王ノ樂ニモヲト

ラヌ○今日ハ珍ラシイ御遊興テ殊ニ夜ニ入ルテ還御ナラヌ今宵ハ晦日ノ一二月ガナケレモ苦勞ニ

ナラヌ大方魚ガ明月ノ珠ヲ含テ來ルテアラフ○昆明池ノ魚ガ武帝珠ヲ獻シタガアル

和姚給事寓直之作

御史ヨリ給事ニ成タト見ユル

清論滿朝陽高才拜夕郎還從避馬路來接珥貂行其元ノ夕天勢ノ

ト朝廷ハハイノ評判ニ高オラ以テエラヒ出サレ即宮ニ仰付ラレタ○日暮入對青瑣門拜スル夕郎ト云其元ハ八馬ヲサケラルル御史ノ役ヨリ來テ御近処ムキノ貂ヲリシサム給事ノナニ入ラレタ○後漢ノ桓典カ故事ナリ絶句ニアリ○珥貂トハ寵就黃扉日威廻白簡霜柏臺遷

鳥茂蘭署得人芳御近処ムキノ夕天子ノ御ソハ近付テ格別ニ御寵愛ヲウケラレトノ御史ノ時ニハ白簡ニ邪惡ノ者ヲ書付テ直ニ天子ニ御目ニカケルキツイ霜

ノ如クナル威勢ハ廻テ其元ノ本役所柏臺モ鳥ヲウツヒテ其元ノ役替ヲヒラレタム禁靜鐘初徹

更疎漏更長曉河低武庫流火度文昌寓直ノヤウスヲ云禁裏ニヨモスカラ

ト早ク通リメケテキコヘ更ノウツルモ間イカ遠ク刻ヲツグルモ長ク思ハ曉方ソラヲミレバ禁裏ノ西南ノ方ニアル武庫ノ方天河カ低レ時分カラヒ月ノクニ大火心星モ西南ニアル文昌宮ノ方ニ

寓直光輝重乘秋藻翰場暗投空欲報下調不成章寓直ノヤウスモ

其元ノ番ヲミテイラルユニハモカクヘニ思ヒ○乘秋トハ文章モスクレテヨク出來ルテアラフ○翰ハ文章ノナガラモ鳥ノ飛上ルヤウナト云意ヲ含テアル○思ヒモヨラズ名詩ヲミルノモナラヌ此方ニ暗ニ

投シテクシタム出來スナガラモ和シタフ思ヘ

何ラ云テモ下調クユ章句ヲサシ殘念ナク謙退ト云ナリ

早發始興江口至虛氏村作

候曉踰閩嶂乘春望越臺宿雲鵬際落殘月蚌中開宋之問カ南

々時分ニ南方始興縣ノ江ヨリ發足シテ虛氏村ト云來テ作ル○候曉夜ノ明ルヲ見合セ待テ閩山ヲ越テ越ノ方ユク春乘シテ越王ノ臺ノ跡ト見○鵬際トハ莊子ニ北溟有魚其名爲鵬化

而爲鳥其名爲鵬々之背不知其幾千里也怒而飛其翼若垂天之雲トアルユ雲ト鵬トアリ

ニ成テ鵬際トハ實ニ天際ノクニテ爾宵ノ内カラ宿雲ガニタガ曉方ニミレバ天際ニ落テ見ヘヌト云ナリ○蚌ハ水中ニアルモノ蚌ノ貝ノ中カラ五カ出ルト云ユニ

桂香多露裛石響音細泉回山路ノ体ヲ云夜ノアケルニ隨テ碎荔ナトノ青クトシケリ

テアルガニル枕柳ハ南國ニ澤山アル木テ葉ノ大分ツイテ

葉玄猿嘯銜花翡翠來南中雖可悅北思日悠哉山ノ木葉ノカケ

テアル木テ此ノ方ノ櫻桐ノ葉ノヤウチモノソウナ昔ノ上ニ覆テアルユ一發ト云桂ハ只サニ香ハニモガ朝露ガハイタリシテアルユ尚々香ハニ谷アイナドノ泉ノサラクト石ニヒイテ流ル音ガキコヘル抱

素丹心已作灰何當首歸路行前翦故園菜ソレニ吾ガクロ髪モ素クナリ

六功ヲ立テ立身シヤウト思テ

夕丹心モ灰トナリナニカモヤクニタヌ○心ハ火ナリ火ノ色ハ赤ニヨツテ丹ト置タモノデ火ヨリ灰トツリ合テアル何當首歸路都ニ歸テアラフナラハ故園ノ草ノエ茂ッテアル処ヲ刈リ拂テ引込ム氣ニ

成タ古詩ニ方同勝戰者去前北山菜トアリ

同餞楊將軍兼原州都督御史中丞

同上六本集三イテ撰シ
タモノユ其通リニセテ

兼テ西域ノ方ヘユクヲ送ルナリ

蘇頌

右地接龜沙中朝任虎牙然明方改俗去病不為家

凡ソ入南面スル
トキハ西右當

ル其元ノカル右地西域ノモスロノ龜沙ニツイテクハ天切ノ処ニ朝撰ニ於テ其元ヲ虎牙將軍ノ
重ノ官ニ仰付ラレテツカサル虎牙ハ漢將軍ノ号テ龜沙ト對テ其元ノ胡ノ地ニカレテ漢ノ張然
明ガ如ク夷ノ風俗ヲ改シテセラル漢ノ武帝霍去病ガ為ニ第ナリ

治ニス去病辞メ曰匈奴未滅何シ家ヲ以テスルヲセテ云々ガアル 將禮登壇盛軍容出

塞華朔風搖漢鼓邊月思胡笳

天子ヨリモキント壇ヲ設ケテ大將ノ禮ヲトノ
盛ニテアル度大勢ノ入敷ヲ引ツテ塞ヲ

出ラルハ誰カニテモ華ヤカナチヤ奴アノ方ヘカレタナラハ塞ノ朔風 旗合無邀正冠危有觸

カ北方ノ漢鼓ヲツカサレ又月夜ハ胡笳ヲキカルテ有ト今オガ思ヒキル

邪當看勞旋日及此御溝花

旗合イテ云父數ノヨクソフタノニナル此ノ方ノ正レキニ
夷臣ガ向ヒ進付ヲハナルイ殊 御史ヲカ子テユカルニ

ニオノミイ冠ヲカフツノ居ラレウニ依テ夷臣ガ恐レテアラクハ御邪ト云ハ御史ガキント吟味シテ觸レア
タルヲ勞旋ト云ハ邊塞ニ出テ手ガラテモアルト天子ヨリイコフ苦勞ニ有タトテ御酒宴ヲ下サレ

ルラ云ノ大方邊塞ニカレタナラハ其ミ治メテ歸ラルテ有フニ依テ御酒宴ヲ下サルノカチヤウド此
ノ御溝ノ花ノ咲ク時分デアラフト祝テヤルナリ及トハ足チガフテモ及ブデハナイチヤウドソコ
行クガ
及ナリ

奉和聖製途經華嶽

張說

天子ノ行幸ノリルミツイテ經華嶽ト云ガ天子ノ 西山嶽鎮皇京中峯入太清玉鑾

願テ大華山ハ都ノ西ニ當テ天下ノ五嶽ノ中ニナリ 重嶺應緹騎薄雲迎

先ツ此ノ華嶽ハ都ノ西ニ在テ皇京鎮護ニナル山テ頂上ニ三峰
ガアル真中ノ峯ハ天ニトビイアルヤウニミルソノ行幸ナサルニ

天子ノ御車ノ玉ノ金ト云モノガコタニニミイテ山ニ應ヒ緹騎ノ 白日懸高掌寒空映削成

赤イ裝束シタ御先手ガウス雲ヲワケ上ルニ迎トイノ

軒遊會神處漢幸望仙情

白日カ高ク掌ノケルタリニ懸テハハ○華山記ニ華山四
面峻如削成上有五崖此壑破出廠而連自下遠望

如常ノ寒空ト云ハソノ晴レ切タテ削成峯ニ映シツキリトミル昔ヨリ山テ黄帝軒轅氏ノ神仙
ニ會セラレタ処テ漢ノ武帝ノコノ山ニ行幸シテ高臺ヲタテ神仙ヲゾミレタ情モ今日天子ノ思

召モ同ヒデアルト昔ノイフ 舊廟青林古新碑綠字生羣臣願封岱廻駕勒

云ニ今ノ天子ニ比ス

鴻名

青林ノ中ニ山神ヲ祭テアル舊廟ハモノ古リテ此ハ古建シテ石碑ニモナメカニ昔カ生シテ
一アル以下訓解ノ註ワルイノ羣臣モカ兼々岱山封禪ノ義カアレカト願テイルツイテコレ

ヨリスク天子ニモ駕ヲ廻ラシ岱山ニ御幸ナサレ封禪ノ御儀式ガ有テ天子ノ鴻名ヲモ
勒シ我々ニテモ各ラレレテカエリタイモト天子ヲオスメ申ス心ニ云ナリ

奉和聖製早度蒲關

張九齡

魏武中流處軒皇問道廻長堤春樹發高掌曙雲開

昔魏ノ武侯吳
起ト西河ニ舟ヲ泛

テ美哉山河ノ固是魏國ノ寶也ト云々
 廣成ニ道ヲ問ハレシ同事デアルト聖人比ニ云
 汾水ノ堤ニウエテアル並水氏モ春ヲエテ花ガヒラキ以下ノ
 一句ヲ題ノ早ノ字ガキコル華山ノ高堂ノアル方ヲ
 遙ニ見望メハ夜ノアケルニ隨テ雲モヒラキ
 龍負王舟度人占仙氣來河津會

日月天仗役風雷
 天子ノ一ニ水中ニイル竜王舟ヲ負テ度リコノ外ノ人モ天子ノ御歸リナサル
 先拂ヒラストミル文選ノ相知ノ賦ノ意テアル天子ノ旗モサマシクアルガ皆模様ニ日月風雷カ画テア
 ルユ其ノ一ヲ云々モデアアル會日月トハ正月晦日ノ一ニキカセタモシク晦朔ノ間ニ日月カ會スルユ月ガナク
 ナルテ

東顧重關盡西馳萬國陪還聞股肱郡元首咏康哉
 東ノ方關
 尽シ西ノ方ノ國々ノ諸侯多チモ天子ノ御歸リクニ皆御迎ニ出クイカサニ被蒙員ナリデアアル古漢ノ世
 カラメ此ノ蒲團アタリハ都チカククニ股肱ノ如ク大事ニ思召ス外チヤ今元首天子ノ四海康哉安寧
 ニ治タウスヲ詩ニ御作りナサタラ見テ股肱ノ者モ皆康哉ヲ咏シ我レモ亦
 天子ノ和韻ヲ仕リマスト云ナリ書經ニ元首明哉股肱良哉庶事康哉トアリ

和許給事直夜簡諸公
 簡諸公ヲ題ニ作タ詩ヲ九齡ニ諸公ノ内ニ和
 スルナリ簡ハ手紙キソシテツカハスナリ

未央鐘漏晚仙宇靄沈沈武衛千廬合嚴扃萬戶深
 未央宮ニ於テ入相ノ鐘モナリ日モクテ禁裏ノ御殿モシモリトオグク沈沈トオククカク見ル武衛
 夜モスカラハリ采曹スル役テ役所ガクルト取リマワシアルユ合ス上云扃ハ萬戶ニキツト采曹ヲミテイテ
 非常ノ者ナドガメツタニソ
 左掖知天近南窻見月臨樹搖金掌露階庭

接玉樓陰
 其元ノ誥テイラハ左掖直ニ天子ノ御近処有南窻ヲヒラクト月影ガツリノウカラ
 揺ト云左掖ノ庭ハ禁
 裡ノ玉樓ノ後ニアル
 他日聞更直中宵屬所欽聲華大國寶夙夜侍臣心
 此中カラ其元ノカワリ番ニ出ラルト云一ノギイテイカカト知シタ中宵侍チヤウドアツテキヤト至意テ
 屬所欽ト云〇ホメテ其元ノヤウシ聲華入ト云モノハ誠ニ大國ノ宝ナル夙夜君ノ左右ニ侍ヒテ忠義ヲ尽シ
 ル心テイラハナレバコニ
 逸興乘高閣雄飛在禁林寧思竊林者情發爲知
 音
 オノクニ興ニ乗シ高閣ニ登リ詩ヲ作テテラレタカ今夜禁裏ニ寓直シテイ中モ其元ニ先達テ
 トフ者ハアルイ誰テモ其元ニシクモノナシ雄飛ト云ハ男鳥ノ鳥ニ先立テ飛テ意テアル吾レ元ヨリ
 詩ヲ作ル氣モナカシカ其元ノスケタ詩ヲ見テ思分シラズ和スル情ノ發スルハ其元ノ詩ヲヨブモノガアルガ
 何トドフ思ヤルゾ寧思ヤトカハツテ三子ハレメ〇竊林ト云ハ樂ヲナレ止此ノ方ノ小謠ヲヨクウタフ者近
 処ニ居テキクトキニ手前ニ心覺テアルモノ面白イ処ニユクト思ハスシラスニ手拍子ヲウツヤウガ
 竊林ト云ル〇知音ハ鐘子期伯雅カ故事テ琴ノ音ヲキシル音樂ノ上ニツイタナリ

酬趙二侍御史西軍贈兩省舊寮之作
 西軍ノ大將テツシイニ舊
 寮トイハモトノ相役デア
 齡モ同役テ有タトミル
 詩ヲ贈タモノデア
 石室先鳴者金門待制同操刀常願割持斧竟

梅雄
 石室ハ天子ノ秘書ヲ藏メテラカル藏テ守者ノ集ル処デアアル〇先鳴ハ左傳ニモアル通リ
 〇操刀割ト云ハ黃帝ノ言ヲ述テ民ヲ治ルニナル元ヨリオノスクレタ人ユカヲ操テ何ツツツカレ
 ハナタチヤ金馬門ニ天子ノ詔ヲ待テ同ク及弟ヲシタモノユソナタノ器量ノスクレタヲヨク知テイ
 〇操刀割ト云ハ黃帝ノ言ヲ述テ民ヲ治ルニナル元ヨリオノスクレタ人ユカヲ操テ何ツツツカレ

治メテイノカアラハ治テニタイト常ニ願テイラユミ
持斧大将ニテラレタ意雄稱ヲトラレタ
應敵兵初起縁邊虜欲空使

車經隴月征旆繞河風
應敵ト云コノ方カラアタニ田ニ隨分敵カサワイテアノ方
カラ軍ヲシカケルヲ待テトソクトヤウスラ見トケテ此方ノ人

數ラ起シ敵ニ應シテフセクユヘシテ此ノ方ノ勝ニルノ縁邊トイハ縁ハ衣裳ナトイハハルリノ
ナル邊塞ノ北カラ西ヲオシメテ夷兵ガ皆々其元ニ追ハレテ逃テシテアラフ御用テ往來スルニ使車旗

ヲ立テ障頭ノアタリヲ
往來セラルテアラフ
忽枉兼金訊非徒秣馬功氣清北浦海曲擊滿拍

臺中
ナコトニ際ノナイ中カラ詩ト云心モモツテアルゲツコフナラトゾラシテクシテカタシケナイ枉トハ
コソニシキ処カラコレタガ枉テアル今其元ノカコフナラ詩ヲミルニ徒ニ秣馬ノ武功ノミアラズ文

章モスクレタ人テアル器量ノスクレタ人ニ蒲海アタリモ
靜謐ニ治リ其名ノキコモ相臺アタリニ満ルテ有フ
顧已塵華省欣君震遠戎明

時獨匪報常欲退微躬
其元ヤウナスクレタモアルニ依テ吾カ身ヲカエリニハ何ノ功
モ立テス歷々トツ役処ニイテ華省ヲカシテイルハ恥カシイ

イヤコナタカ遠戎威ヲフルワルハウラヤミイテアル御當代ハ明德ナ御上ニエナニソツ功ヲ立テ御
恩サヘ報シテアラフナラバナゲヤリニハナサレイモ得ナラヌイテハ吾ガコノ少シ微躬ヲ退キ引込

ニラフト
存スル

奉和聖製送尚書燕國公說赴朔方軍

大臣燕國公張說ノ
朔方ノ軍ニ赴カルニ
宗臣事有征廟算在休兵天與三台座

人當萬里城

カヤウヲ大將ノ征伐ニ出ルヲリ天子ヲ始メ百官カ宗廟ニ於テ御儀式ヲ上テ仰付
ニラニ依テ廟算ト云算ハカリコトナリ宗臣ハ大臣ト云意ノ鎮リニイ朔方
三ノ大臣ノ征伐ヲ事トセラルハ通リノ軍ヲ治ルヤウナ大將トシカフテ休兵ヲモトシテ行カハ大
臣トイハ天ニ於テハ三台人事ノ上テハ三公ニ當テ甚々重クイテ其トイハ八人テ萬里ノ城ニアタルホト人

朔南方偃革河右暫揚旌

カヤウヲ人ニハ朔南ニカレテ直ニシヅマリ兵革ヲノシ治ルデアラフ河右ノアタリニ暫ク旌ヲ揚ラレ
タラ忽ク乱モシヅムデアラフソレニ天子ヨリモ格別色々ノ賜ヲ下サシ其上ニ御製作ニ下サシ花若

山川勤遠略原隰軫皇情

カヤウヲ人ニハ朔南ニカレテ直ニシヅマリ兵革ヲノシ治ルデアラフ河右ノアタリニ暫ク旌ヲ揚ラレ
タラ忽ク乱モシヅムデアラフソレニ天子ヨリモ格別色々ノ賜ヲ下サシ其上ニ御製作ニ下サシ花若

六郡勇計日五戎平

カヤウヲ人ニハ朔南ニカレテ直ニシヅマリ兵革ヲノシ治ルデアラフ河右ノアタリニ暫ク旌ヲ揚ラレ
タラ忽ク乱モシヅムデアラフソレニ天子ヨリモ格別色々ノ賜ヲ下サシ其上ニ御製作ニ下サシ花若

山甫歸應疾留侯功復成

カヤウヲ人ニハ朔南ニカレテ直ニシヅマリ兵革ヲノシ治ルデアラフ河右ノアタリニ暫ク旌ヲ揚ラレ
タラ忽ク乱モシヅムデアラフソレニ天子ヨリモ格別色々ノ賜ヲ下サシ其上ニ御製作ニ下サシ花若

歌鐘旋可望枕席豈難行

カヤウヲ人ニハ朔南ニカレテ直ニシヅマリ兵革ヲノシ治ルデアラフ河右ノアタリニ暫ク旌ヲ揚ラレ
タラ忽ク乱モシヅムデアラフソレニ天子ヨリモ格別色々ノ賜ヲ下サシ其上ニ御製作ニ下サシ花若

四牡何時入吾君聽履

カヤウヲ人ニハ朔南ニカレテ直ニシヅマリ兵革ヲノシ治ルデアラフ河右ノアタリニ暫ク旌ヲ揚ラレ
タラ忽ク乱モシヅムデアラフソレニ天子ヨリモ格別色々ノ賜ヲ下サシ其上ニ御製作ニ下サシ花若

聲

カヤウヲ人ニハ朔南ニカレテ直ニシヅマリ兵革ヲノシ治ルデアラフ河右ノアタリニ暫ク旌ヲ揚ラレ
タラ忽ク乱モシヅムデアラフソレニ天子ヨリモ格別色々ノ賜ヲ下サシ其上ニ御製作ニ下サシ花若

ノ時カ早フ帰ラレテ五ノ君ノ其元ノ履ノ声ヲキイテ悦ハセラルヤウニ
シタイモノデアノ漢ノ哀帝鄭崇カ履声ヲシル尚書ノ故事テ親イ義ナリ

奉和聖製暮春送朝集使歸郡應制

朝集使六國々ノ郡主ノ方カラ入別帳ナドヲ

持テ上テスグニ正月ノ御儀式ニ逢テ帰ル郡主ガ間ニ直ニ來ルモアル
郡主ヲ以テ古ノ諸侯ニ比シテ天子ノ御製作ガ九ニ付テシラ和スル也

王維

萬國仰宗周衣冠拜冕旒玉乘迎大客金節送諸侯

春秋ノ時合ノヤウニ云ヒカケル唐ノ都ヲ

周ト云ヒ出シテ郡主ヲ諸侯ニ比ス萬國ノ諸侯ガ皆々唐ノ御世ヲ貴ヒキント衣冠束帶ヲシテ冕旒ノ御衣ヲメシテ拜ルヲ并ニ來ルヨツテ王乘ヲ以テ大客ヲ御迎ヘナサレ帰ラルニ金ノ節旒ヲ下サレ

道中筋モハテ帰ラルテ有フ祖席傾三省褰帷向九州揚花飛上路槐色

陰通溝今カエラルニシイテハナムケサキノ祖席ハ三省傾イテ皆官人女子ガ馳走スルノ太守ノ車ハ褰帷九州方々ノ國々ノ時節カラ春ノコトニ揚花ナドモ飛散テ都ノ海道ニギヤカニアル御溝ノウリテ來預鈞天樂歸分漢主憂宸章類河漢

番象滿中州都ニ來テハ正月ノ御儀式鈞天ノ樂ニアツカリ國ニ歸テハ天子ノ憂ヲ分テ民百姓ニ下サレル天子ノ宸章ノ御製作ハ天ノ河漢ノ如クニシテ其番象ノヒカリガ九州ニ滿チワタツテ殘ル処モナイ本九義ト手前詩和作ニ天子ヲ變テ云

送李太守赴上洛李氏カ上洛郡ノ太守ニ成テ行クヲ送ルナリ

高山包楚鄧積翠藹沈沈驛路飛泉灑關門落照深其元ノユカ

ノアタリ古漢ノ時楚鄧ノ間ニ春ノユカ山ガ青々トシ藹トシノオグラク沈々トオクノカイノデ何ホドシイナアルヤラシレ又山路ヲ及豆テユカルユカニ過シ高イ処カノ飛泉ナドダシギ落照ヲリハ関門ニイラルナラハサソサビシイ野花開古戍行客響空林板屋春多雨

山城畫欲陰其元ノナル役所ハ山ヲクニアルユカ其アタリニアル荒レテ々番ナド屋敷ナドニ野花ノナニ庄名ノシレ又花ナドカ咲テアルデアラフ行客ノ足音ガケモナイ空林ニヒイテヒノサビシイ海道ヲオク山ノ家ナドモ板屋根ニアルユカ春雨ガフリカレバサワガシニ依ニ多シト云山城ニ畫モ雲ガ掩テウスゲモツテアリ丹泉通號略白羽

抵荆岑若見西山爽應知黃綺心丹泉ハ川ノ名テ此ノ流ハ號畧縣ノ方ニ通テ又白羽山ナト云高イ山カ楚國ノ荆山ノ方ニタレ

積水不可極安知滄海東九州何處遠萬里若乘空積水ハ海ナリ海ト云モノハドマ

送秘書晁監還日本晁監ハ阿陪仲磨ガテテ玄宗ノ時秘書監ヲシテ日本ヘカエルヲ送ルナリ

向國惟看日歸帆但信風驚身映天黑魚眼射波紅

夕三空ニ乘スルヤウニユカル

向國惟看日歸帆但信風驚身映天黑魚眼射波紅

夕三空ニ乘スルヤウニユカル

向國惟看日歸帆但信風驚身映天黑魚眼射波紅

夕三空ニ乘スルヤウニユカル

向國惟看日歸帆但信風驚身映天黑魚眼射波紅

夕三空ニ乘スルヤウニユカル

向國惟看日歸帆但信風驚身映天黑魚眼射波紅

夕三空ニ乘スルヤウニユカル

向國惟看日歸帆但信風驚身映天黑魚眼射波紅

夕三空ニ乘スルヤウニユカル

向國惟看日歸帆但信風驚身映天黑魚眼射波紅

キケハ朝日ノ出ルヲ月アテニシテ行ト云カ帰ルト云テモイソクモナラズトモナラズ風シタイニシテ風
ヲタノミニユクト云モノデアル海中ニ魚魚ノ舟ヲ吞ミソフナ大魚ナドガ時々ウカシテ天映シテマツ黒
三魚眼ノ光リガ波ヲ射テ紅ニ見ユル其ヤウナ 郷國扶桑外主人孤島中別離方
処ヲ通テユカルト云モノイラナギナラフデアラフ 異域音信若爲通
其元ノ国ハ日ノ出ルニ近イト云フニヨツテ扶桑ノ本ノ近処デアラフコナタ
ハサソキウクツニアラフ異域ニ別レテイルユ音信ヲ
通スルト云トモナラフイト思ハ別レテチゴリ惜フ存スル

送儲邕之武昌

李白江夏元時より江臨テ
月ヲ三別ルニシテ思出ソ作ル

李白

黃鶴西樓月長江萬里情春風三十度空憶武昌城

今其元ノユカルニ
ツイテ吾モ共ニ行テ

武昌ノ黃雀樓ノ月ヲ見タイト思ヒ出シ長江臨シテノ情サソ面白カラフユキタイト
思フノミテ春ノクニタビトニ十年コノカタ空ク思フバカリデア武昌へ行カスニル

送爾難

爲別銜杯惜未傾湖連張樂地山逐泛舟行

今其元ガユカル隨テ共々カ
又ニ爾ヲ送ルガコトノ外別ニ

多ク思フ今ノ酒ヲ飲テシフト直ニユカルニ依テ少モ座ヲ長フシタフ思テ孟ヲカタケテノミカスル
叔道スガラ昔黃帝ノ咸池ノ樂ヲ洞庭ノ野ニ張ラタ此レ名所デアルガソラ見ナガラ通ラレテア
ラフ舟ニ乘リ山ヲ見ナガラ通ラレテハバサソ
面白テアラフ山ヲ見ナガラ通ラレテハバサソ
諾謂楚人重詩傳謝朓清滄浪吾

有曲寄入權歌聲

李布ハ楚國ノモノユ故事ヲ出シテ昔ヨリ楚國父ノタノモイイ処ト云
殊ニ謝朓ト云名高イ詩人モイタ処ユ今ニ其詩ノ位ヲ傳テ詩人モアラ

二句謙退シテ云吾ガ漁父ノ歌ノ如キ詩ヲ作テ
送別ニヨセルガセメテ船中ノ權歌ニモシテクレイ

陪張丞相自松滋江東泊渚宮

孟浩然

張説丞相ノ相伴ヲ松滋江ヨリ 放溜下松滋登舟命楫師寧忘經濟日
渚宮下下道スガラノヤウスラ作ル

不憚洄寒時

溜ニ放トハ溜ハ水ノ川上ヨリ流キテヨドニテト流ル川ニアル舟ヲ放テ溜ニ隨
テ松滋江ヲ乘リ出スツリテ舟ニ登リ楫師ニヨリ渚宮ハ舟ヲヤリトヒイト

命ツケルノ二句倒句デアアルノ洄寒ノサムイヨリ不憚渚宮ニ下ラルハナグサニタメテ今イ天下ヲ治ル
処ノ經濟ノ政ヲ心カケテ忘ズイラルユデアルト云ガ張説ハノイサツナリノ經濟ハ政事ノ世話ヲヤ
イテ民ヲ治
ルヲ云ナリ 洗犢豈獨古濯纓良在茲政成人自理機息鳥無疑
カ冠ヲ水ニアラフタト云ガ獨リ古ナラシヤ今其元モ仙人ニラトラヌ人デアル纓ヲ濯フト云ウナ潔白ナ義
モ屈原バカリデアナイ良ニ在茲ソモトデアル以下張説ガ治メ方ノヨイヲ云政事ヲナスニ事ガ小細ニテ
クコセツカヌユハカ自然ニ理レ治ル列子ニアル海上ノ人機ヲクリヤシテタル間息鳥ガウタ
カスニソテテ遊ニテ去ラナタト云ガ今張説モ無心無為ニシテ治ラルニ民モ自然ニツタ 雲物凝孤

嶼江山辨四維晚來風稍緊冬日至日行遲

舟中ヨリ三処ノ景ヲ述テ向ノ全レ
寫ナドヲ三レ公寒イ時分ニ雲カ一

漁歌激楚辭渚宮何處是川暝欲安之

楚ノ土地ヲ過ルユ雲夢沢ノ方ヲ
三レ百姓ガ獵ヲスル音ガサソギ

非律

卷中

三五

云々見ナサレテヒトリナナレノ男ト云々太宗ノ四歳ノ時三勝者カニテ竜鳳ノスガタガアルヨラテ天下ヲト
人ト未來記ヲ云々カ果ノ其通りニ成テキテ十八歳ノ年ニ切テ出テ天下ヲトラシタ。乱世ニ虎狼ノヤウニ
人々ノカニテクイタ悪人トシテ太宗ノ
御威勢ヲ以テ押潰ラシメシタ
天屬尊堯典神功協禹謨風雲隨絕足日

月繼高衢其主ニモ太宗ノヲトナシ義ハ手前ハ天子ニテラス高宗ニ即位ヲサセテ手前ハ諸侯ニ
成テイラシタ天屬ハ天然ノ御ツキト云意兄ノ天子建成ハ悪人ト有タ云堯ノ舜ニツ

ツヤウニ位自然ニ太宗ノ年ニ入テキタ其世界ノ神妙ニ治ラシタ処ノ功ト云モノハ夏ノ禹王ニモオトラ
又人テアル殊ニ臣下臣モ皆思ヒ合タクニ絶足ノ馬ノ足ノ早イナト云ヤウニ何ノ苦モナクチツトノニ

天下ヲトラシタソレヨリノ日月ノ如ク
天子ノ御位ヲ數代御ツキナサレタ
文物多師古朝廷半老儒直詞寧戮辱

賢路不崎嶇文物ニモカヤモ皆古ヲ師トシ古ノ如クニセラシタ太宗ハ學文スキラセラシタユヘ
朝廷ニモ學文ノ功者ナ儒者モ大勢集リキツイ諫メナト云モノハ天子モ

イヤルモノデアルガ能ク諫言ヲキ入ル人テ諫ヲ云モノニ戮辱ヲクワカト云モノク賢者ヲ道ノ
サカシヤウニナクツト立身サセテアル以下訓解ノ註非ナリ起句ニカヘリテ太宗ノ功ヲホタルナリ

往者災猶降蒼生喘未蘇指揮安率土盪滌撫洪鑪往者トハ隋ノ
ノ未ノイフ

云隋ノ未ニハ天ヨリヒメモノ災ガ降テ蒼生在臣モカタイキニ成テイル処ヲ太宗カサシテ子イテ
率土安寧ニ治ラシ民ヲ撫テ安モラ夫下ヲツクト洗ヒスイタヤウモシタ洪鑪天地造化ノイ
壯士悲

陵邑幽人拜禹湖玉衣晨自舉鐵馬汗常趨ル去ル程ニ今トドノヤウチノ武象
ナ男大陵ニ來テモ太宗ノ功

三感レテカサレニテケカヌモノハナイ
幽人ハ手前ヲリス吾レ此ノ処ニ來テ太宗ノ陵ニ感レテイハ御廟ノ
中ニ太宗ノ御衣ヲ入タ唐ヲ櫃カアルガ時々ハ御衣ガヒトリ出テ箱ノ上ニアルト云フ大功ヲ立タ人ノ

蒐死テモ消ヘヌト云ガ誠ニソウモアルソウチ鉄馬ニ
兼テ時々ハカケウラルソウチ汗ヲナカシテイルト云フカ
松柏瞻虛殿塵沙立暝途寂寥

開國日流恨滿山隅此ノ方ノ目ニ只松柏ノ中ニ虛殿ノ建テアルヲ見テ塵沙ノカカラシ
暝途ニ立テアル境界ニ太宗ノ魂ノサワイテアルカハモ見ヘスデア

唯寂々トモ弁ビシテ太宗ノ國ヲヒラカシタ時分ノヤウチハナイニ盛ニテララ思ヒ出シテ
三六頻リモノカナシウツテ主テソラ中ノ隅々ニテ滿チワタル流ハツキ又意ナリ

重經昭陵

草昧英雄起謳歌曆數歸風塵三尺劍社稷一戎衣草昧ハ天地ヒラケガ
ルラサシノ云ニ依テ

隋ノ未ノ乱シタ世ノ中ヲ云テハ此ノ乱シタ世ノ中ニ英雄太宗ノ起ラシテ天ノ曆數ノ歸スルト云フ先
達テ謳歌ニアラシタ隋ノ煬帝ノ生キテイルウチニ揚柱ニ盛天ノ曆數有テ爾身云ヤリ歌ガ

出タノ舜ヲ謳歌セシラフ云ヒカケテ云フ漢ノ高祖ノ如クニ天ノ
劍ヲフリ携テタツタ度軍ヲ天下ヲ治ラシ武王ノ如クアル
翼亮貞文德丕承載武威

聖圖天廣大宗祀日光輝翼亮ノ二字テ太宗親子ノコトナル唐ノ高祖ニ天下ヲ
トラセテ太宗ガ翼亮トシテ傳シテ文德ヲ貞實ニカワラス

保ツテイラレテソレカラ天ヨリ大ニウケルカ即位セラレテヨリ跡アラキナ武威ヲ袋ニ入レサメテ文
ヲ以テシ禮ヲ以テシテ治メラシタスグレタル処ノ計天ノ如ク廣大ニシテ宗祀モ日ノ如クニカヤイテ

子孫繁昌
陵寢盤空曲熊羆守翠微再窺松柏路還見五雲飛陵
ニアリ

寢廟カ山ノ間ニ建シテアルカハカヘノ方ニ武士居ガキツト番ラシテイル童子テ松柏ノ道ヲウカヒ
宗廟ノ高イヲ望ミ見レハ何カヒラス五雲ノ乗ノ通ルヤウニ見ユルカニダ神靈ガキエウセソウナ

非律
卷中
年月

王閬州筵奉酬十一舅惜別之作

閬州ノ奉行ノ座敷ナリノ舅ハ母方ノラヂニ姓ヲカスデアアル

萬壑樹聲滿千崖秋氣高浮舟出郡郭別酒寄江濤

次ノ句ニ浮舟トアルニ谷川

ヲ乘リ出ス景色ヲ云秋ノイニ谷川ノロニア九樹声凡ノ鳴ル音カニチワタリ舟ノ中ヨリ千崖ノイホノ方ヲ仰ブミハ秋色ガソラ寒ノスミホツテ高クシヨリ舟ヲ固クシテ方ニテ乘リ出ノ直ニ江濤ノ波

上ラ酒ヲリシドコロヲ良會不復久此生何太勞窮愁但有骨君羊次尚

以下ニテキライフナリ如毛ツカヤウナ出會ト云明且テハツガレヌ今ノニ別テニハ子ハナラヌトフシタテオレハ此ノヤウニシキラスルノ至極愁ヘラキハメテ其身モ骨バカリニ成タヤウニアリ乱ノ御リナレハ盜人ハ大勢

出アサウクダト云ユク吾舅惜分手使君寒贈袍沙頭暮黃鶴失侶亦

哀號ヲ贈テケラルカタシケナイ范叔ガ故事ヲ用イテ云岸ハ夕通リヲミレハ鶴ガ羽友

鳥ヲ失テカケシラウニ鳴クガ我レモ其元ニ別ルガアノ通リナヤ

春歸 蜀ノ草堂三年ノ冬

苔徑臨江竹茅簷覆地花別來頻甲子歸到忽春華

草堂ノノリニ竹ガ植テ

アリ江ノ方ヘヨミチガズイテアル春ノイニ吾カイル茅ヲキノ軒ノ下ニ花ガ散テアルノ頃甲子ハ左傳ノ字ヲ用テ頻年ノ意ナリ頻リニ甲子ヲ歴テ今歸テミレハ三年メテ春ノイニ花ナドモ見エニ咲テアル

倚杖看孤石傾壺就淺沙遠鷗浮水靜輕燕受風斜

川ハ夕通リヲ杖ニスガフテ此

石モ替フズ元ノ通りデアアルコト氣ヲツケテ是レハ孟ノズナルノイト思テ沙地ニイテノミカケル遠ク向ノ水ノ面ヲミレハ鷗ナドガ水モノ靜ニ浮シテアリ燕ガ風ヲウケテ横スガカイニ飛テタテ面自イコデアアル

世路雖多梗吾生亦有涯此身醒復醉乘興即爲家

吾身ノイヲ云モ出シテ故郷ヘ歸ル

コノ生ト至ノ久限リクランモ今直テ生キス隨分酒ヲ醒テムクニ興ニ乘シ即家郷ト思ヒシテイルデアアル

江陵望幸

ト代宗ノ吐蕃ヲチラレルヲイヤニ思召テハ江陵ニ都ヲウツフイウレタガアル今杜氏江陵ノ東ニキテイテ今ノ天子モコヘ御幸ナサレヤ

雄都尤壯麗望幸歛威神地利西通

心作九龍江陵ノヨイコガリヲ云フ

蜀天文北照秦

上元年中ニ江陵ノ南都ト称シタサテ此ノ江陵ハ尤リシテ敏蒙ノ處ナヤ

風煙含越鳥舟揖控吳人未枉周王

由テテアル未々周王天子ノ駕ヲ枉テ行幸ナサレヌウチニ江陵ノ民ハカ

甲兵分聖旨居守付宗臣早發雲臺仗

由テテアル未々周王天子ノ駕ヲ枉テ行幸ナサレヌウチニ江陵ノ民ハカ

恩波起涸鱗

サレ程ニ甲兵ヲ以テモスラ防クヤウナシハ聖旨ヲ分テ臣ニ仰付ラレテ都御留守居ルキハノ大臣ニ御アツケサレ早ク御供ヒララテ天子ノ御恩

巡狩ナサルト云フ期シテテテ

イル周ノ穆王漢ノ武帝ノ故事ナリ

波ヲ以テ水ヲカエテ九処ノ民ヲウルホサセカト天子ノ御幸ヲ待ツナリ雲堂伏下ハ光武ノ子八將ノ子テ爰テ天子ノ御供廻リイニナル洞鱗ハ莊子ノ字ナリ

奉觀嚴鄭公廳事岷山沱江圖

廳事ト云六此ノ方ノ書院サレキノヤウチモ今壁ニ沱山沱江ノ圖ガ

カテ沱水臨中座岷山赴北堂白波吹粉壁青嶂捕雕梁一句々々三繪

沱水ノ流ヤウスガ壁ニ畫テアル依テ中坐臨ト云沱山ガ北堂ノ方ニ畫付ケテアルニ赴ト云沱水ノ白波ヤウスラクマドツテアルガ自壁ニ吹カケタヤウニ見ユル岷山ヤウスカ青々トノ派木ノキウニ

テトクヤウカイ直訝杉松冷兼疑菱荇香雪雲虛點綴沙艸得微

茫杉松ノヤウスラヨク畫キ取タユニ冷トスルヤウニアル是レ合点ノユカヌト思フホドクノテアル

川バ夕通りノ草ナドモ遠イ処ヲヨク畫取タ得ト云クヤウセト云意ナリ

霓飲練光霏紅洲蕊亂拂黛石蘿長嶺ヲ雁ノワタルヤウスラ下テカキニ

雁ガ大キク見ヘ段々ウスクタルニ隨テ小クニユル川ノ上ニミナダガツイトカイテアルガ地絹ヲクダヤウニ

イエノクテ石ニタノカカ暗谷非關雨丹楓不爲霜秋城玄圃外景物

洞庭倚谷イナダガクラフ見ヘルガ雨ノ降テ暗イテハナイガ画ヲフニ暗イヤウチキナレタ処カ雨ノ

繪事功殊絕幽襟興激昂從來謝

太傅丘壑道難忘幽襟ノ興ガ出テケル〇激昂ハ画ヲミテイルウチニ出テケルヤウニミユル

冬日洛城謁玄元皇帝廟今ノ唐詩選ニ洛城北トアレハ吳々山ガ

畫五聖圖ト云杜甫カ注テアル然レハ題ニナイカヨイ〇唐ノ世テ老子ヲ先祖アレイニシテ廟ヲタ

配極玄都闕馮高禁衛長守祕嚴具禮掌節鎮非常子ヲ公天ニ於

寒外金莖一氣旁山河扶繡戶日月近雕梁屋根ノ瓦ナドモ青々ト三〇初寒

仙李盤根大倚蘭奕葉光世家遺

非律

卷中

日月毛雕梁示ト述フ隔ラヌヤウニ見ユル

仙李盤根大倚蘭奕葉光世家遺

非律

舊史道德付今王

庭李子樹カウテアルガ盤根木ト根ガリモ大ニ老子ノ德モスエリ盛ニナルノ蘭ナドクウエテアルガ見テニ枝葉ガサカテアリノ後漢ノ宣帝

猶蘭殿テ生レタユコヘ出シタ枝葉ノサカルト至モノ子孫ノ繁昌ニナル漢ノ大史公司馬遷カ史記ニ孔子ナドラ世家ニ老子ヲ列傳ニセテ何思ハヌヤウニナル然レモ老子ノ道德經ト云モ分々タナラヌモユ今王玄宗ナドノ時代ニ成テ德ガ盛ニアラハテキタノ玄宗ノ老子ニ註ラセラレタ以下道主ガ繪ラホメル 畫手看先輩吳生速擅

場林羅移地軸妙絕動宮墻

五ガ先輩ニモスクレタ画カキルガ沢山アルカ吳道一士ガ画ニツククナイノ撞場ト云ハ相撲トリテイハ

大關ナド云義テ画ガキノ中テモ道士ニツクモノナイト云ニナル天地ノ間ニアラユル

五聖聯龍

衣千官列雁行冕旒俱秀發旌旆盡飛揚

五代ノ天子タチガ衣冠ノ御衣ヲ列ラシメテ画テアリ天子ノワキテシモ官人ガ席順ニシラナクテアルノ冕旒ノ至ノ冠ヲシテ御座ナサ

深留景紅梨迥得霜風篔吹玉柱露井凍銀床

柏樹ナド茂テ日ノ影ヲトメテオクテラフ

經傳拱漢皇谷神如不死養拙更何鄉

老子ノ周室ノ世ニヤシイ書物藏ノ來ラレテイラレタガ世ノ衰ヘテ見カキ

身退鼻周室

周室ノ世ニヤシイ書物藏ノ來ラレテイラレタガ世ノ衰ヘテ見カキ

治タノ老子ハ神ヲ慮ニヤシテイハ死ヲモトクハレタ人ハ賢ガワルイ隨分拙ニオロカナガヨイトイハレテ

アルガ老子ノミテシカレタ通リモレ死ナシラヤウナラハ拙ヲヤレテ大方トゾニ居ラレテアアアア云フ實ハ當時ノ仙人ノイヲスルニアテ云ナリ

聖善閣送裴迪入京

聖善閣ハ道觀ト云レ裴迪カ都ノ行ニ別ル也

李頎

雪華滿高閣苔色上勾欄藥州空塔靜梧桐返照寒

朝夕雲ガ高閣ノ夕ニ消

疾携手暫同歡墜葉和金磬饑鳥鳴露盤

ニカヤウナモノ靜カナ境地ヘシモ上手ナ詩人ガリ集テ詩ヲ作ル

水向西看舊託含香署雲霄何足難

今伊水テ其元ニ別ルニシイテ其元瀨水ヲタリテ東ノ方ヲ三ニ別ラオレニ

亭高出鳥外客到與雲齊樹點千家小天圍萬嶺低

此ノ西亭ハ山上ニ建テ有テ高ク

早秋與諸子登虢州西亭觀眺

附注六得低字上九

岑參

我ハ西向テ瀨水ノ方ヲ見シテ思テ望ニ看ルテアラフ今都ニカチ其元モト即官ヲ

ユニモノク立身セラルテアラフノ託含香署ニ便リニナルテアラフト云ナリ

殘テアル庭ノ草ナドモ人カフムノナイユニエサエテ生ハホリ道觀ノユニ葉州島カ

キタシモト込アルヤウスモノ靜ニ梧桐ノウニテアル方ニシバカサトサレシテクル

ニシレノ頭痛ナドハ愈ソウニアル然レモ永ク樂ムガナラヌ追付別レタナラヌ

木ノノチル音ガ金磬ニ和シテキコヘ塔ノ九輪ノ上テ鳥ガヒタルソウニ鳴ク

我ハ西向テ瀨水ノ方ヲ見シテ思テ望ニ看ルテアラフ今都ニカチ其元モト即官ヲ

ユニモノク立身セラルテアラフノ託含香署ニ便リニナルテアラフト云ナリ

殘テアル庭ノ草ナドモ人カフムノナイユニエサエテ生ハホリ道觀ノユニ葉州島カ

キタシモト込アルヤウスモノ靜ニ梧桐ノウニテアル方ニシバカサトサレシテクル

清吟可愈

行接禁闈何當扈仙蹤攀折奉恩輝五ガコノ並木ヲウエテ入テニレバ
ヤウナルヨクク思テミレ御通りノ路ノ方ハ行ヲ分テ禁裏ノ方ヘヒキツテアル馳道ニ並木カウエテ
アル攀折ト云ハ高イ枝ニ及ヒツクコト今ウエ立タ水ヨリ攀折ト云ハイツカ早ク天子ノ御車ノ御
供ヲレテ吾ガコノウエ立タ木ヲ
御覽ニ入レタイモノデアアル

行營酬呂侍御

劉長卿

行營トハ行クサキ俄ニ出來タ陣屋ナリ此營ニ重キツトシタ大臣ガ大将
成テイテ國々カラ年貢ヲ取テ兵糧ニスル呂侍御其下役テ詩ヲ冬酬アリ 不敢淮南臥來趨

漢將營受辭瞻左鉞扶疾拜前旌劉長卿淮南陽太守ニ成テイル兵糧ヲ
出セトシテト云テメツタシカハル毎日大将陣

營ニモミハ制シクハナラヌ○淮陽ニテノナルニ波黥臥閣ノ故事ヲ出シテ少々氣給ガワルイト
云テモ吾ガニ臥テイルトモラヌ毎日大將ノ陣屋ニテ御キゲヲ伺イ大将下示ノ受テ出ル府テ大将
ノ左ノ鉞ノ立テアル下カラミテ氣色ガワルウ
テモガハ公亮手備ヲミルト直ニ葡也ニ子ハナラヌ

井稅鶉衣樂壺漿鶴髮迎水歸餘
斷岸烽至掩孤城年貢ヲイルモ呂侍御ノセソヤヤウガヨエシレテ著テイル員之モ
モ昔ニ思ハス三年貢ヲ出ス鬢ノソケテアルオヤハ臣ガ兼當ヲモラテ

迎出ル孟子云單食壺漿以迎王師○魏衣ハ荀子ノ文字ナリ○以下二句淮南ノ治ニ
夕イ云洪水ノ後ニシテノ後ニ立ヌキリ岸ガカリカ残テアリヒタモサキガ起テ五ガハ城ヲ多クサテテ

日當千騎秋風合五兵孔璋才素健早勉檄書成然レモ任合ナリニハ入
シテ千騎モアクルヤウ

ナ其元ノ來ラルユロクノモノサヒイ時分ニ思ハヌ此ノ吾ノサワク時分ナレモ大将ノ五兵ヲ合
シテイルニシテカニシイル殊ニ其元ノ古ノ陳琳ニ劣ラヌ才智ニコノサワキノ時分ナレバインカ早ク軍中
ニ於テ檄文ヲカイテ手カララシラレルヤウニト
書記ヲカ子テイルニ文武ニホメテ云ナリ

送鄭說之歙州謁薛侍郎

鄭說ハ諸生ニシル薛侍郎ハ侍御ノ官
歙州ノ太守ニ成テイルレニテ送ナリ

漂泊來千里謳歌滿百城漢家尊太守魯國重諸生フサテ此ノ鄭說
ハオノスケレタ人

ナレ時ニアラズ落フレテ千里ノ都ヨリ來テ會歙州ニナル其元ノナル外ノ薛侍御ハ治メカノヨイ人
又百姓ハカヨコヒウタフテソラウチハインノ評判デアアル漢家ノ天子ニ於テモ太守公重イ役ニ大切ニ思
召シ御尊ヒナサル歙州ハ古ノ魯國ノ地テ學問
ノヤル処ニ其元ノヤウチ諸生ノ方々ナラ重キテ有フ 俗變人難理江傳水至清船經

危石往路入亂山行歙州ハト孔子ノヲツタ処ニ風俗モカツタカ今ハイコフ治メニク此ノ
キケハ薛侍御ノ清潔ニ治メシタト云○水至清ト云語カアルニ清潔

嘗聞馬南郡門下有康成滄洲世ヲ分レタ隱者ノ趣ヲミテ會ニ其元ト一處ニキタノ思
一處白首成テイルニ行クマラ唯クモイタニテイルハカリ

老得滄洲趣春傷白首情滄洲世ヲ分レタ隱者ノ趣ヲミテ會ニ其元ト一處ニキタノ思
一處白首成テイルニ行クマラ唯クモイタニテイルハカリ

排律終

七言律 七言律ハ句ヲ下スカツカケ先ツリ合格調カオモテ五言律ヤウニ
故事ヲタクサン用ノテモワルイ向ニ故事ガ見上テナラヌ

七律

古意

古意ハ樂府題ナリ。樂府ニ盧家ノ少婦トアリテ。又盧家ノ字ニ莫愁ト云モノカアル上ニシテモヨイ

沈佺期

盧家少婦鬱金堂海燕雙棲玳瑁梁

起句ノ分ハ離レモ成テ。又通リノ見立。一通リハ盧家ノ少婦ガカサリクテ

敷内ニ夫婦ナカヨウ海燕ノナラヒ棲テイルヤウニシテイルトウラハテ。夫トテ征伐ニシテ今歸ラスト云ニ

三ニル又ブレガ此盧家ニ嫁入レテキテ。海燕ノ並ニ棲テイル如ク。夫婦中ヨウイタモノヲフツト夫カ征伐ニ出テ

今歸ラスト云義ニモ。九月寒砧催木葉十年征戍憶遼陽。此ノ少婦ガ夫婦中ヨウ

面白ソウニシテイルガ。ブレハウラハテ。擲リヨモスガ。アカシキケバ秋ノイニ所々テ砧トウラウチ

木ノ葉ノ落ル音ガキコヘルガ。此時分定メテ。五ガ夫モ寒カラフカリソニ別トヤウシテ。早ヤ十年ヲル。白狼

河北音書斷丹鳳城南秋夜長。白狼河ノアタリハ。遠イコニ。狀文ノ便リモ。斷我ハ丹

ヨク秋夜。誰爲含愁獨不見更放明月照流黃。此ヲリカラ誰カ何モゾイ。チツル

長テアル。見ノ曲ヲ吹ク更月ヲ聞ノト。リ。再シ。入心ホソイ。流黃ハ。赤色ノ名テ。此方ノ玉虫色ナド。云レウチモ

ノテ。女中ノ閨ノト。リ。流黃色ニル。題ノ古意ハ。閨怨ノキカ作テアル。三獨不見ト題シテアル。訓

解ニ木葉ノ出カ出シテアル。甚タワルイ。遼陽ト對テ。公レタガ。結句初唐ノ

格テ面白イ。木葉ヲムリノニ地名ニシタカル。詩ノ不安ホ内ナ義チヤ

龍池篇。龍池篇ト云商雅ニ玄宗ノ親王テ隆慶坊ト云。御座有夕時坊ノ南ノ

大地ガサケテ大キノ池カ出來タヲ。中宗ノト者ニ古ハシテ御座見シタレバ

此処ヨリ後天子テル人カ出ヤウト云タ。龍池躍龍龍已飛龍德先天天不違

易ノ乾ノ卦ノ言ヲ以テ先ツ隆慶坊ノカタヲノ池ヲリ。龍カ飛テ出テ已天子成タ易ノ乾卦

ノ言ニ飛龍在天ト云其龍ノ德ハ先天。アハタケレ。天ノ御存シナサレタ云。天ニ違ハ天子テラセ

ラシタクニ。池開天漢分黃道龍向天門入紫微。推シ開タ処ヨリ出タ龍カ天門

此句ヲウケテ。二向テ紫微宮ニ入リ。邸第樓臺多氣色君王鳥雁有光輝。邸第樓臺多

天子ノオナリナサレケル。毛格別ニモツタイガ能ク成リ。天子モ時々行幸ナサレ君王ノ

御覽ナサルヨリ。水中ノ白雁ニテモ格別リソハニツタ。爲報寰中百川水來朝此地

莫東歸。シテ天下ノ百川水モ必ス東海ニ流ル。及ハ又皆此地ニ來朝

御酒三預テ。皇家貴主好神仙別業初開雲漢邊。皇家ハ天子ノ家第ト系

作ルナリ。御下屋鋪モ天ノ河ノ邊ニ御建ナサレタ。山出盡如鳴鳳嶺池成不讓飲

龍川。サテ此系子ノ築山トモ昔ノ鳴鳳山ヲウツシ池ト云。黒粧樓翠幌教春住舞

閣金鋪借日懸。公主ノ化粧ヲナサル。粧樓ナドモ見ナナ幌トナリトカケタテ。不斷常

クテ居ルト云フニル舞閣ニ打テアル金銀ノ金ナ具モ天子ノ御威勢ヲ。敬從乘輿來此地

稱觴獻壽樂鈞天 今我天子ノ御供ラシテ此地ニ來タ故ニ公主ノ天子ハ盃ヲヒラシテ日出度壽ヲ獻セラレ常ナラヌ音樂ヲ聞テ樂ト云モノハ有難イコトナ

ル鈞天樂ハ天上ノ樂デアアル

紅樓院應制

紅樓院ハ此ノ方ノ紫宸殿ヲ護摩ヲ燒祈禱ラスルヤウ被方デモ内道場カ幸テ有テ天子ノ歸依僧カ聚リテ祈禱ラス

紅樓疑見白毫光寺逼宸居福盛唐 此禁

ルゾ天子ノ行幸ナサレテ詩ヲ作リマセト有テ作ツタデアアル 紅樓疑見白毫光寺逼宸居福盛唐 此禁

道愛山情漫切曇摩泛海路空長

昔ト文道ガ切ト急ニ清淨ナ地ヲ才覺シタト云ガ是漫リニソクナト云モノ然レハ禁

裡ノ内ニ紅樓院ノヤウチ清淨ナ外カアルナハ山ヲ登ク引コムニ及ヒサウモナイ者デアアル達摩ノル、遠イ処ヨリ海ヲ渡テ來ラレテ程ナク山引コシタハ是公タ路ヲ歩シタト云モノデアアル抑揚ノ法

經聲夜息聞天語鑪氣晨飄接御香 直天子ノ御殿近イニ依テ經ノ聲ガ止ムト天子ノ御出ノ音ナトカ

誰謂此中難可到自憐深院得徊翔 ラ世間ノ者ハ三テ此中ニ天体ノイデ

聞佛前ノ香ノ烟ト天子ノ御香ノ烟トツニ接ス 誰謂此中難可到自憐深院得徊翔

再入道場紀事應制

前ノ詩ニ云通り禁裏ノ内道場テ時時官僧カ聚テ法華八講ナトハ有処ノコトヲ紀スルノデ

南方歸去再生天內殿今 ア九再ト云ハ南方ハ一度トガニ役ニ追ヤラレタ者ガ中宗ノ御即位ニヨツテ名カサレサレ御近所ニ成タモノト見エル

年異昔年 此度御思ヲ以テ南方ヨリ召返サレ再ニ御前近クニ召仕ハルト云モノハ天ニ生タ知

見闢乾坤新定位看題日月更高懸 上ノ句ヲソクテ現在乾坤ヲ開闢ナサレ天子ノ新タニ御即位

行隨香輦登仙路坐近爐煙講法筵 位ヲナサレタノ故ニ内殿ノ道場モ御宸筆ノ額カ懸テアル

從兩朝長在聖人前 ニカヤウナ深恩ヲ蒙リ不斷陪侍從御先代ヨリ今當代兩朝ノ聖人天子ノ御前ニ振舞ト云ハ有難イ義ト自ラ喜フ

遙同社員外審言過山嶺

社審言トハ南方ニ左近ヒラシ審言カ過山嶺ト云題テ詩ヲ作タデアアル途ト云ハ遠イ道

天長地潤嶺頭分去國離家見白雲 其元ト同ク南方ハ左

思テ志ヲ同フ 天長地潤嶺頭分去國離家見白雲 其元ト同ク南方ハ左

テツ処ニ居ルテ有フト思タ今此山嶺頭ニ至テ見レハ思ノ外アテガ違フテキテ土地モ廣ク嶺モ幾

洛浦風光何所似崇山瘴癘不堪聞 洛陽ノ風景ニハツモ似タ

南浮漲海入何處北望衡 南方ハ左近セラルト多ハ瘴癘ニアテラヒテ生キテ都

歸ルモノハスクナイ我ヲモ死スルテ有フト思ハキクニタヘヌ 南浮漲海入何處北望衡

陽雁幾群

コト其元ハ南方張海ノテモナイ処ニ行テイラハユトコイハト云居処ニシテ

故郷へ便チラス義ヲ云

兩地江山萬餘里何時重謁聖明君

今其元ト江山萬餘里ヲ隔テ

御目見フスルテ有ラゾ心細イコトアル

興慶池侍宴應制

韋元且

滄池滂沱帝城邊殊勝昆明鑿漢年

起句ノ四字文選ノ字ヲ用テ滄池ト云ハ只海ノ如ク廣イヲ滂沱ハ水

鼓振樓船

天子ノ行幸ノコト岸ギワテ御幸路ガツイテ道人兩カワニ旌旗ヲ立テテ格

樓船ヲ振イ

雲峯四起迎宸幄水樹千重入御筵

風景ヲ船ノ中ヨリミル山峯ガ高ク起テコレミテ

下サレイト云ニシニイハ樓船ノ戸バリヲ開クト山ガ直ニ來ルヨリ迎ト云フ

宴樂已深魚

藻咏承恩更欲奏甘泉

去九程ニ今日ノ御酒宴ニ長シ深シテ御樂ニテサレヤウスハ詩經ノ魚藻ノ詩ノ如クデアルユニ詩ヲツクリモイト仰ラウ

侍宴安樂公主新宅應制

蘇頌

駸駸羽騎歷城池帝女樓臺向晚披

天子ノ御成リユ先ハライノ羽騎ガ馬ヲヤメテ城池ヲテ來ルニツイテ公主モ

樓臺ヲ披イテ待カケノヲササレル○羽騎ハ矢ヲ負テイル武士ヲ○駸々ハ馬ノイキツテ過ルヲ云ナリ

露灑旌旗雲外出風廻巖岫

雨中移

小雨ガ風トツニ岩岫ノアイダラ吹メタリ段々先へ移ルカ見ヘル

當軒半落天

河水遶徑全低月樹枝

座敷ノ當軒ノムコフノ滝ノ水ノ落ルヲ見立テ天河ト云實ハ織女ノ居処トミル義我チヤ岸ノマワリノ徑ノソキヘウエアル

樹木ノ枝ヲタレテアルヲ云スラ月

蕭鼓宸遊陪宴日和鳴雙風喜來儀

宮殿ノ柱ニ見立テ誠ニ天女ノスミヲ思ル

ウナリゾナガシキテ天子ノ宸遊ヲサレテ賑ヒテ打ヤシモアリ我々ニテモ御酒宴ニアツカリ公主御夫婦モ雙鳳ノ和鳴スル如ク中ヨク威儀ヲトメテ天子ヲ御馳走ナサルハ喜ハシイコトチヤ○來儀ト云鳳凰ノ羽ツクロイシテ聖人ノ世ニ出タリテ今公主御夫婦

威儀ヲトメテ出テイサセラフニモナリ泰ノ弄玉カ故友ニモナル

奉和春日幸望春宮應制

東望望春春可憐更逢晴日柳含烟

今々扈從シテ瀧水ノ西ノ岸アル望春宮ニ來リ四方ノ気色モウツカニ別シテ東ノ

宮中下見南山盡城上平臨北斗懸

方ノ山色ヲ望メハ木々ノ梢エアイラシク柳春氣ニ更リ含烟シホラシイ気色デアアル

七律

卷中

宮ノ高イラ云此ノ宮ヨリ見下セ山ノハシカラカシラガシ
城ナカラ平ニシレ此ノ高ノ懸テアルヲ見テロサヤウニアル
細草偏承回輦處飛花故

落舞觴前ハヒニ廣大ナラテ云テハ小イヲ云ワカ草トドモ鳳輦ノ來ルヲムカエ承ル氣色ニシテ花モ舞ニシテワサト盃ノ中ヘトビコトアル宸遊對此

歡無極鳥弄歌聲雜管絃ニコトハ天子ノ行幸アリテ景色ニ對シ御機嫌ヨク面白キノ極リナリ春ノ心ヨクナクコト管絃トガヒト

ツ成テヒト
水面白イ

奉和初春幸太平公主南莊應制

主第山門起灞川宸遊風景入初年山門ハ山莊ト同シテ公主ノ南莊ノ山屋敷ヲ云都ノ南灞水ノ近クノ山ニ立テアル今日天子ノ行幸ナサレ御遊興アソガサレ風景モ春ノ鳳皇樓下交天仗鳥鵲橋頭敞御

筵鳳皇樓下云キ公主ノ樓ニメツラシテ天子ノ行幸ノ一ニ天仗ヲ交シテ往往花間逢綵

石時時竹裏見紅泉庭ノ花木ノ間ナドヲ廻ラシハ見テ石ガアチコチニアル綵石五色ノ石ヲ織女ノ支機石ヲモテ云竹裏ニ泉ナドカキレニ灞水ナル

今朝扈蹕平陽館不羨乘槎雲漢邊此方二分デハ

幽州新歲作去年荆南ノ暖ナク北ノ寒サカイ幽州ヲ奉行テリ春ノヤウスヲ哀テ作ル張說

去歲荆南梅似雪今年薊北雪如梅去年ハ荆州ノ暖ナク北ノ寒サカイ幽州ノ寒ニ似テ有タカ今年ハ荆北幽州ノ至極寒ニイテハキテシハ春モ雪ヲ下シテ共知人事何嘗定且喜年華去復

來上ノ句ヲクシテイカサニコトヤウシラタテイルガ人事ノ定メナイト云ハ兼テ知アイル且喜ナルホド此人事ノ定ラヌカ面白イ此年ガメテ來年ニモ成タナラハ都ヘ召返サレウモ知レヌ邊

鎮戍歌連日動京城燎火徹明開我邊塞ノラサニ成テイレキナレヌ戍歌ラ毎日々々キイテイル春メカシイハナク今正

遙遙西向長安日願上南山壽一杯今逢ニ

空山寂歷道心生虛谷迢迢野鳥聲今此ノ寺ニ來テミレバスキト物音モセヤハ

禪室從來雲外賞香室豈是世中情禪室ト云ハ元ヨリ世間ヲ離レタ雲外ニ坐シテイルヤウニ思ハレテ

雲間

淄湖山寺南方淄湖山アタリノ役人ニ成テ

心カ生シテキタ何モナイ谷アイラ望ミ心カ生シテキタ何モナイ谷アイラ望ミ

禪室從來雲外賞香室豈是世中情禪室ト云ハ元ヨリ世間ヲ離レタ雲外ニ坐シテイルヤウニ思ハレテ

雲間

中々面白此香室ノ寺ト云モノハ世間ノ情ヲ分レタモノユニ道心カ生スル答ナヤ

雲間

雲間

東嶺千重出樹裏南湖一片明

此寺ヨリ東ノ方ヲミレハ雲ノ間ヨリ山々ガ幾重也ナクニ樹木ノ間ニ湖水ガ皆ハ見ヘヌヤウニ明カニ

八九二片

若使巢由同此意不將薜蘿辟易簪纓

古ハ巢父許由カ山ヨリツレタラ高イノヤウニ云ハ我ラ

高イトセヌナゼナレバ我ハ官人テイナガラモ道心ヲ生シタ隱者裝束ヲ以テ官人ノ冠ニ易テ引込ハセ又等ノフスレバ窮屈ニ引込ハヌナリ官人テアリナガラモ此ノヤウナ處ヘ來ルハ隱者ノ趣ニチカケナイ

遙同蔡起居偃松篇

蔡氏起居ハ御近所役禁裏ノ起居カイ凡役所ノ庭ニ松ガアルホメテ起居ニ比ス〇偃松ト云

松ノ枝ノ長ク横ラミテアルヲ云

清都衆木總榮芬傳道孤松最出羣

清都ト云文字ガアル云〇都ハ衆木モ

ステ格別ニスグレテヨイト云ナガラ其元ノ孤松ハ中ニモ羣ヲ出テヨイトキイタ其元モスグレタ人ト承タ

名接天庭多景色氣連宮

闕借氛氳

名ハ天子ノ御庭ニ近イテ故ニ天子ノ御覽ニ入テ入景氣モスグレ氣ハ天子ノ自出度此ノ云

懸池的的停華露偃蓋重重拂瑞雲

此松ノ下枝ガ池ノ方ヘサシキツテ池ノ水ヲ吸アセテキラノ露

不惜流膏助仙鼎願將楨幹

此松ノ下枝ガ池ノ方ヘサシキツテ池ノ水ヲ吸アセテキラノ露

捧明君

天子ノ仙菜ヲ御子リナサレ時分ハ松ヤカイルイテ此偃松ヨリトラフト有テモ少モ惜氣

命ヲセサレ出シテ御奉公申ス所存ノ人ト起居ニ比レテ云

奉和春日出苑矚目應令

此詩訓解ノ註ヨクタイ〇此ハ天子ノ苑出テ矚目ナサレタ御作ヲ和シセイトル令

應レテ和スルデアル矚目其アタリニ目ヲヨセテ見ルト令ト天子皇后ノ御言ヲ令

銅龍曉

開問安廻金輅春遊博望開

サテ天子ガ早朝ニ銅龍門ヲ通テ出御ハタカト問安御キケンテ伺テカケラレ其ツラニ金輅ニメテ御苑ニ春遊

渭水晴光搖草樹終南佳

ナサレ〇博望苑ト云ハ漢ノ武帝ノ苑ノ名チヤ故ニカリ用テ云以下ノ句此御意テ其時ハカフ有フト思ヤツテ云

氣入樓臺

渭水ノ晴キカナ晴光ガ御苑ノ草木ニウツラフテ直ニ渭水ガ庭ノ中ニアルヤウニ思ク終南山ノ自出タイ氣ガ樓臺ニ入りコシテクヤウニ題ノ矚目ト云コチヤ以下ノ

招賢已從高山老託乘還徵鄴下才

御苑ヘ御遊興ニ御出ササレニ毛柳モリテハ四皓ノヤウナ光

忻逢睿日邊來

東ノ南ノ遠國ニ留滞シテ御供ラセヌハ残念ト云ヒナガラ太子ノスケレタ御作ノ來ルニ逢ト云ハ喜ムイフチヤ

臣在東南獨留滯

臣在東南獨留滯

奉和初春幸太平公主南莊應制

李邕

傳聞銀漢支機石復見金輿出紫微

公主ヲ織女ニ比シテ云ニイテ古ハ海邊ノ人ガ今公主ノ庭ノ石ヲミレハ是レハ支機石ト云モノデアラフカト庭ノ挨拶ヲシテ其上ヘ天子ノ御成リノ時紫微宮ヲ出テ此處ヘ行幸アルト云珍ラシト風景ヨソヘテ云

織女橋邊

鳥鵲起仙人樓上鳳皇飛織女橋云云橋下六鳥鵲カ飛ヒ立ヤウニテ居リ流

風入座飄歌扇瀑水當階濺舞衣滯リナク風カソク座敷吹キ入テ顔ニテ歌テイル團扇ヲ飄シテイヨク風流テアル泉水

潮歸今日還同犯牛斗乘槎共泛海

潮歸今日還同犯牛斗乘槎共泛海

和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立春日

贈韋侍御及諸公

遜述

自洛使入京中路先赴長安逢立春日

觀雲間數雁廻更逢山上一花開

芳艸林下輕風待落梅

河邊淑氣迎

秋憲府中高唱入春鄉署裏和歌來

共言東閣招賢地自有西征

黃鶴樓

昔人已乘白雲去此地空餘黃鶴樓

黃鶴一去不復返白雲千載空悠悠

晴川歷歷漢陽樹芳艸萋萋鸚鵡洲

日暮鄉關何處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

處是烟波江上使人愁

行經華陰

岩出堯太華俯成京天外三峰削不成秦ノ咸陽ト云アリシリ岩巖ト高イ太華山ガ都ノ方ハ俯キカツテアルヤウニミテ太華ノ出嶺

武帝祠前雲欲散武帝祠前雲欲散

散仙人掌上雨初晴向ラミハ漢ノ武帝ノ仙今祭ラセタ祠ニ雲ノ掩イカツノアルモ

枕秦關險驛路西連漢時平山川北方ヲ推シ廻シテ秦關方ハ高フカカ余ツテ險シク

借問路傍名利客無如此漢時ノ方ハツイテ真平ラニニル時ト云ハ神ヲ祭ル地形ヲサレテ

處學長生今我此處ニ來テ路ノ傍ヲツイテ名利ヲ求ルモノハ何カイツカシクソウニカケテワリ靜カ

不死仙術不死ノ仙術ヲ學多ラ此ノ上ハアルニイト思フ

登金陵鳳皇臺李白ガ黃雀樓來テ作ラフト思フ時先達テ崔顥ガ來テ作タ詩ヲ三ニ甚ダヨクテキタニソレヨリ取テ返シテ此

李白

鳳皇臺上鳳皇遊鳳去臺空江自流此金陵ノ鳳皇ノ田テ遊シタト云ハ此ガテハ鳳皇ガ飛去テ江水ノ空ク流ルヲ見

吳宮花艸埋幽徑晉代衣冠成古丘見下ヌ処古吳王夫差ノ宮殿花

三山半落青天外二水中分白鹭洲志天府ノ西南ノ三山ハ半ハ雲

總爲浮雲能蔽日長安不見使人愁都ヲ見望シト思ヒ浮雲ト云モガ日ヲ蔽イクラクスルモノニ我カ如キモノモ

南郭先生南郭先生ハトヲ又

早朝大明宮呈兩省僚友兩省ハ中書省門下省ナリ

賈至

銀燭朝天紫陌長禁城春色曉蒼蒼蠟燭ヲトボシ禁内ノ道ノ間モ遠ク御

千條弱柳垂青瑣百轉流鶯遶建章城廻リノ樹木盛ニシテリテ曉方ノクニ

聲隨玉墀步衣冠身惹御爐香官人ノ帶テイル佩玉ノ聲ガ皆ヨキ順ニ立並ニテ

劍佩聲隨玉墀步衣冠身惹御爐香御殿ノ前ノ夕キキテ上ナドヲ足ラシテ通ル

城廻リノ樹木盛ニシテリテ曉方ノクニ

千條弱柳垂青瑣百轉流鶯遶建章

聲隨玉墀步衣冠身惹御爐香

城廻リノ樹木盛ニシテリテ曉方ノクニ

千條弱柳垂青瑣百轉流鶯遶建章

聲隨玉墀步衣冠身惹御爐香

依其步三隨テ玉ガナルヨリ御殿へ登ルト直ニ御前間近 共沐恩波鳳池上朝

多トメルユニ天子ノ御座ノ香ノ赤ヒカ午前ノ裝束ニトニル 朝浴翰侍君王

鳳皇池ト云ハ中書ノ役所ノ一ニナル 池ト云ヨリ波トツカフタモノナヤ

和賈至舍人早朝大明宮之作

王維

絳幘雞人報曉籌尚衣方進翠雲裘 賈至舍人カ詩ノ和作アル○赤イ

ルモノニ雞人ト云ヒガ曉方ラツゲ夜アケテ子ルト天子ノ時ヲ告ルコトヲ女官タチガ

天子ノ裝束ヲサセ翠雲裘ハ天子ノ裝束イリツクヤウスラホメテ言ナリ 九天閭闔

開宮殿萬國衣冠拜冕旒 朝儀ノ度ヲ云夜カケハナルト御門ヲ始メ御殿々々ノ

フメテナル天子ヲ拜シ九天 日色纒臨仙掌動香烟欲徧袞龍浮

色詔珮聲歸到鳳池頭 朝罷須裁五

只詔ノフヲ美シク云々々々モナイ 昔ヨリアルト云フ言ナヤ

和太常韋主簿五郎溫泉寓目

寓目ト左傳ニモアル通

漢主離宮接露臺秦川一半夕陽開 漢ノ文帝露臺ヲ建ルツモリテ有タカ

テ當時ヲ諷スル今ノ溫泉宮古露臺ノ有タタリマテ引続イテアリ秦川ハ幅ノ廣イ

川デアルテリ離宮ガ立並テアルユニ半分ハ夕日ガサレテ半分ハ離宮ニ掩ハレテアル 青

山盡是朱旗繞碧澗翻從玉殿來 山トモカシコモ山々マテ御成ノ御殿カ立テア

カケ作リニシテアル 新豐樹裏行人度小苑城邊獵騎回 新豐アタリ元ヨリ

ニ水ガ流レテ出ル 聞説甘泉能獻賦懸知獨有子雲才 繁昌ナリテアル此

大同殿生玉芝龍池上有慶雲百官共觀聖恩便賜燕

樂敢書即事

欲笑周文誦燕鎬還輕漢武樂橫汾 古ノ周ノ武王ノ天下ヲ取タ祝イニ鎬テ樂

舟ヲ浮テ樂メレタモ是ニヨリ付モノデハナイ 豈知玉殿生三秀詭有銅池出五

ヨリニレハラカシヤウニ思ハル漢ノ武帝ノ汾水ニ 卷中

七律

雲フトラウシテ此ノヤウニ笑フナレ何トシテ周文ナト玉殿ニ目出度イ靈芝ノ生スルナト云フハ知リ
一モモ又答ノクギヤ龍池ノ上五色ノ雲ノ夕ヒクナト云フハ昔モコニタカテアルハ三季方ニ草

ナリ銅池ハ池ハ行幸ノクニ堯尊ヘ陌上堯尊傾北斗樓前舜樂動南薰堯ハ衢樽ト云フカケル

酒ヲ入テ陌上持テ北斗ノ如キキノツイタ大升ヲ以テ打マケク民ニ御酒ヲ下サレ樓前ニ天子ノ御目通りニ於テモ民ノ治タラ悦ハシラ思召シテ舜ノ樂南風ノ詩ノ如キ歌ヲウタヒ南薰殿ニ

テサワ今テハ天子ノ御意ハトフシタモ共歡天意同人意萬歲千秋奉聖君ノイ云フヲ知ラナクガ此度テ

悦ビタマフハ天意モ人意モ同シテアル然レハ萬歲千秋ノ末迄モカヤウナ聖君ニ仕ルト云フハ歡ハシイギヤ

奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之

作應制蓬萊殿ヨリ興慶宮ヘユク廊下道ニ留春閣ト云座敷ガアル雨中ノ春望ト云迫ガ天子ノ題テアル

渭水自縈秦塞曲黃山舊繞漢宮斜留春閣ヨリシハ渭水ガマエノ通り

山ガヤツリ元ノ如ク武帝ノ離宮ヲ秦塞ラマツテ流レ北ノ方ラシハ黃鸞輿迥出千門柳閣道迴看上苑花今天子

菜宮ノ方ヨリ查典ニ乘シテ禁裏ノ中ノ御成リ道ノ並ホノウワツテ雲裏帝城雙鳳

關雨中春樹萬人家雲間高く御殿雙鳳閣ノオニツテアルガニ爲乘陽氣行西ノ家ノ間ニシテアル樹木ハガニ

時令不是宸遊玩物華ラ何モ知ラヌ天子ガ正月何ニシ通ラルト思テアラフハ陽氣

モテアソビテナクサニナサルト云テハニ乘ノ民ニタガヤラ教サツヤルタメデアル通りタノ物華ヲノイ時令ハ禮記月令ニアリ

敕賜百官櫻桃三月晦日櫻桃ヲ廟ヘ獻シテ

芙蓉闕下會千官紫禁朱櫻出上苑今自桃ヲ下サルニタツテ皆禁裏ニ

出ルト云ニヤリ禁裏ノ上苑ノ御苑カラ千官ヲ御アツクサレ共桃ハトコカラ纔是寢園春薦後非關御苑鳥銜殘

纔纔ノナイ内ニシキニ天子ノ御座處ハサレ上ケシヨリ廟御薦メチ歸鞍競帶青絲籠中

使頻傾赤玉盤ソテ皆ナ官人ハ馬ニ乘テ歸ルニ天切シテ青イ糸ナドヲ以テカケリ立タ

頻頻リミヒタモノウチアケテラシメズグ籠ヘテ持テ歸ル中使ノ近習衆ノ使役人モ赤玉盤ノサハチ入テラタ桃飽食不須愁內熱大官還有蔗漿寒

此山李ヲタタサハ喰ハ熱カ祭ルヲワルイト云カソラ氣ガカイセスト飽テ喰タカヨトナセナレハ御堂

処ニ熱ヲサス兼ノ砂糖水ガ沢山ニ依テソラモラフテカガヨハ蔗漿ハ砂糖多リホリルナリ

酌酒與裴迪裴迪ガ世間ノ者ノフタノモシイラ云出タニ

酌酒與君君自寬人情翻覆似波瀾ニタカカ余リ世間ノイキドフナレガ益ニ酌

七律

情ノアテニテラト云ハ忽ヒツクリカケテ波瀾如クミトメ又中ニ易ル
白首相知猶按劍未

門先達笑彈冠ラ自首テハ心易ク合フ中テモト貪多フルト逢テモ見又フリラス
ルニテラス時ニ依テ劍ラヒ子クリウシテラニ付ル先達テ我カ友カ立身

動春風寒テイル此花枝カヒラキソニアルガ春風ガ寒イナヒラキカ子テイル花枝ヲ以テ
艸色全經細雨濕花枝飲

君子ニタトテ我カフニ比ス此二句比興デア世事浮雲何足問不如高臥且加餐世ノ中ノ浮雲何ソ問

加餐ガヨイ〇加餐裴迪揆按云折角引込テ息災テサレ

酬郭給事

洞門高閣霽餘暉桃李陰陰柳絮飛洞門ト高閣ト向イ合テクニリト廻テ道カ通りヌテアリ夕日ノキラスルヲ

禁裏疎鐘官舍晚省中啼鳥吏其元ノ役儀ト云ハ嚴邊東ラシテ金殿ニツメ暮

人稀春ノコノ日ガ永フテ時ノ鐘ノ間ガキレテ元リト多ク吾ガイル役処ニクニ方キヨ晨搖玉

佩趨金殿夕奉天書拜瑣闈方ニ天書ヲサゲテ青瑣門ヘツテ天子ヲ拜シ

欲從君無那老將因臥病解朝衣吾ガ身ノ連懷ヲ云ヒ出ス我レモドゾムリニ其元

過乘如禪師蕭居士嵩丘蘭若禪師ト居士ト云合ヒテ

無著天親弟與兄嵩丘蘭若一峰晴今ニ云ノ引込テイルハ天竺ノ無著菩薩

食隨鳴磬巢鳥下行踏空林落葉聲ト其弟ノ天親菩薩ト云ヒ合テ引込テ

進水定侵香ノ坐禪セラル坐禪石ノ上ニ雨花

深洞長松何所有儼然天竺古先生深洞ノホラ

案濕雨花應共石牀平九地カラ水ノワキ出ル香炉臺ホトシツテ汚ステアラフ誌公カ鋤

奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之

作應制

李愷

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所デア

別館春還淑氣催三宮路轉鳳皇臺

別館即中留春宮ヲサスアタカチ淑氣が催ニ日々春メカク成テクル

三宮蓬萊興慶望春ナリ此三宮路が宛轉シ○鳳皇臺ハ基ヲ云テモナイ只美シク作タモノソウナ

雲飛北闕輕陰散雨歇南山

積翠來

段々ニ雲モ晴レ寒氣モナク散シテクル

御柳遙隨天仗發林花不待

晚風開

御幸道ノ並木ノ柳ガ行幸ニ隨テ段々ニホコビ林ノ花ナドモ晚風ヲ待タズ朝カラヒライテアリ

已知聖澤深無限更喜

年芳入睿才

下ノ句ヲ云タメニ元ヨリ天子ノ御恩沢ノ草木ニテモ限リナクユキワタツタト云フ知アイル其ウヘニ悦ハシイハ柳花ナド美シイ年芳ガスケタル天子ノ睿才

ノ詩ノ御趣向ニ入上六ハヨロコビシイコトデアル

送魏萬之京

李頎

朝聞遊子唱離歌昨夜微霜初度河

二句訓解ノ注ガ思イ○遊子ト云ハ旅人ノイテ今朝承レ其元ガ離歌ヲ唱

ラレタカ夜前アタリハ此方サヘウス霜ノ降ルクライナレバ河南カラ河北ヘ渡ラレタカバチト寒イクライデアアラフ

鴻雁不堪愁裏聽雲山况是客

中過

殊ニヒトリホソクユカルクコトハ物サビシイ中雁ノナク聞ニ堪ヘラレナイ山路ハ常ニヤヘヨウナイモノチヤニミテ客中ニ過ルコトユイヨク悲シカラフ

關城曙色催寒

近御苑砧聲向晚多

都近フ成タナラハ秋モ未ニ成テ冬メキ砧ナドヲウツ聲モ格別多ク寒モ多イデアアラフ

莫是長安

行樂處空令歲月易蹉跎

レサテコナタニ云テヤルコトガアル長安ハ面自イ処テ常ニ行樂ニバカリシタクナルホドニ其元モ行ホカリニタツテ立身スルコト

忘レテ思ノ外ニ蹉跎ノテキヌヤウニシヤレトナリ

寄盧員外

今ノ唐詩選ニ盧員外ニ作ル

流澌臘月下河陽艸色新年發建章

流澌ト云ハ氷ノ流ルコトデアラフ臘月ノ末イニ氷モトケテ河陽アタリヲ乘リテ

スニヨイ時分チヤ定メテ其元ノ都ニキツカレタリハ艸色モモエ出テ新年デ有ラフ

秦地立春傳大史漢宮題柱憶仙郎

秦地ハ即長安ナリ立春ノ日ハ太史カ立春チヤト云ラフ傳ヘルナルガ其時分ハソノ面自イカロフ其元ハ郎官テ器量ノスケレタ人ユヘ天子ノ御目ニトマリ柱ニ題セラルデアアラフ

度千門雪侍女新添五夜香

歸雁ノ都ニ渡ルチトヲ禁裏ニキイテイアルデアアラフ郎官ノコトニ女官タチガ毎朝其元ノ裝束ニ香ヲ冬キ

早晚薦雄文似者故人今已賦長楊

早晚ト云ハ早イカ遅イカラ窺フ語デアアル此ノ方ナドモ揚雄カ文

ヲトラヌ程ニ似セテ今其元ノ故人ヲガ長楊ノ賦ヲ書テ置タニ依テ早イカ遅イカ取持テ立身ヲサセテクレラレ揚雄ガ文司馬相如ニ似タルヲ以テ成帝ノ時勅メラレタト云故事ヲ引ク

題璿公山池

璿公山居ノ僧ノ庭ノ蓮池ナドヲ見テ作ル

遠公遁跡廬山岑開士幽居祇樹林

璿公ノ山池公廬山ノ惠遠法師ノ跡ト同レテデアラ開士ハ貴ニテ云尊イ璿公ノ

奥深ノ幽居ニテ祇 片石孤雲窺色相 清池皓月照禪心

樹林ノ内ニイラル、
ク開士ノ色相ヲ伺フヤウニ、清浄ノ池ニ移ラフ
清ラカク月モ物静ニ由テ瑤公ノ禪心ヲテラシ

指揮如音 天花落坐 臥閑房春

不染唯餘 玄度得相尋

寄慕母三

新加大邑 綬仍黃 近與單車向洛陽

顧盼一過 丞相府風流 三接令公香

南川粳稻花

霞色滿堂

共道進賢 蒙上賞者君 幾歲作基

郎

送李回

知君官屬大司農 詔幸驪山職事雄

歲發金錢供御府 晝看仙液注離宮

千巖曙雪旗

門上十月寒 花輦路中

不覩聲名與文物 自傷留滯去關東

病瑩公禪房 聞梵

花宮仙梵遠 微微月隱高城鐘漏稀

殊勝ナヤウスヲキイテ、声ノ高イ赴テ形容シテ云、花宮ハ即チ本堂ノ山殿ヲサシテ云ツニ人間ニキ、ナレヌ声明ノ声ガ遠ク微々トカスカニキコヘル月モ高城ニ方ク曉方ニ成テ、時ノ鐘ナドモ間遠ニキコヘル

奥深ノ幽居ニテ祇 片石孤雲窺色相 清池皓月照禪心

樹林ノ内ニイラル、
ク開士ノ色相ヲ伺フヤウニ、清浄ノ池ニ移ラフ
清ラカク月モ物静ニ由テ瑤公ノ禪心ヲテラシ

指揮如音 天花落坐 臥閑房春

不染唯餘 玄度得相尋

寄慕母三

新加大邑 綬仍黃 近與單車向洛陽

顧盼一過 丞相府風流 三接令公香

南川粳稻花

霞色滿堂

共道進賢 蒙上賞者君 幾歲作基

郎

知君官屬大司農 詔幸驪山職事雄

歲發金錢供御府 晝看仙液注離宮

千巖曙雪旗

門上十月寒 花輦路中

不覩聲名與文物 自傷留滯去關東

病瑩公禪房 聞梵

花宮仙梵遠 微微月隱高城鐘漏稀

殊勝ナヤウスヲキイテ、声ノ高イ赴テ形容シテ云、花宮ハ即チ本堂ノ山殿ヲサシテ云ツニ人間ニキ、ナレヌ声明ノ声ガ遠ク微々トカスカニキコヘル月モ高城ニ方ク曉方ニ成テ、時ノ鐘ナドモ間遠ニキコヘル

夜動霜林驚葉落カキ葉曉聞天籟發清機ラ夜三聲之動々ハ霜林ニ散スル

飛フ音フヒクフ乙ニイテ唱ルトキハ蕭々トシテ寒空ニ入り静ニキクニタエカタイ始覺浮生無キ

住著頓令心地欲歸依ニ住著ナイト云フヲ悟テニタハ俄ニ吾ガ心ガ清淨ニ成テ佛

道歸依スルニ成タ

題盧五舊居ニ盧五ハ死テ旧居ニイル妻子ニ作テヤルトキヨ

物在人亡無見期間庭榭系馬不勝悲ニ物ハカワラズモトノ如クアリナガラハ死

窓前綠竹生空地門外青山似舊時ニ窓ノ前

葉嶺岷枯柳宿寒鴉ニウスイヨク哀シラ催スツキモナイ枯柳ノエダニ鴉ノトニツテイルニテ

憶君淚落東流水歲歲花開知爲誰ニ盧五ガコヲヲ思テ淚カ落テ

生ス

思ヲソラシテ悲シイ心ナイ花ハ誰レモテアソグモノモナイニ

年々イツモノ通りニ咲テ花ニモ心ヲイタミシムルデアル

望荆門ニ此詩ナドハ駱賓王ガ宿温城望軍營詩ト

燕臺一去客心驚ニ燕臺ハ即チ荆門ナリ今此ノ燕臺ハト

都トハチガイ扱モト思ヒ心ガ驚ク又燕臺ヨリワキヘ去ル心ニモニルコノ処ハオサエニ

雪三邊曙色動危旌ニラズト向フニ至極寒ニ光雪ノ光リガ積雪ニ生ヅト北ノ人テニ

大將ノ管ノ高イ旗ノ上ニニ沙場烽火侵胡月海畔雲山擁荆城ニ兵乱ノ時ニ

相圖ノ火ヲアゲル其煙リガ月ノサス間ニ侵シユテ暗クニニ少小雖非投筆吏論功還ニ

東海ノ山々ガ荆城ヲトリニハニイダクヤウニ見ユルニ論ニ還テ長纓ヲ請テ軍ヲシテ功ヲ立テニタイト云ク象ナクニ成タ

欲請長纓ニ我レワカイ時カラ投筆吏テナケレ尼今コノ荆門ノヤウスヲニテハ忠功ヲ

九日登仙臺呈劉明府ニ九日登高ノ節ユニ漢ノ文帝ノ多テラシタ仙臺

崔署

漢文皇帝有高臺此日登臨曙色開ニ昔漢ノ文皇帝ノ多テラシタ仙臺ハ此日九日

登臨スルニ夜ノアケルヤウスモ推シ開ケテニ

崔署

三晋雲山皆北向二陵風雨自東來

春秋ノ時、晋ノ地、戦國ニ至テ韓魏趙分ク、三晋ト云高イ山々ガ皆北ヘ向テアリ左傳ニ

肴有二陵南陵夏后皋之墓北陵文王之所避風雨トアル云

關門令尹誰能識河

上仙翁去不回

此函谷關ニ近イユ云出シテ今モ關門ノ令尹喜カヤウケ仙人ガアルモアラフ、
仙翁ト云モノモアテニナラヌ、
且欲近尋彭澤宰陶然共醉菊花杯
ニソノヤウナアテ

夕ガドス行タヤラ去テ回ラヌ

且欲近尋彭澤宰陶然共醉菊花杯
イヤウヨリ、近クノ彭沢ノ宰ノ如ク劉明府ノ処ヘ行テ九月ノニ快ク菊花杯ニ酔タガ
ヨイ追付參多ヲホドニ酒デモ支度シテ待テテ、彭沢ハ陶淵明ガ

五日觀妓

五月五日、人ノ家ニキテ妓ヲドルル
ミテウキ世ヲ離レタヤウスヲ作ル

萬楚

西施謾道浣春紗碧玉今時鬪麗華

昔西施ガ苧羅溪ニ布ヲサラシテイタコラ
スグレタコノヤウニ云ガ是レメツタナ云分ダヤ

奪將萱草色紅裙妬殺石榴花

萱草ノ色ヲ奪フト云キミテ、將ハ助字ナリノ妓ガ
赤イウラノツイタシタバカモ、其赤イ色ガ石榴花ノ上ニ

奪將萱草色紅裙妬殺石榴花

草ノ色ヲ奪フト云キミテ、將ハ助字ナリノ妓ガ

奪將萱草色紅裙妬殺石榴花

草ノ色ヲ奪フト云キミテ、將ハ助字ナリノ妓ガ

新歌一曲令人豔醉舞雙眸
酒モリノ場ア酒ニ
鬢斜、カノ妓ガ今ヤウノ歌ヲウタイ出スト、余リ面白サニ心ガトククトノル、酒モリノ場ア酒ニ
醉テ入ヲニ目ツキモウツクシク舞ヲニテ、鬢ノソクケタ処ヲナラシテ客ノ前ニヨスシ

誰道五絲能續命却令今日死君家

昔ヨリ、五月五日ハ、續命縷
ト云テ、五色ノ糸ヲ、辟邪カケ

誰道五絲能續命却令今日死君家

昔ヨリ、五月五日ハ、續命縷
ト云テ、五色ノ糸ヲ、辟邪カケ

杜侍御送貢物戲贈

時天子ヨリ珊瑚珠ヲドク求メ杜侍御ヲツカサレシ
テオ覚シテ都ニルニシテ、天子ノ御威勢ガツケハ

銅柱朱崖道路難伏波橫海舊登壇

南海ノ銅柱ノアルアタリヨリ、朱崖郡
ナドニ、甚タ遠ク道ノナギナ処

銅柱朱崖道路難伏波橫海舊登壇

南海ノ銅柱ノアルアタリヨリ、朱崖郡
ナドニ、甚タ遠ク道ノナギナ処

越人自貢珊瑚樹漢使何勞解豸冠

越人ガ都ニ飯伏シテ珊瑚樹ヲドクアノ方カラ貢物ニ差上タト云、然レワサクトリニ
將軍ト云、仰付ラシキ柄ヲシタ処チヤ

晚孤舟江上畏春寒

其元寶ヲ都ニ持テ上ラレハ道々百姓馬ニツケテ上ラレユヘクタビ、山中ナト
ラ通ラレ、時ハ日ノクシヌウチニ病ヲトリタイト思テ、日ノ晩ルヲ愁ヘ、舟路

晚孤舟江上畏春寒

其元寶ヲ都ニ持テ上ラレハ道々百姓馬ニツケテ上ラレユヘクタビ、山中ナト
ラ通ラレ、時ハ日ノクシヌウチニ病ヲトリタイト思テ、日ノ晩ルヲ愁ヘ、舟路

由來此貨稱難得多恐君王不忍看

老子ノ字ヲ世
シテ古ヨリ、君子

送李少府貶峽中王少府貶長沙

李少府ハ峽中西蜀ノ方ニ流サ
シ、王少府ハ南方ノ長沙ニ流サ

七律
ル一首ヲ二入
送ルナリ

高適

嗟君此別意何如駐馬銜杯問謫居

サテク其止ヲ善シ其元此別レハ何ト心得テ
コザル心ホソイコデアラフニク々衆二人ハト三

流サレテアアルト

巫峽啼猿數行淚衡陽歸雁幾封書

李氏ハ西ノ方罽ノ巫
峽ヲ通ラルコトニ猿ノ

物隣ニナクテ聽テ悲シウ思テ淚ヲ流サルテアラフ王氏ハ南方衡陽アタリヘカレユヘ

青楓江

上秋天遠白帝城邊古木疎

長沙ノ青楓江アタリカラハ都ヘ遙々ノコトニ心細ク其ノ
白帝城ナドノ木葉ノバラニ成夕秋ノ風景ヲミラシク云

聖代即今多雨露暫時分手莫躊躇

去リ去カラ御上ニカスグレテ御恩ヲ
深イ時分チニ依テ別レルト云

深イ時分チニ依テ別レルト云

別レラカニテ躊躇シテザルナトイサメルデアアル

夜別韋司士

高館張燈酒復清夜鐘殘月雁歸聲

コノ手前ノ座敷デハナイソウチ先ツ結構
ナガキキ燈ヲツケテ酒ヲモ隨分吟味シ

那春風欲送行

只啼鳥ノ友ヲ求ルニ堪タリト云テ何止是非モナイコトハ
追付春ニナルト其元ヲ送ラチバラス又侶ヲ求ルトウララヂヤ

只言啼鳥堪求侶無

岸白馬津邊柳向城

コノカキヲ思ヒヤツテ黄河ノ曲リ曲テ沙岸通りハ路ガブクシテ通りニ
クイ白馬津ナトハ柳ガ城ニ向イヒツリトウエテアルヲヒトリミラシクガ

莫怨他鄉暫離別知君到處有逢迎

他郷ニユカルニツイテハ暫ク別レルトモ
必ズナゲキヤルナ其元ノキウチオラス

和賈至舍人早朝大明宮之作

岑參

雞鳴紫陌曙光寒鶯囀皇州春色闌

禁裡ノ景ヲ云曉方ニ鳥ノナクシツニ
參内スルニダホシノリト夜カアケヌニ寒ト云

金闕曉鐘開萬戶玉階仙仗擁千官

朝儀ノ
体ヲ云

花迎劍佩星初落柳拂旌旗露未乾

花ガウエツケテアルコトニユキツクト星モ落テソロクアカル
夕ノ青瑣門ノ近クノ柳ナドモ糸ヲタレ夜アケユ露モカハカヌ

獨有鳳皇池上

客陽春一曲和皆難

客陽春一曲和皆難

賈至ヘノ挨拶ニトリ中書ト云スケタモノガシスノ高イ陽春ノ
曲ヲ作テヨサレタガ和スルノ難クク誰モ子モナラヌ

和祠部王員外雪後早朝即事

アウスヲモ出シテ雪ノ
半ノ白ニ成テ春ノ花

長安雪後似春歸積素凝華連曙輝

長安ノ雪
降タケキ

長安雪後似春歸積素凝華連曙輝

長安ノ雪
降タケキ

雪ノ白ト馬ノカサリノ玉珂ノ白イガツ成テ見ワケラヌニ迷ト云雪ノ
ケ方ノ日ノ光リヲシテイヨクヒカル 色借玉珂迷曉騎 漆銀燭晃朝衣

光リト燈ノ光リカツ成テ手前ノ衣ニ移ラフテキラクヒカリワタリ 西山落月臨天仗北
關晴雲捧禁闈 西山カツ日フ落月ノ如ク天仗ニソニカルヲ能クミル雪ノ白イムアル禁闈

チヨソホリトアルガ下カラ 聞道仙郎歌白雪由來此曲和人稀 玉員外ガ陽春白雪
サケケテヤウニ見ヘル

ヒノヨイニツイテ中々和スル者ハ ナイ此方ナドハ及ビモナイフチヤ
平明端笏陪鶴列薄暮垂

西掖重雲開曙暉北山疎雨點朝衣 實景ヲムテ我カイル役所ヨリ空ヲラミシ
開イテ朝日ノ光リガミ折節ニバラニ 千門柳色連青瑣三殿花香入紫微 千門ノ

フル雨ガ官入ノ朝衣ニシカリ 平明端笏陪鶴列薄暮垂 柳盛
ニモ出テ糸ヲ引ニ青瑣ニタレ三殿ニ植テアル花ノ香ガ天子ノ 御座ノ間ノ方ニ示イコニ殿ハ逢萊紫宸令元ナリ

鞭信馬歸 暮方ニテ勤テ毎日々々鞭ヲタレ馬ニ任テ役所ヘカヘル 宦拙自悲頭白
盡不如巖下偃荆扉 畢竟勤メガ下手ニカヤウニ白首ニテ役替モセズニ

九日使君席奉餞衛中丞赴長水 使君ト云ハ御史 中丞ト見ユル
節使橫行西出師鳴弓擐甲羽林兒 衛中丞ハ節旄ヲ賜ッテ大將成テユカルト云

夕心テ今西域ノ方ヘ出テ氣象ナ 臺上霜威凌草木軍中殺氣傍旌旗
若イモバカリ引レテユカル

コトニ御史ヲ兼テユカルト云威勢モゲシク霜威凌草木ト置タモノテ草木ヲナヒカスト云ホドノ
一デアルスグシタ大將ノ一軍中ニ於テ敵ニウチカツル殺氣ガ今ユカル旌旗ニラフテ見ユル 預知漢

將宜威日正是胡塵欲滅時 上ノ句ヲウケテ預イニカラシテイル邊塞ニユカレテ霜威
爲報使君多泛菊更將絃管醉東籬 月九日ヨリハ賑ニウチヤシラシテ東籬

ノ菊ヲニテカラ酒テモノニ エイラモヨフシタガヨイ

首春渭西郊行呈藍田張二主簿 郊行ト云城下ハシラ用モナイニラクアルク
回風度雨渭城西細草新花踏作泥 下張氏ガ藍田ノ下屋敷ニ引込テイルニ至

スナリノ思イモヨラスツヨイ風ガ吹テ雨モ俄ニ降テ 秦女峰頭雪未盡胡公陂上日初
通ル渭城アタリノ新花トモ散テ泥ノ如ク成テイル

低 鄂縣ノ胡公陂ノ方ヲ詠メテイル中ニ春ノ白モ夕陽ニ傾キ 愁窺白髮羞微祿悔
鄂縣ノ胡公陂ノ方ヲ詠メテイル中ニ春ノ白モ夕陽ニ傾キ

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

別青山憶舊溪

別青山憶舊溪
別字戀シハ思ハ微祿ヲウケ
聞道輞川多勝事玉壺春酒正堪携
其元

別字戀シハ思ハ微祿ヲウケ
聞道輞川多勝事玉壺春酒正堪携
其元

暮春輞州東亭送李司馬歸扶風別廬

柳驪鶯嬌花復殷紅亭綠酒送君還

柳驪鶯嬌花復殷紅亭綠酒送君還
時節カラ暮春ノコトヲ柳モイヨク
朱殷トアリウツクシイ東亭テ柳ヲ三鶯ヲ
到來函谷愁中月歸去磻溪夢裏山

到來函谷愁中月歸去磻溪夢裏山
其元カ此方(到來セラシテモ旅ニテ月ヲ三函谷ノ月ヲ三モ早フ故郷(歸リタイト愁(常々扶風ノ
磻溪(カエリタイト思テイルル)コト夢ニカカリニテイルラフガ此度カエラルニツイテウツヨクシラタ山ヲ三
通ラル、
子ハヨイガト惜ルル(バカリテ曾テ世上ノ浮名ナド
西望鄉關腸欲斷對君衫袖淚痕

簾前春色應須惜世上浮名好是閒

簾前春色應須惜世上浮名好是閒
只ヒヒコニテイルル(コト三(簾前ノ
春色ヲ詠メテコレハ花ガ散ラ
子ハヨイガト惜ルル(バカリテ曾テ世上ノ浮名ナド
西望鄉關腸欲斷對君衫袖淚痕

西望鄉關腸欲斷對君衫袖淚痕
其元ノ扶風(歸ラルル)ヲ三テ故郷(歸リタフト成テ郷關ヲ望テ腸モタチキル
班(ヤウヤウ今其元ニ別ルニツイテ余リナゲイタテ袖ハナシタニ班イタ

萬歲樓

潤州ノ城上ノ西南ノ隅晋ノ
刺史王恭ガ建タ古迹ナリ

王昌齡

江上出魏萬歲樓不知經歷幾千秋

江上出魏萬歲樓不知經歷幾千秋
江水(サレシテアル萬歲樓カ山魏ト高
秋トツカフタモノヤヤ定
年年喜見山長在日日悲看水獨流
上ノ千秋ノ句ヲウケ
テ樓ノ向テアル山

年年喜見山長在日日悲看水獨流
來テミル易ラズアルガソ
チガフテ水ノ流レ
ト云モノハ去テ歸ラハモノユ悲シク思ル

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲
猿ト云モノハズダシ山ヲ離レズ落付テイル仕合ナモノヤヤ下ノ川ヲミバ白鳥ガ水ニウイテイル吾カヤウニ仕合ナモノ
水鳥ノ如ク仕合ヲ定メズアチコチウロクタルク元ヨリ猿ノ山ニ住ニ處ヲ得タヤウニ仕合ノヨイモノハ都ニ落付テ

誰堪登望雲烟裏向晚茫茫發旅愁
勤テイル吾カヤウニ仕合ノヨイ
誰堪登望雲烟裏向晚茫茫發旅愁
目出タ

誰堪登望雲烟裏向晚茫茫發旅愁
目出タ

題張氏隱居

春山無伴獨相求伐木丁丁山更幽

春山無伴獨相求伐木丁丁山更幽
時節カラ春テ張氏カ山ニテイルニ依テ
伴ノ者ニテク只独リユキテ求メ尋ルニ伐木ノ

潤道餘寒歷冰雪石門斜日到
音ナドラキイテ別シテ山モ奥深ク思ハル(詩經ノ
字テ伐木丁丁タリ鳥鳴嚶々タリ言求友ナリ

不貪夜
至テミハ石ヲカタ取テ門ニテア朝早フ出テ來タモノガヤウタ夕日方ニ未ニキキタ

識金銀氣遠害朝看麋鹿遊
二句世ヲナレタ赴ヲ云山ヲク辭ニテイルハ金銀ノ氣
ヲ知ルト云ガ張氏ハ貪ラズ取ル氣ノナイ人ニイヨ能ク

杜甫

知ルテアラフ只見ルモノハ鳥獸ノ世ノ害ヲ 乘輿杳然迷出處對君疑是泛虛舟

避テ遊フヲミルノミチヤ 興ニ乘ノイロクノ面白イ咄シテイタレハ杳然トノ歸路ニ迷テ人間(出ル路ヲ忘レタ

其元ノヤウナ無心ナ人ニ對シテ咄シタレハ吾カ心モ虛舟ヲ浮ヘタ如ク無心ニ成タ

宣政殿退朝晚出左掖 舊史ニ谷元殿之後曰宣政左右有中書門下

歸ルヤウ 天門日射黃金榜春殿晴曛赤羽旗 起句訓解ノ註ヨクイ○天門トイハ

直ニ宣政殿ヲケテアル金字ノ額ニ日ガサシカヤキワタル宣政ノ 宮艸菲菲承委珮爐烟

前ニ赤羽ノ鳥ノカイタ旗ガ立テアルニ朝日ガキラクツル 雲近蓬萊常五色雪殘鳩鵲亦多時

細細駐遊絲 宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ菲々ト心ヲモエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩

ホソクトタチホソツテイトユアラツタタ 侍臣トハ五カヲ云テ春ノ暖ナ景色ヲミテイル

緩歩歸青玳退食從容出每遲 侍臣トハ五カヲ云テ春ノ暖ナ景色ヲミテイル

紫宸殿退朝口號 紫宸殿ノ御規式スニテ

退朝スルキノ口號ニナリ

戶外昭容紫袖垂雙瞻御座引朝儀 紫宸殿ニ出御ノ趣ヲ云フ戶外ハ

カ天子ノ御先ニ立テ紫ノ袖ヲタレ腰ヲカメテニ入ナガラ天子ノ御足

元ヲフリ返テニテガラ朝儀ノ御規式ノアル紫宸殿ニテ案内メケル 香飄合殿春風轉花覆

千官淑景多 六花ガフリカシテアリ見テイルウチニ暖ナ朝日ノ景ガ移テ高フアガル

漏稀聞高閣報天顏有喜近臣知 以後ガ晝漏ヲ夜漏ニ對シテ云漏刻

送夔龍集鳳池 送り見舞ニキテ今日ハ首尾ヨク御規式ミズンテ目出タイナド云テソウ

苑外江頭坐不歸水晶宮殿轉霏微 世ノ不遇ヲ憤ルゲテ曲江ノ芙蓉苑ノ御禁

曲江對酒

花細逐揚花落黃鳥時兼白鳥飛 鳥白鳥トノ飛ガ面白イト思テ

歸之ズニイル水晶ノ如クスキトラルヤウナ宮殿モホカニ霏微トシテアルヤラナイヤラト云ニ心ヲトメ

スラ云訓解ノ註思シ○リツチ宮殿ノヤウチモノモ奉公ニ心ヲトメスラ云ニ成テイラヌト云ヤウスナリ

桃 鳥白鳥トノ飛ガ面白イト思テ

七律
卷中
五七
縱飲久拚人共棄懶朝真與世相違吾が大酒ヲ飲フ世間ノ事ガ馬鹿ギヤト云テワラスガシモ覺悟ノ前ト打テテ多拚

情出シテソトメル者トハツキアハヌ
吏情更覺滄洲遠老大徒傷未拂衣仕官ニ趣ガ遠クナルヤウニ思ハルハ滄洲ハ仙人ノ居テアルノ老イタカルニテ思切テ引込モセマテラト云ハキクナイフヂヤ尺心ヲイタメテイルガリテアル拂衣ト云ハ隱者ニナルコトナリ

九日藍田崔氏莊

沁去悲秋強自寬興來今日盡君歡秋ハワカイ時サヘモカナシイ今老去テイヨク興モ來リ面白ク成テ今日其元ノ家テ歡ラズシテ

蓋將短髮還吹帽笑倩旁人爲面白クナイ然レモ自ラ心ヲ取直シテ慰テシハ

正冠古ハ孟嘉ガ洛帽ノ時ハ若イニ依テ風流ニ有カ今吾ガ冠ヲ吹落サシテニタレハ直ニハチアタガシエルニ耻カシ去リナカラ興ガ來テ少シ面白ク依テ笑イナカラ人ヲ頼テ冠ヲ正シテモロフ

藍水遠從千澗落玉山高並兩峰寒景ヲ述テ藍水ヨリ遠ク谷川ノ流ルヤウス面白ク藍田ノ陸海ノ珍藏トモテ藍田生五

明年此會知誰健醉把茱萸仔細看今日コノヤウ晴レ切ノ三五九ハ寒イ云フ

望野野外ハ出テ蜀ノ西ノ方ヲ吐蕃ガ攻ルルニ三所ニ番手ヲ置テキツ守テイルヤウスラフテ作ル實ハ當時政事ノミカカヨクナイニ民モ難義ヲスル我レヲ用

望野

夕照紅於西山下
西山白雪二城戍南浦清江萬里橋蜀ノ西山ノ方ニ雪ノ降テアルガ三我レハ今ニ南浦ノ清江萬里橋ノアタリ

海內風塵諸弟隔天涯涕淚一身遙海内世界中心皆亂立タ

惟將遲暮供多病未有涓埃答時分ユ兄弟ニチリクニ隨テアリ我レハトノ遠クノ天涯ノハツニ身ヲ送クサケテイルユ頻ニ涙カ流レル

聖朝ニツクニ吾ガ身ヲ思テニ三年ヨリテ何モ埒ノアカス遲暮ヲ以テ多病ニリアテガフテイルヨリ外ハナイスレ露路ナリ程モ君ハ御恩ヲ報スルハナラヌユ大方ヨリマデクテゲルテアラ

跨馬出郊時極目不堪入事日蕭條去リナカラ馬ニ乘テ郊外ハ出テ見ワタセ遠クハ三城近クハ人事百姓ノ家ナトモ

置日々カヒレテクルヲミテハカハスニ置カタイドフモ堪忍ナラヌ

登樓

花近高樓傷客心萬方多難此登臨高樓ニ近ク花ノ咲テアルト云モノハ面白ク

錦江春色來天地玉壘浮雲變古今錦江ノ春色ハ今變ニテ大ニ替リテタト玉壘ノ亂クアラユ

北極朝廷終不改西山寇盜北極ノ動クヲ以テ天子ノ御座ニ比ノ面白クイヒトルノ天子ノ御座ト云モノハ改ルト云ハ

莫相侵北極ノ動クヲ以テ天子ノ御座ニ比ノ面白クイヒトルノ天子ノ御座ト云モノハ改ルト云ハ

西域胡都西域ノ胡ノ都ノ

ト云フ九ノイ冠盜ガガニホド侵シタト
可憐後主還祠廟日暮聊爲梁甫吟

見ハ笑止ナリ六朝ノ先主照烈皇帝ノ廟ニ親カラ請取タ大切ノ國ヲ滅シ天下ヲ人ニ奪ヒタ後主劉禪モ一ツニ榮ラレテアルト云モノハイコノ外聞クワルイコノヤンニツケテモ孔明ガコノ思ヒ出ルハコノコトナスト云テ今コノ詩ヲ比ス實ハ後主ノヤクナリトモナシハカ廟ニ祀ラレテアルヲ以テ當時ノ歷々ニラチモナシハカ高位ニ成テイルニ比ス

秋興四首

南方夔州デ秋興フ八首作タ中四首スキ出シテアル杜子美ガ詩ハカミトコロカナイシテケツクヨイ情ヲハキトウワズエアラハサスコフモアラフカ

玉露凋傷楓樹林巫山巫峽氣蕭森
時分ガラ秋ノコトニ白露ニイロゾイテ楓ノ葉モモシレ

江間波浪兼天湧塞上風雲接地陰
巫峽ノ江水ナドモ秋風ニ激シテ波

叢菊兩開他日淚孤舟一繫故園心
今歳モ秋ノ末ノコトナカ

寒衣處處催刀尺白帝城高急暮砧
今歳モ秋ノ末ノコトナカ

千家山郭靜朝暉日日江樓坐翠微
樓臺登テ曉方夔州ノ山城ノマヅリ家ノアル処ヲミレバイカウヒツリニ樓ガ江

燕子故飛飛昨夜カラ居ル漁人ガヤツリニ夕舟ニ乗テ浮ニアルクト云テシタ心ハ吾モアノ漁舟ノ好ク旅中ニウロタテイル秋ニルト燕ハ南国ノ歸ルモノヂヤカ秋ノ夕々清秋ニテナラ

二

匡衡抗疏功名薄劉向傳經心事違
古漢ノ匡衡ハ元帝ノ

同學少年多不賤五陵衣馬自輕肥
若イ時分ニ同レク學問ラレタ同學ノ少年モ皆立身ラレテ五陵アタリク

蓬萊宮闕對南山承露金莖霄漢間
蓬萊ノ宮殿ハ二向ノ終南山ニ對シテアリ金莖ノ承露盤ナドハ天ヘ

西望瑤池降王母東來紫氣滿函關
函關ハ函谷關ニシテ玄宗ノ

雲移雉尾開宮扇日繞龍鱗
玄宗ノ御殿ノ高イヲキカセタモノナリ

東方紫氣立老子上下之云是實事ヲ云フ

七律

卷中

五九

識聖顏

天子ノ龍顏ヲオホフ処ノ雲ノ如クナル雉尾扇ヲ百官ノ朝儀ノ時ハワキ去ルニ依テ其時天子ノ衣童ノ御衣ヲメシテギル御衣ヲ朝日ノ露ヲ開イテ出ル如クキラクス聖顏

有タカ

一臥滄江驚歲晚幾回青瑣點朝班
今ヲホレテ滄江ニ卧レテイルニ
テ年々多クシテ驚キツク思テ

三ハ我モ昔ハ度々朝參ノ郎官ノナニチヨツト
加テイタノモ有タカコノヤウモチビレモノカチ

四

昆明池水漢時功武帝旌旗在眼中

都ノイヲ思ヒヤツテ昆明池ハ漢武ノ時ニ
ヒラカセラレタ池テ武帝ノ此ノ池テ船軍

ヲ習ハセラレタ今モ目見ルヤウテ
アルト玄宗ノ御在位ノ時ニ比ス

織女機絲度夜月石鯨鱗甲動秋風
池中ニ
アル織

蓮房墜粉紅
昔ハ菰ナドモ入カ取タカ今ハ大方波ニ交ヨラテ底ニ沈デニツクロニ黒雲ノヤウニテ
ツテアルテアラフ蓮ナドノ赤フ咲テアルモ誰レトモモナク散ク散テニアラフテ

關塞極天
鳥道江湖滿地一漁翁

我レ蜀へ來テ關塞ノ鳥道ヲ隔ラレ江湖ノ廣イ間ニ舟ニカカリ乗テ漁翁ノヤウニテ

リ切テイルコトハ昆明ノ勝ヲミルコトモナラフ又極天ト云
天ノミテカラハテキテイル意ナリ道ノ遠イコトナル

吹笛
夔州ニ居テ吹笛ヲ聞テ關山月折楊柳ナドノ曲ヲ作ル

吹笛

夔州ニ居テ吹笛ヲ聞テ關山月折楊柳ナドノ曲ヲ作ル

吹笛秋山風月清誰家巧作斷腸聲

ノイックトク吹笛ノ音ガキコルガ折節秋ノノイック風月モサハ寒フ清フアリ何者カ

知ラスガサリトハ上手入ヲ
悲ニシムルヤウニ吹テアル

風飄律呂相和切月傍關山幾處明
起句ノ風ノ字
フウケケテ律呂

拍子ヨク間近クキミルコトノ夜ハ月カトモカモ明ラカテアラフ

胡騎中宵堪北走武陵一

曲想南征

フカウチ夜スカラ笛ヲキイテハノヤウナ氣象ナ胡騎ハ皆チリク成テ歸ルテ有
ナシテ武溪深曲ト云テ作テ和シト云フガ

今秋ノイニ故園ノ楊柳モ枯レテヒラ時分テアル云コノ折楊柳ノ曲ヲ吹クヲキケバ揚柳ガ
ハエ出ルヤウニ思ハレテ頻リニ故郷ヲ思出レテ悲シウ成テクル

故園楊柳今搖落何得愁中却盡生

閣夜

此時夔州ニ居テ城樓ノ閣
一登テ亂世ヲ悲ニテ作ル

歲暮陰陽催短景天涯風雪霽寒宵

歲ノクシク晝夜モ短フセハレテ移ル時
分テ天涯ノ風雪トモモカモ晴レ渡テ

五更鼓角聲悲壯

三峽星河影動搖

今ニラモサウキガ止ヌコヘ來笛手
ノ陣屋テ鼓角ノ声カ物悲シ

野哭千家
今ニ戰カ止ヌ方々テ討死ラレタ者ガ多クニ依テ野ニ哭スル声
ガ多ク家テ死タ者ノ家テ哭ス戰場テ討死ラレドコテ死タ

戰伐夷歌幾處起漁樵

今ニ戰カ止ヌ方々テ討死ラレタ者ガ多クニ依テ野ニ哭スル声
ガ多ク家テ死タ者ノ家テ哭ス戰場テ討死ラレドコテ死タ

ヤラ死処ノレモノハ野哭スルコノアリノ大方夷ニ奪レテ
アルユノソコノ家テモ夷歌ヲウタヒ出ス
臥龍躍馬終黄土人事音

書漫寂寥
カワリテタラニテツク思忠臣ノ卧龍モ謀叛人ノ公孫述カ此処ニ馬ヲ躍ラセ
セテ白帝ト稱シタモ皆士成テヒラタ其ヒツケテモナヤカヤ人事故ヲトツテ
ドモ漫ミトナラフガカハス
ニ寂寥トト打ステ、フク

返照
返照ト云題テ作タヘナイ。晚景ノ西ヨリサスヲミテ
見ワタス処ノ景ヲ作タモノユニ迹カラ置タ題チヤ

楚王宮北正黃昏白帝城西過雨痕
コノ処ハ昔楚ノ襄王ノ巫山ノ神女ヲ戀ヒ慕
ヒタノガ有タト云依テ詠シイヒヤヤト日

直ニ夕日カ江サレシテ石壁ノ影ガ江ノ中ニサカサシテ見ユルカト思ハハ襄王ノ花
宮ノタリニ植テアル樹木ヲ雲カトリヨメテ山村ヲ見失フヤウニル上ト通リ景色ヲ述

惟高枕絕塞愁時早閉門
今半年寄テ病アリ元トノ身テナイ依テ只寐テハカリ
イル此ヤウナ絶塞ニ來テイルモ世ノ乱レタユ思テ秋ヲ愁

不可久留豺虎亂南方實有未招魂
カヤウチ豺虎ノ
ヤウナ惡人カ大執イ

登高
テ乱ラ起ス処ニ留レテハナイユ帰ラフトハ思フケレ度々
テ乱ガヅイテ魂力散タカラ招テカエラ子ハ歸ラレヌ

風急天高猿嘯哀清沙白鳥飛迴
秋ノ未九月ノユ風モハゲク空ヲモスニホ
リ寒イユ猿モ物悲ヲ嘯キ殊ニ鳥ガ川

無邊落木蕭蕭下不盡長江衮衮來
萬里悲秋常作客百年多病
吾カ身ハ萬里ヲ隔テ來九年モクトモ旅客ト成アイルユ下入秋ノ氣
他國ニイハレ伴フ者モテク只トリ樓ニ登ル艱難苦恨

獨登臺
吾カ身ハ萬里ヲ隔テ來九年モクトモ旅客ト成アイルユ下入秋ノ氣
他國ニイハレ伴フ者モテク只トリ樓ニ登ル艱難苦恨

繁霜鬢潦倒新停濁酒杯
カヤウニ艱難ニカク出逢ニ頭モ白リ老衰ニ酒ヲ止メ
タレハイヨク氣ノ晴ルハフモナイ潦倒ハ落魄ノ負

關下贈裴舍人
關下ハ禁裏ノ
御門下タリ

錢起
二月黃鸝飛上林春城紫禁曉陰陰
二月ハ春ノ盛リユ當ナドカ鳴飛テ
上林ニ陰々トクモリワタツテニル長樂

鐘聲花外盡龍池柳色雨中深
長樂宮ノ曲輪ナドモ花ガサカリニ咲テアル其中心
リキユテク九時ノ鐘ノ声ガ夜アケノ時ヲツキシメ

陽和不散窮途恨霄漢長懸捧日心
カヤウナ月ノ陽和ノ時ハ少クハ愁モ散レソウモナルニ吾ガコノ不仕ハニキツク
テアルユハ愁ハ散セヌカク不仕合テアテモナイユ天子御任申シタト云心ハ絶ヘタ

獻賦十年猶未
我カ文章ヲ天子ノ御覽ニテモ久シイヲヤカ今ニ御トリアケモナク
歳ノ足テ後替モセズニイルコノ白髮ヲ以テ曆々ニ對スルト

遇羞將白髮對華簪
我カ文章ヲ天子ノ御覽ニテモ久シイヲヤカ今ニ御トリアケモナク
歳ノ足テ後替モセズニイルコノ白髮ヲ以テ曆々ニ對スルト

陽和不散窮途恨霄漢長懸捧日心
カヤウナ月ノ陽和ノ時ハ少クハ愁モ散レソウモナルニ吾ガコノ不仕ハニキツク
テアルユハ愁ハ散セヌカク不仕合テアテモナイユ天子御任申シタト云心ハ絶ヘタ

獻賦十年猶未
我カ文章ヲ天子ノ御覽ニテモ久シイヲヤカ今ニ御トリアケモナク
歳ノ足テ後替モセズニイルコノ白髮ヲ以テ曆々ニ對スルト

遇羞將白髮對華簪
我カ文章ヲ天子ノ御覽ニテモ久シイヲヤカ今ニ御トリアケモナク
歳ノ足テ後替モセズニイルコノ白髮ヲ以テ曆々ニ對スルト

東風吹雨過青山 卻望千門州色間

春ノ東風去春雨カ青山ヲ降テ通ラシテ

後ノ一八徒ラニ至テ誰レ見ルモ 家在夢中何日到 春來江上幾人還

郷憶シテ思テ毎夜家ニカエル夢ヲミルカ実ニカエルハナラヌ今コノ江上ハ故郷ヲナ

外官闕參差落照間 川原繚繞浮雲

夕景 誰念爲儒逢世難 獨將衰髻客秦關

陸勝宅秋雨中探韻

張南史

九月九日詩ト三ノ探韻ト云ハ韻字ノ下ニ秋雨ナトソ書ケル

園偶辟疆 已被秋風教憶鱸 更聞寒雨勸飛鵲

歸心莫問三江水 水旅服從沾九日霜

醉裏欲尋騎馬路 蕭條是處有

鹽州過胡兒飲馬泉

李益

邊塞ニキ鹽州ヲ通リ昔ノ外テ胡

泉ノウラ見ル川々通リ揚柳ガホラタレテ水ツキ草ノドモモコリト如煙臺

何人倚劍白雲天

從來凍合關山道 今日分流漢使前

莫遣行人照容髻 恐驚馬性入新年

登柳州城樓寄漳汀封連四州刺史

柳宗元

城上高樓接大荒 海天愁思正茫茫

世界ノシテ人ニキイテアル南海ノ天カ北光々

柳宗元

城上高樓接大荒 海天愁思正茫茫

世界ノシテ人ニキイテアル南海ノ天カ北光々

トテモナクミル吾ガヲ愁 敬馬風亂颭芙蓉水密雨斜侵薜荔墙 トトト吹ク風ガ

賜 故郷ヤ其元夕チケル方ヲ望ミ見ヤウト思テモ嶺樹カイクニ目ヲ遮テ 共來百粵文身地

猶自音書滯一鄉 皆カヤウノ夷ノ地ニ流サキニ成テ遠ク隔テイルニ狀文ノ便リヌラニ遍トモ

奉和庫部盧四兄曹長元日朝廻 韓愈

天仗宵嚴建羽旄春雲送色曉雞號 元月ノ二天子ノ御先拂イノ役入ホトカ夜ノ

金爐香動螭頭暗玉佩聲來雉尾高 御炉ノ香ガ動チ

冠列侍映東曹 ツラ子テ東ノ方ヨリ西ノ方ヘヒキツイテ南面シテイルヤウスラ云トミル

太平時節身難遇郎署何須笑二毛 ナリクニ御不足カチユニ立身モナリノチイ

因テ郎署ヲラガヤウチラヤチガ役替モセズイルモ笑フコトハナイ

ト云テ莫ハ手前ノ不遇ヲイタメデアルニモハ左傳ニアリ

七律終

